

平成14年度

「福岡県における中学生の意識・行動と  
親の養育態度・意識の実態調査のまとめ」

(電子版)



利用の際は必ず下記サイトを確認ください。  
[www.bunka.go.jp/jiyuriyo](http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo)

福岡県立社会教育総合センター

(電子版報告書は、電子化にあたり修正等を加えてあるため、冊子の報告書とは若干の違いが生じております。)

## はじめに

近年の都市化・核家族化等の進行に伴い、地域の地縁的なつながりが希薄化し、家庭の孤立化や家庭・地域の教育力の低下が大きな社会問題となっています。

また、人々のライフスタイルや価値観が多様化する中、子育てに対する意識も様変わりし、子育てに負担を感じたり、しつけの仕方がわからない等、育児に対する悩みや不安が育児中の親たちの間で広がっています。

このような中、福岡県教育委員会では、子育て中の親が、どのような意識や行動をとりながら子育てをしているかを把握するために、昭和 55 年度から、幼児・小・中学生をもつ親を対象に、「親の養育態度・意識の実態調査」を経年的に実施し、時代と共に変化する親の養育態度・意識を比較・検証してきました。

本年度は、県立社会教育総合センターに「調査研究委員会」を設置し、中学生とその保護者を対象に「中学生の意識・行動と親の養育態度・意識の実態調査」を実施し、中学生が自分たちの生活をどのように意識しながら過ごしているのか、また、その親たちは生活の場面の中で子どもとどう関わっているのか、子どもの生活の実態と保護者のしつけがどのように関係しているのか等についてを、昭和 57 年、平成 5 年、10 年に実施した過去 3 回の調査と経年比較しながらその分析結果をまとめました。

家庭教育は年々多様になってきており、本報告書では多くの問題・課題を提起しています。子どもたちの豊かな心を育むためには家庭や地域の教育力を高めていくことが必要です。そのような意味で、本報告書がこれからの家庭教育関係事業等を企画・運営する上でお役に立てば幸いです。

おわりに、本調査を実施するにあたり、ご尽力いただきました調査研究委員会の各委員、調査にご協力いただきました各中学校や教育委員会関係者ならびに保護者の方々に心からお礼申し上げます。

平成 15 年 3 月

福岡県立社会教育総合センター

所 長 重 松 孝 士

# も く じ

## I 中学生の意識・行動と親の養育態度・意識の実態調査のまとめ

第1章	調査の概要	
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	分析の基本的視点	3
第2章	中学生の意識・行動の実態	
1	学校生活	5
2	親子交流	7
3	家庭生活	10
4	個人生活	16
5	自己評価	18
第3章	親の養育態度・行動の実態	
1	家庭生活	22
2	親子交流	27
3	子どもの評価	30
4	養育態度	33
第4章	まとめと今後の課題	
1	20年間の変化	39
2	因子分析からの総合的分析	40
3	課題と展望	44

## II 参考資料

1	実施要項（調査協力校一覧）	46
2	調査研究委員会設置について	48
3	配布アンケート(中学生用、父親用)	49
4	データ集	57

## I 中学生の意識・行動と親の養育態度・意識の実態調査のまとめ

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

近年の家庭教育のあり方をみると、親子の会話の減少や過保護・過干渉の親の増加、また、子どもの規範意識の低下などが指摘されている。

このような中、福岡県では昭和57年、平成5年、平成10年に「中学生の意識・行動と父親・母親の養育態度・行動の実態調査」を県内同一中学校を対象に実施してきた。

その調査から見えてきた中学生の姿は、学校を楽しんでいる割合が年々減り続け、家庭はだんらんとテレビ中心のくつろぎの場となり、口うるさい親が減る中で家庭生活に満足する傾向が見られた。

また、親の姿は、年々子どもへのしつけの仕方がソフトになり、全体的に個々の家庭のあり方が多様化し、個人主義的生活が定着してくる一方で、家庭教育の自信をなくしている傾向が見られた。

これらの実態を踏まえ、本年度は、過去3回の調査と同じ趣旨で、同種の調査をほぼ同一中学校で実施することで、以下の点を明らかにする。

第一には、中学生は自らの生活をどのように過ごし、また、どのように意識しているか実態を明らかにする。

第二には、中学生をもつ保護者の養育態度・意識の実態を明らかにする。

第三には、子どもの生活の実態と保護者によるしつけとの関連性を探り、望ましい家庭教育のあり方を具体的に解明していく。

さらには、過去3回の調査結果と比較し、その経年変化をたどることにより、時代と共に変化する中学生の意識・行動や保護者の養育態度・意識を明らかにし、今後の福岡県における家庭教育の支援のあり方を探るための基礎資料とする。

## 2 調査の方法

### (1) 調査対象

本調査は、福岡県下6地区、6中学校の1年生から3年生までの中学生2,455名とその保護者を対象として実施した。回収数は中学生2,282サンプル、父親1,933サンプル、母親2,197サンプルで回収率87.1%であった。ただし、有効サンプル数は中学生2,279サンプル、父親1,917サンプル、母親2,185サンプルで、有効回答率は中学生92.8%、父親78.1%、母親89.0%であった。実際の集計にあたっては、保護者の記入者が父親、母親以外の回答及び回答不明なものはサンプル数から除外した。

有効サンプルの内訳を、中学生の学年・性別という条件で分類したもの、及び、生徒・父親・母親別の回収率や有効回答率を表1、2、3、4で示す。

表1 中学生の学年・性別サンプル数

	1年	2年	3年	計
男子	348	378	380	1,106
女子	371	387	415	1,173
合計	719	765	795	2,279

表2 父親の学年・性別サンプル数

	1年	2年	3年	計
男子	253	258	412	923
女子	269	284	441	994
合計	522	542	853	1,917

表3 母親の学年・性別サンプル数

	1年	2年	3年	計
男子	334	353	356	1,043
女子	364	371	407	1,142
合計	698	724	763	2,185

表4 生徒・父親・母親の回収率と有効回答率

	生徒	父親	母親	計
配布数	2,455	2,453	2,455	7,363
回収数	2,282	1,933	2,197	6,412
有効数	2,279	1,917	2,185	6,381
回収率	93.0	78.8	89.5	87.1
有効回答率	92.8	78.1	89.0	86.7

## (2) 調査の方法

本調査は、質問総数33項目からなる調査票「生活に関するアンケート」(中学生用)と34項目からなる「中学生の家庭教育に関するアンケート」(保護者用)によって、無記名で行った。なお、保護者用の調査票は男性用と女性用を作成し、質問構成と内容は全く同一のものを使用した。

これらの調査票の構成は次のとおりである。

### ア 生活に関するアンケート (中学生用)

中学生の実態を把握するにあたり、生活領域を基本に学校と家庭に大別してそれぞれの領域で主な事項と考えられることについて質問した。学校生活では、勉強、友人関係、クラス活動について質問し、家庭生活では、基本的な生活習慣、家庭学習、メディア接触について質問した。親子の交流については別項とし、日常対話、親のイメージ、親の養育態度を取り上げている。また、個人生活として自由時間の過ごし方、関心ごとについて質問し、最後に中学生自身の自己評価と悩みについて問いかけをした。

### イ 中学生の生活についてのアンケート (保護者用)

親の養育態度を家庭生活(養育行動)と親子交流に分け、あわせて子どもの評価と養育意識を取り上げ、4つの領域について質問した。家庭生活(養育行動)では基本的な生活習慣、土曜の仕事従事、言葉づかい、成績要因、他の家族との交流について、親子の交流では、日常対話、親と子の交流について質問した。子どもの評価では、子どもの生活、接し方、悩みについて問いかけ、養育意識では、充実度、自己評価、養育情報、しつけの目標等について取り上げた。

なお、本年度調査の結果と昭和57年度、平成5年度、平成10年度の調査結果(以降「初回」調査、「前々回」調査、「前回」調査という)を数量的に比較することに

よって経年の変化を得るため、前回の調査項目を基本としながら今回の調査を行った。

本年度の調査票の構成を表5に示している。具体的な質問内容と回答結果は、本文中ならびに報告書の末尾に掲載してる。

### (3) 調査の実施方法と時期

調査の実施にあたっては、調査票を直接協力校に持参し、生徒を通じて家庭に配布し記入してもらった。回収は各中学生とその保護者の回答を一組として、配布と逆のルートを経由して行った。

調査の実施時期は、平成14年6月～7月、回収時期を7月～8月とした。調査協力校は初回、前々回、前回調査校と同一の5校と、今回新たに加わった1校の計6中学校で実施した。調査協力校名については、本報告書の末尾に掲載している。なお、調査結果集計のためのコンピュータ処理については、当センターにおいて行った。

## 3 分析の基本的視点

調査結果の分析は、基本的に調査票の構成（表5）に沿って行った。本報告書では、各質問項目ごとに、中学生については学年別、男女別、親については父親・母親別、子どもの学年別及び男女別について分析を行い、その傾向と特徴について説明を加えている。さらに特徴的な項目については「初回」調査、「前々回」調査、「前回」調査との比較を試みている。親と子どもの回答を対比させた項目については、親のところで中学生への調査を述べる時には「中学生調査」、中学生のところで親を述べる時には「親調査」と表示している。

また、本文中各グラフの数値については過去のデータも含め小数点以下を四捨五入しているため、1%程度のズレが生じている。なお、報告書末尾に掲載してるデータ集については小数第1位まで掲載している。

(文責 樋田)

表5 調査票の構成（丸数字はアンケートの設問番号を表し、今回新たに加わった設問はゴシック体で記す）

＜中学生への質問項目＞	＜親への質問項目＞
<p style="text-align: center;">〔1〕 学校生活（4問）</p> <p>(1) 勉強            ①勉強の目的 ②勉強の理解            (2) 友人関係            ③親友            (3) クラス活動            ④決められた仕事</p>	<p style="text-align: center;">〔1〕 家庭生活（9問）</p> <p>(1) 基本的な生活習慣            ①起床 ②朝食 ③あいさつ            ⑤校則違反 ⑥宿題・手伝い忘れ            ⑧テレビ・ゲームのルール            (2) 土曜の仕事            ④土曜の仕事従事            (3) 言葉づかい            ⑦親への言葉            (4) 学習            ⑨成績の影響要因            (5) 他家族との交流            ⑩他家族との交流</p>
<p style="text-align: center;">〔2〕 親子交流（5問）</p> <p>(1) 日常対話            ⑤将来人生 ⑥学校生活 ⑦言い分            (2) イメージ            ⑧家族の存在            (3) 養育態度            ⑨甘いか</p>	<p style="text-align: center;">〔2〕 親子交流（5問）</p> <p>(1) 日常対話            ⑩将来・人生の話            ⑪学校生活の話            (2) 意見交換            ⑫家庭への意見・相談            ⑬親への意見            ⑭子どもの言い分を聞く</p>
<p style="text-align: center;">〔3〕 家庭生活（13問）</p> <p>(1) 基本的な生活習慣            ⑩朝食 ⑪夕食 ⑫こづかい            ⑬手伝い ⑭決まった手伝い            ⑮皮むき ⑯近所へのあいさつ            ⑰日常のあいさつ            ⑱生活の満足度            (2) 家庭学習            ⑰塾・家庭教師 ⑱学習時間            (3) メディア接触            ⑱テレビ視聴時間 ⑲ゲームの時間</p>	<p style="text-align: center;">〔3〕 子どもの評価（7問）</p> <p>(1) 子どもの生活            ⑰自主性 ⑱積極性 ⑲忍耐力            (2) 接し方            ⑲他の子との比較 ⑲男女別の注意            ⑲殴りたい            (3) 悩み            ⑲子どもの悩み</p>
<p style="text-align: center;">〔4〕 個人生活（3問）</p> <p>(1) 自由時間の過ごし方            ⑲楽しい場所 ⑲休日の過ごし方            (2) 関心            ⑲異性</p>	<p style="text-align: center;">〔4〕 養育態度（11問）</p> <p>(1) 親の意識            ⑲生きがいの対象            ⑲⑲しつけの自信            ⑲しつけの甘さ ⑲世話            ⑲子どもの将来像 ⑲家庭の役割            (2) 養育態度            ⑲ほめる ⑲しつけの学習            ⑲悩みの相談相手 ⑲しつけの心配り</p>
<p style="text-align: center;">〔5〕 自己評価（7問）</p> <p>(1) 自己評価            ⑲自主性 ⑲積極性 ⑲忍耐力            (2) 悩み            ⑲イライラ ⑲悩み・困惑            ⑲相談相手            ⑲学校に行きたくない意識</p>	

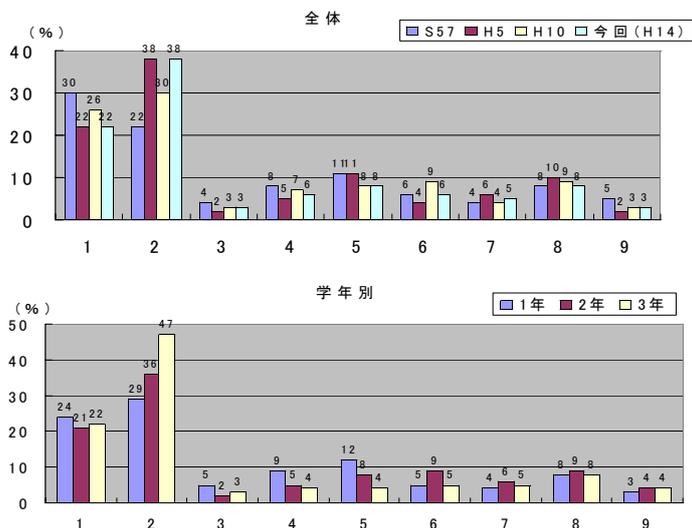
## 第2章 中学生の意識・行動の実態

### 1 学校生活

#### (1) 勉強

##### Q①勉強の目的

あなたが、ふだん勉強するのはどうしてですか。

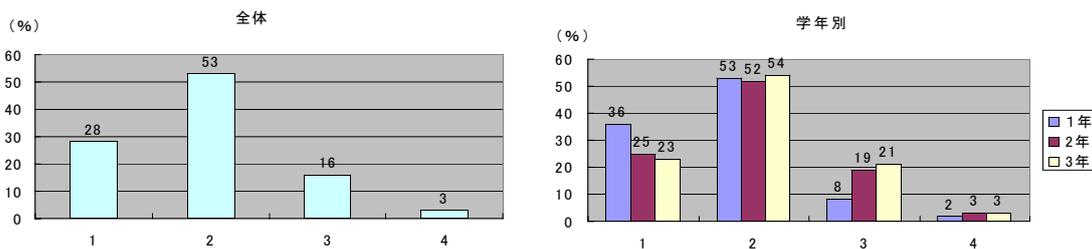


1. よい成績をとりたいから
2. 希望する学校や会社に入りた  
から
3. 人や社会の役に立ちたいから
4. いろいろなことを知りたいから
5. 学校でみんなについて行けない  
ところから
6. 学校に行っているから
7. 親や周りの人が勉強しろという  
から
8. なんとなく
9. その他

最も当てはまる項目として、「希望する学校や会社に入りたいから」を選んだ子どもの割合は38%で、前回(30%)より、8ポイント上昇している。また、「よい成績をとりたいから」が22%と、進路や成績を目的とする割合が高いことがわかる。併せて、親が子どもに対して悩んでいること(親調査Q 23)として、「成績・進路のこと」が父親32%、母親が38%と前回(父親27%、母親33%)より上昇していて、親も進路や成績につくづくの関心が高くなっていると考えられる。

##### Q②勉強の理解

あなたは、学校の勉強がどの程度理解できていますか。



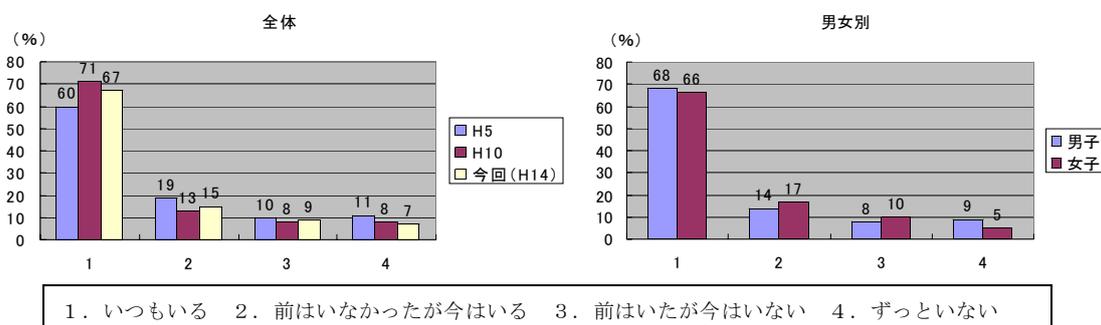
1. だいたい理解できている
2. まあまあ理解できている
3. あまり理解できていない
4. 理解できていない

「だいたい理解できている」と「まあまあ理解できている」を合わせると81%の子どもが、勉強の内容についておおむね満足できていることを示している。しかし、学年別に見てみると1年生が89%であるのに対して、2,3年生では共に77%で、2年生から3年生への変化はみられないが、1年生から2年生にかけて大きな変化をみせている。それは、学習の難度が上がるこの時期と合致しており、課題として挙げられるところである。理解できていない子どもに留意する必要がある。

## (2) 友人関係

### Q③親友

あなたは、おたがい理解し、心をうちあけて話せる「親友」がいますか。

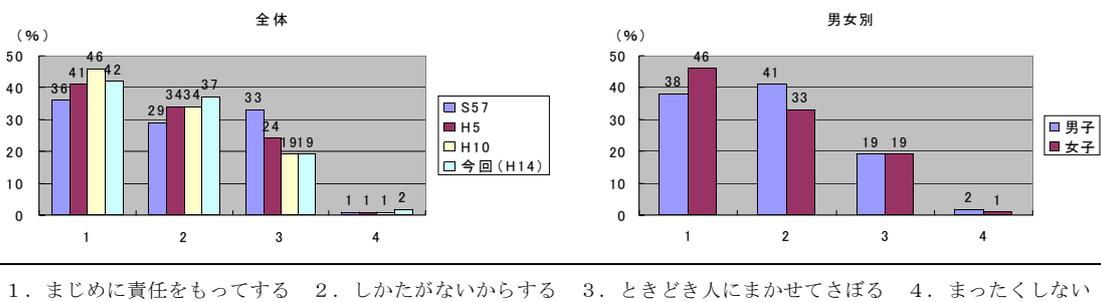


「いつもいる」と「前はなかったが今はいる」を合わせると 82%の子どもが現在「親友」と呼べる親しい友人がいることになる。この2つの項目については、学年による変化はあまりなく、どの学年でも比較的高い数値で推移している。しかし、「前はいたが今はいない」「ずっといない」の合わせて、16%が「親友」と呼べる友人がいない。これは、前回(平成10年度 16%)とほぼ変わらない。現在「親友」と呼べる友人がいない子どもを男女別にみると、男子が 17%、女子が 15%となり、あまり差はみられないが、「ずっといない」と答えた男子が 9%なのに対して、女子が 5%と若干の開きがある。女子の場合、男子より親友を持った経験があると推測される。

## (3) クラス活動

### Q④決められた仕事

あなたは、掃除当番やクラスで決められた仕事をどのようにしていますか。



「まじめに責任をもってする」と「しかたがないからする」を合わせると 79%であり、多くの子どもは決められた仕事を誠実に行っている。男女別の全体では、男女共 79%で、どちらも比較的高い数値で推移している。しかし、内容をみると女子が「まじめに責任をもってする」46%に対して男子は 38%と差が見られ、しかたなく仕事に取り組んでいる男子が少し多いことがわかる。

## まとめ

子どもが学校生活を円滑に過ごすためには、学校で個に応じた指導の充実やガイダンス機能の充実等が図られなければならない。その効果を学校での諸実態である「勉強」「友人関係」「クラス活動」という視点から状況を見てみると、多くの子どもは充実した学校生活を送れていることがわかる。特に「勉強」では、今回、学校での勉強の理解度の調査を子どもの自己評価で行ってみたが、約 8 割が理解できている回答であった。しかし、約 2 割

の理解の不十分な子どもたちへの取組が今後は重要であろう。また、「友人関係」も大半の子どもの中でよい人間関係づくりが行われている。クラス活動では、責任ある行動を前回(平成10年度80%)と比べてみるとあまり変わらない。それは、引き続き子どもが学級の役割に責任をもち、集団の一員としてのあり方を意識しながら行動していると考えられる。

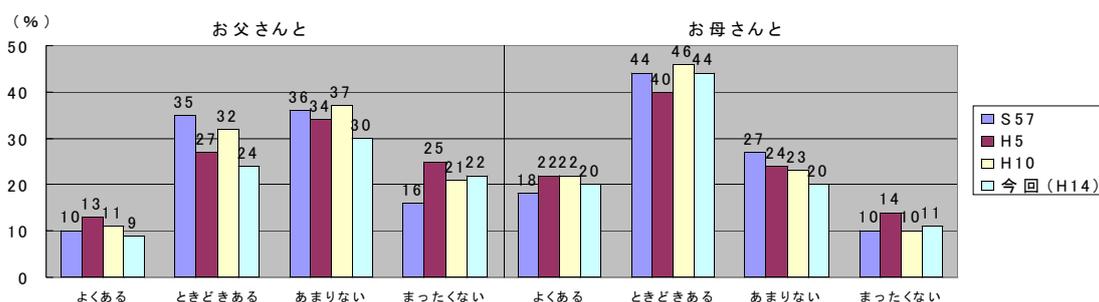
(文責 二又)

## 2 親子交流

### (1) 日常の対話

#### Q⑤将来・人生について

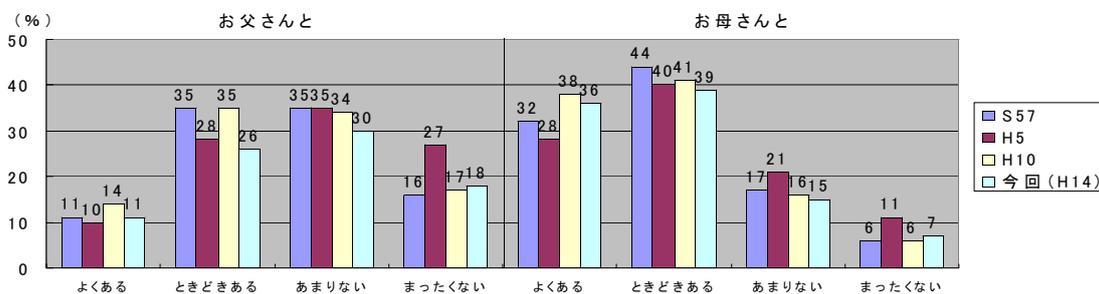
あなたは、家族の人と将来や人生のことについて話すことがありますか。  
(どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで)



将来や人生について、母親と話すことが「よくある」「ときどきある」のは、64%で、父親の33%より2倍近い割合である。初回、前々回、前回も父親と話す割合は半数以下で母親より低かったが、今年度はさらに、前年度より10ポイントの減少となっている。父親の生きがい(親調査Q24)が「自分の趣味」と答えた人の子どもでは、父親と将来や人生の話をするのがまったくないと答える割合が高かった。価値観の多様化が進む中で、子どもとの対話の必要性を見失わないように気をつけたい。学年別では母親との話に差があり、1,2年生の62%から、3年生は8ポイント高い70%となっている。男女別にみると父親と話すのは男子37%、女子29%であるのに対し、母親と話すのは男子57%、女子71%となっており、それぞれ同性の親子間で話す割合の方が高くなっている。

#### Q⑥学校生活について

あなたは、家族の人と学校生活について話す事がありますか。

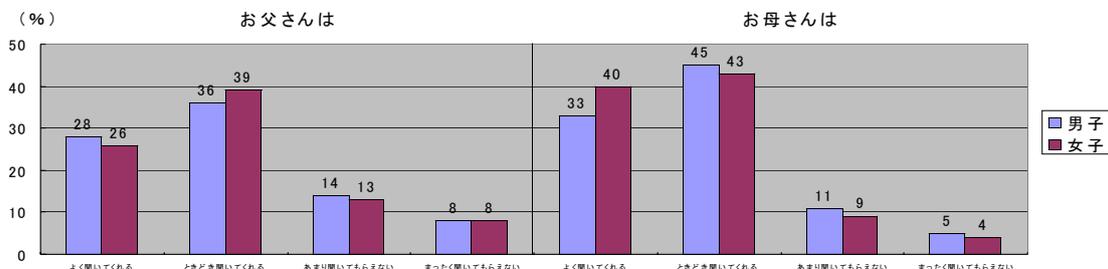


学校生活について話すことが「よくある」「ときどきある」という相手として、父親が37%、母親が75%で、初回から前回までと同様に母親と話す割合の方が高い。さらに父親との話は、前回に比べ12ポイント下がっている。学年別では父親と話す1年生は45%、2年生36%、3年生32%で、学年が上がるると共に少なくなっている。また母親とは、1年生80%、2年生71%、3年生73%で、やはり1年生の割合が最も高い。男女別では父親と話す男子

が36%、女子38%に対し、母親とは男子65%、女子が84%となっており、親の性別に関わりなく、女子の方が高い割合を示しているところが、Q⑤の将来や人生についての話題とは異なるところである。

### Q⑦言い分

あなたが家族の人と違う意見や考えを持っているときに、家族の人はあなたの言い分をきちんと聞いてくれますか。

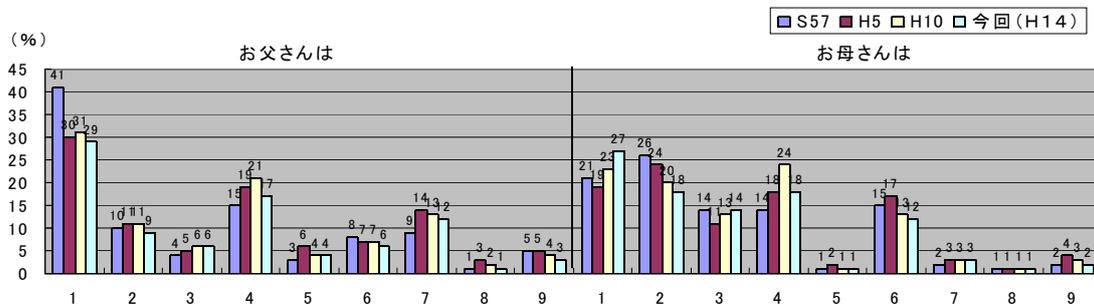


今回加えた質問項目である。父親が自分の言い分を「よく」または「ときどき」聞いてくれると認めている男子は64%、女子65%である。一方母親については、男子78%、女子83%で、男女とも父親よりも高く、その中でも女子の方がより高い割合を示している。しかし、父親との対話の中で将来や人生について(Q⑤)や学校生活(Q⑥)の話題が3割台に比べると、言い分は6割台で父子間としてはまずまずといったところであろうか。学年間では父親に対して1年生66%、2,3年生64%、母親は1年生82%、2年生80%、3年生81%で、大きな差異はみられなかった。

### (2) イメージ

#### Q⑧家族の存在

あなたにとって家族の人とはどのような存在ですか。



- |                        |               |                   |
|------------------------|---------------|-------------------|
| 1. 尊敬ができたり、たよりになったりする人 | 2. 理解のある人     | 3. 友達のように親しみのもてる人 |
| 4. いろいろ教え指導してくれる人      | 5. 自分勝手に無責任な人 | 6. 口うるさい人         |
| 7. 生活費をかせいでくれる人        | 8. 放任で甘い人     | 9. その他            |

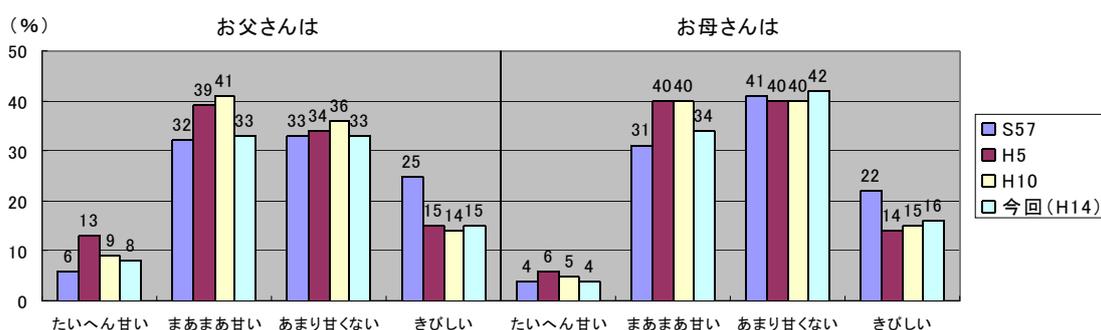
父親イメージの1位は、「尊敬ができたり、たよりになったりする人」で29%を占めているが、その割合は初回41%より12ポイント落ちてきている。次いで「いろいろ教え指導してくれる人」17%、3位に「生活費をかせいでくれる人」12%となっており、これらの順位は初回からずっと変わっていない。母親イメージでは、今回初めて「尊敬…」が27%で1位となっている。ついで「いろいろ教え…」と「理解のある人」が18%で並んでいる。これらの結果は、母親が仕事に従事しながら、家事をこなして頼りにされる一方、外で働く事が中心となって子どもとの接点が少ない父親には、その人格に触れる程、存在を感じにくくなっているということを示しているのではないかとと思われる。学年間では、父親には

あまり差はみられなかったが、母親では、同じ 1 位であっても「尊敬…」の割合が、1 年生 32%、2 年生 27%、3 年生 22%と加齢と共に減少している。また 2 位の「いろいろ教え…」も同様に減少している。それに変わって、「友達のように親しみがもてる人」と、「口うるさい人」というイメージが学年が上がるとともに高まっている。男女別では、父親に対して、男女とも 1 位は「尊敬…」、2 位は「いろいろ教え…」である。一方、母親に対しては、1 位は同じであるが、2 位は男子では「理解…」、女子は「友達…」となっている。

### (3) 養育態度

#### Q⑨甘いか

あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか。



父親が自分に対して「たいへん甘い」「まあまあ甘い」と感じているのは全体で 41%であり、前年度の 50%より 9 ポイント減っている。母親についても、今回 38%、前回 45%で 7 ポイント減少している。学年間の比較では、女子において母親が甘いとする割合は、1 年生 37%、2 年生 31%、3 年生 45%で、2 年生でいったん減少するものの 3 年生が最も高くなっている。これは受験の年に、親がしつけよりも学習を優先してしまいがちなことや、女子の母親イメージで「友達のように」という関係が高まることも影響していると思われる。男女を比較してみると、父親について「たいへん甘い」「まあまあ甘い」と思っている男子が 33%に対し、女子は 47%で 14 ポイント高い。

### まとめ

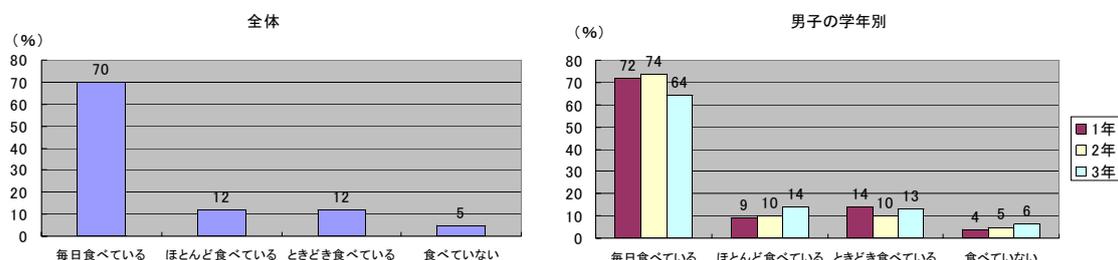
親子の交流について、(1)日常の対話、(2)イメージ、(3)養育態度の 3 つの側面から、子どもの視点でどのようにとらえられているかを検討した。将来や人生のこと、学校生活について父親と話すというのは男女とも 3 割前後で、過半数を大きく上回る母親よりかなり低い。しかし、子どもからの言い分を聞いてもらえるかという点では、母親より低いものの、父親の割合も過半数を越えている。家族に対するイメージでは、父母共に「尊敬ができたり、たよりになったりする人」が 1 位である。自立心が旺盛になるこの時期に、子どもが自分の考えをきちんと聞いてもらえるという体験は、自分自身の理解を深めると同時に、他者の姿勢や考えを視野に入れて判断する力にもつながる。親を尊敬し、頼れる話し相手としてみるができるのは、そうした親子の対話に支えられていると思われる。親が甘いにとらえているのは、前回より減っている。しかし、将来や人生について父親と話すことが少ない女子において、半数近くが父親は甘いにとらえている。自分の意見をきちんと述べることと、なんでも言うことを聞いてもらえるというのは違うという自覚をもちつつ、対話を深める親子交流が望まれる。(文責 吉川)

### 3 家庭生活

#### (1) 基本的な生活習慣

##### Q⑩朝食

あなたは、朝食を食べていますか。

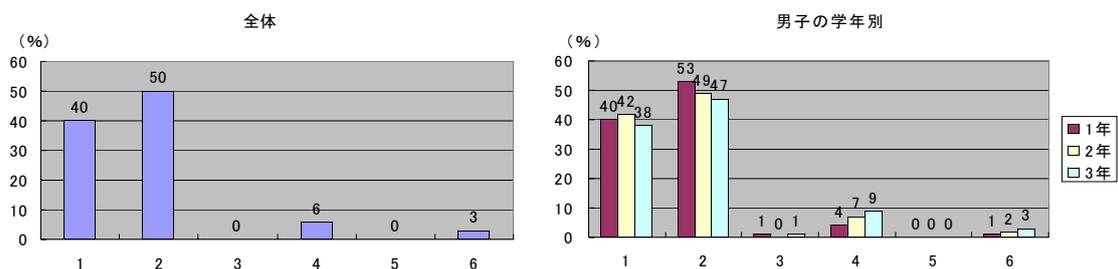


朝食を食べる割合は「毎日」70%、「ほとんど」12%と合わせると約 8 割である。「ときどき」12%、「食べていない」5%と食べていない子どもの割合は2割近くになっている。

学年別に見ると、学年が上がるにしたがって「毎日食べる」割合が減少し、図にみられるように特に男子にその傾向は顕著である。中学 3 年生の男子では「毎日食べていない」割合は約 3 分の 1 を占める。集中して学校で学ぶためだけでなく、心身の重要な発達期にあるこの時期に朝食を規則的にとる食習慣が求められよう。

##### Q⑪夕食

あなたは、ふだん夕食は誰と食べますか。



1. 家族全員で 2. 家族の誰かと 3. 家族以外の誰かと 4. 一人で 5. 夕食を食べていない 6. その他

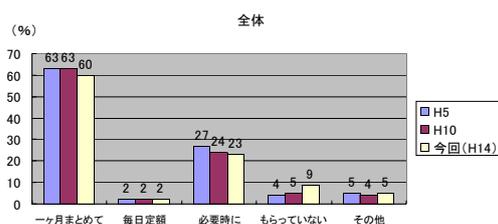
夕食を誰と食べるかでは「家族全員で」40%、「家族の誰かと」50%、「一人で」6%となっている。一人で食べている子どもには留意していく必要がある。

学年別に見ると、学年が上がるにしたがって「一人で」食べる割合が上昇し、図にみられるように特に男子にその傾向は顕著である。中学 3 年生の男子では「一人で」食べる割合は約 1 割となっている。食事を単にとることだけでなく、食事中にはテレビを消したりして、親子交流や家族同士の存在の確認など、できるだけ家族で夕食を規則的にとる食習慣が求められよう。

##### Q⑫こづかい

あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか。

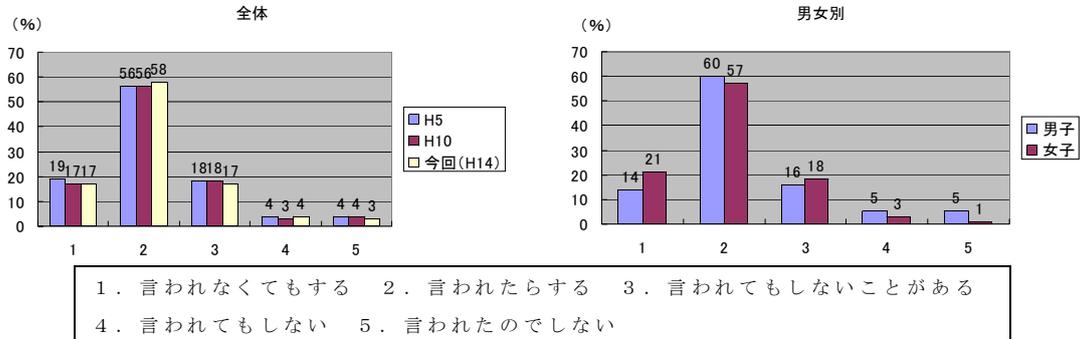
前回、前々回と全体ではあまり差はないが「もらっていない」が前回 5%、前々回 4%に対して今回は 9%と不況もあってか倍増しており、計画的な消費実践の場が少なくなっていることが考えられる。定期的なこづかいをも



らうことによって、計画的な消費活動の学習ができることもある。

### Q⑬手伝い

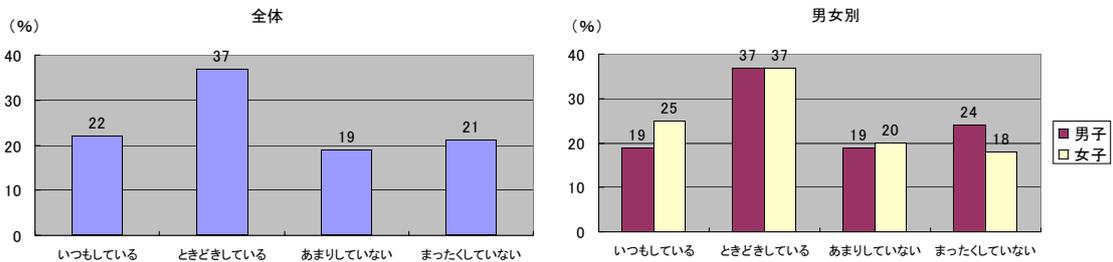
あなたは、家の手伝いをしていますか。



前回、前々回と全体ではあまり差はない。「言われなくてもする」も前回、前々回と学年ごと、男女別に変わりなく、学年ごとでは差が見られないが、男女別では男子 14%（前回 15%）に対して女子 21%（前回 19%）と女子が 7 ポイント割合が高くなっている。お手伝いをすることは役割意識を持つことや家族の一員として自覚する意味でも望ましいといわれる。前回に比べ男女で活動実践の差が拡大しているが、男女共同参画社会実現の観点から男子にも女子と同じように家での活動が求められよう。

### Q⑭決まった仕事

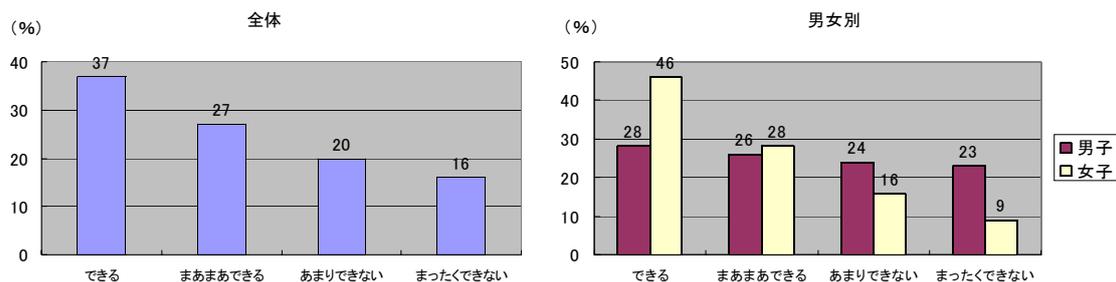
あなたは家で決まった手伝いをしていますか。



全体では「いつもしている」22%、「ときどきしている」37%と合わせて約 6 割が決まった手伝いをしている。男女別では男子「している」56%に対して女子 62%と女子が 6 ポイント割合が高くなっている。家で決まった仕事をしていることは、家庭での自分の重要性が自覚されやすく、将来において仕事というものを考えるきっかけになる可能性もある。家事分担することは存在感や役割意識を高めるために望ましいだけでなく、男女共同参画の観点から、意識だけでなく実践の面での改革という視点からも、男子にも女子と同じように家での役割が家庭教育として求められよう。

### Q⑮皮むき

あなたはリンゴの皮をナイフ（包丁）でむくことができますか。



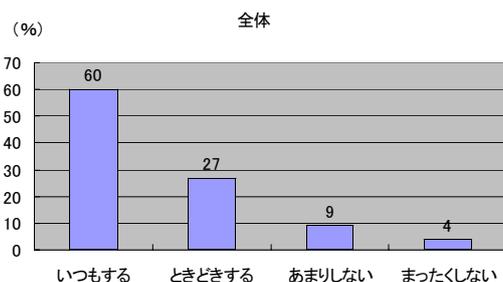
全体では「できる」37%、「まあまあできる」27%と合わせて約3分の2が「できる」と回答している。逆に言えば約3分の1の子どもが「リンゴの皮むき」という基本的生活技術が中学生の段階でもできないままである。男女別では男子「できる」54%に対して女子74%と女子が20ポイント割合が高くなっている。家事分担等の活動率の面でも差が出ていたが、具体的な料理等の技術習得としての差も明確であった。男女共同参画の観点から意識や役割だけでなく、生活の実践的技術の面からも男子にも女子と同じように基本技能の習得が求められ、そのことが自立して生活していける自信にもつながっていくことが考えられる。

### Q⑳近所へのあいさつ

全体では「いつもする」42%、「ときどきする」45%と合わせて約9割が「する」という回答である。男女別、学年別ではあまり差はない。「あまりしない」10%、「まったくしない」3%であるが、社会性の発達や地域づくりの視点から近所の人が中学生が自分からしていると感じているかどうかも重要であろう。

### Q㉑日常のあいさつ

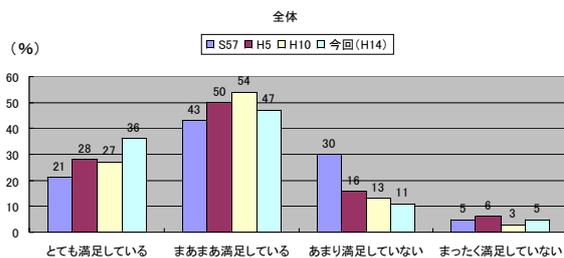
あなたは、家族の人に「おはよう」「おやすみ」「行って来ます」「ただいま」などの日常のあいさつをしていますか。



全体では「いつもする」60%、「ときどきする」27%と合わせて約9割が「する」という回答である。人とのコミュニケーションの基礎となる「あいさつ」は日頃の家庭生活から身に付くものであり、おやから自然に声をかけていくことで、子どもが自分からするように仕向けていくことが求められよう。「あまりしない」9%、「まったくしない」4%であり、男女別では「する」男子84%、女子90%と男子の割合が低くなっている。学年別ではあまり差はない。

### Q⑫生活の満足度

あなたは、家庭生活に満足していますか。



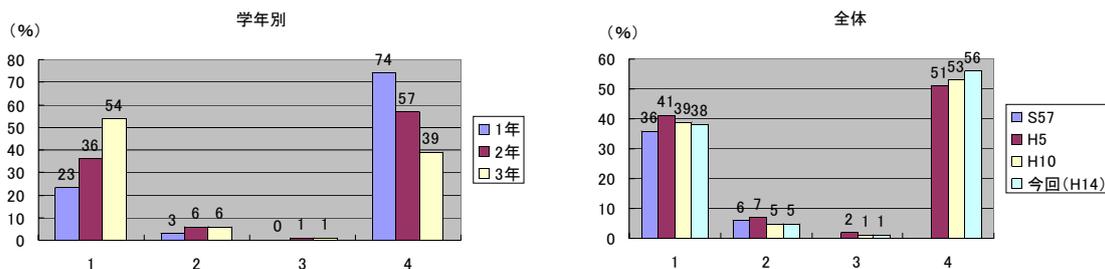
全体では「とても満足している」36%、「まあまあ満足している」47%と合わせて約8割が「満足している」という回答であり、大半の家庭が子どもにとって満足できている現状である。しかし、「あまり満足していない」11%、「まったく満足していない」5%であり、こういった「満足していない」合わせて16%の子どもには家庭

での活動及び家庭教育のあり方も含め特別な留意が必要であろう。学年が上がるにしたがって「満足していない」割合が増加している。その傾向は特に男子に強く、進学等での親の期待が子どもの心にストレスとなって反映されているのか「まったく満足していない」割合は1年生5%（女子5%）に対して3年生は8%（女子6%）と増加している。ただし、全体の男女別ではあまり差はない。

### (2) 意見交換

#### Q⑬塾・家庭教師

あなたは学習塾に通ったり、家庭教師についたりしていますか。（おけいごとはのぞく）



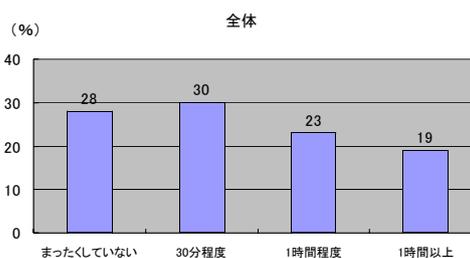
1. 学習塾に通っている 2. 家庭教師についている 3. 両方ともしている 4. どちらともしていない

「学習塾に通っている」38%、「家庭教師についている」5%と共に前回よりわずかに減少している。学年別にみると「学習塾に通っている」「家庭教師についている」では前回同様に学年が進むにつれて割合が高まっている。今回はさらに「学習塾に通っている」割合において1年生は前回30%が今回23%、3年生は前回50%が今回54%と学年差が拡大し、家庭教師を含めると約6割の子どもが塾や家庭教師を利用している。男女別では大きな違いはみられない。現在の状況では、塾等を全面的に否定する必要はないのであろうが、子どもの心身の発達に悪影響を及ぼしかねない過度の塾通い等へは家庭での配慮が必要である。

#### Q⑭学習時間

全国的に中学生の家庭学習時間の減少が言われる中、福岡の中学生も家庭学習の時間は短いという結果である。全体として「まったくしてない」割合が28%、「30分程度」30%、「1時間程度」23%、「1時間以上」は19%であった。8割が1時間以下という結果である。学習塾等の時間を除くということではあるが、その学習時

あなたは塾や家庭教師以外で平日どのくらい家庭で勉強していますか。



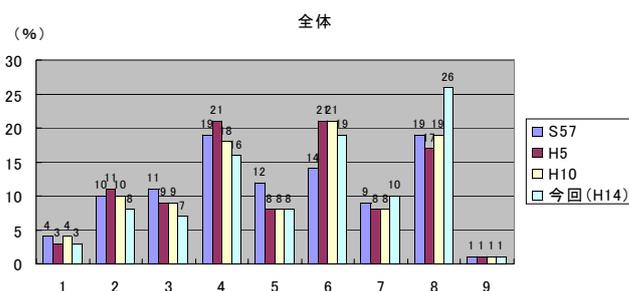
間の短さには驚くばかりである。男女ではあまり差はないが「まったくしていない」割合では男子32%、女子26%と男子の方が「まったくしない」割合が高い。学年ごとにみると、3年生でも、「全くしていない」割合が30%と高く、1年生よりも割合が高いことには進路指導や職業教育も含めて留意する必要がある。自分自身の人生設計の一部としての学習の意味づけなどによる学習への意欲・関心の喚起が必要であり、予習復習だけではなく家庭での自主学習の習慣づけが求められる。

## (2) メディア接触時間

### Q⑱テレビ視聴時間

あなたは平均してテレビを1日どれくらいみていますか。

(日曜・休日のはのぞく)



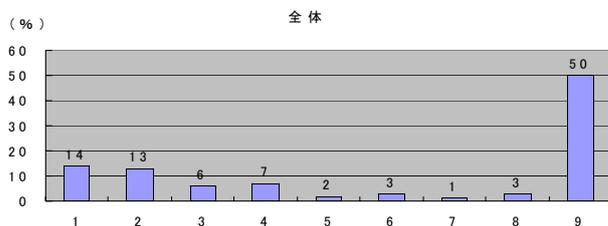
1. 30分程度 2. 1時間程度 3. 1時間30分程度  
 4. 2時間程度 5. 2時間30分程度 6. 3時間程度  
 7. 3時間30分程度 8. 4時間以上  
 9. まったくみていない

全国的に中学生のテレビ視聴時間の増加が言われる中、福岡県の中学生もテレビ視聴時間は長いという結果である。全体として「3時間以上」の割合が55%である。さらに、「4時間以上」の割合が26%と前回の19%よりも7ポイント高くなっており、前々回(17%)、初回(19%)と比べても高く、過去最高の割合である。平日に4時間以上というのはテレビ見っぱなし、つまりテレビづけの実態とってよいであろう。親世代も

子どもの頃からテレビを見て育ってきたという世代になってきていることもあるが、主体的にテレビと関わることができている状況である。テレビ視聴のルールを家族で話し合っ決めてたり、自分で計画的にテレビ視聴ができる習慣づけを行ったり、あるいは食事中はテレビを消す、などの留意をするなどして家庭での主体的テレビ視聴の習慣づけが求められる。

### Q⑲ゲームの時間

あなたは平日にテレビゲームを1日平均どのくらいしていますか。



1. 30分程度 2. 1時間程度 3. 1時間30分程度  
 4. 2時間程度 5. 2時間30分程度 6. 3時間程度  
 7. 3時間30分程度 8. 4時間以上  
 9. まったくしていない

「ゲーム脳」という言葉で示されているように全国的に脳の一部である前頭葉への影響など長時間ゲーム接触の問題性が指摘される中、福岡県の中学生も長時間のテレビ視聴に加えてさらにゲームをしているという結果である。本調査結果からもテレビを長時間視聴している子どもはゲームも長時間するという傾向が見られるが、全体として「1時間以上」の割合が35%である。さらに「2時間以上」の割合が16%と約2割の子どもがテレビに加えてゲームをしている。平日に2時間以上というのはテレビに加え、ゲームに夢中であり、メディアから主体的に離れられない状況であることが推測される。つまりメディアづけの実態とってよいであろう。親も子どもの

の割合が16%と約2割の子どもがテレビに加えてゲームをしている。平日に2時間以上というのはテレビに加え、ゲームに夢中であり、メディアから主体的に離れられない状況であることが推測される。つまりメディアづけの実態とってよいであろう。親も子どもの

頃からゲームをして育ってきたという世代が増えてくると、今後この状況はさらに深刻になることが推測される。テレビと同様に主体的にメディアと関わることができていない状況である。親子でゲームの時間制限のきまりを設けたり、自制してゲームと関わっていくための学習機会を設定するなどして、家庭での主体的メディア接触の習慣づけを確立していくことが緊要である。

## まとめ

今回、家庭生活については前回調査の5項目から13項目へと質問項目を多くした。特に基本的な生活習慣に関して前は2項目であったのを今回は重要視し9項目へと増やした。今回新たに追加した食事に関する事項では「毎日食べない」子ども、「一人で食べている」子どもなど食生活あるいは食育の不十分な子どもの存在が一定層みられた。こづかいは「もらわない」子どもが増加し、親への体験学習の啓発の必要と共に、家庭生活の厳しさもうかがわれた。手伝いでは全体では前回と変わらないが、男女での差が若干広がっており、男女共同参画の観点からの家庭教育のあり方への取り組みが求められる。リンゴの皮むきは半数の男子ができず、女子の4分の3ができるのとは対照的である。家事等の具体的な実践力を養っていく中で、男女平等の意味を体感させていくことが大切であろう。家庭での基本技能に関しては生活体験学習を家庭・学校・地域が連携して進行していくことが不可欠である。あいさつは今回新しく入れた質問項目であるが、全体で家族にも近所の人にも9割があいさつしていると回答しており、子どもとしてはあいさつをしていると考えているようである。また、家庭生活に満足している子どもは約8割であるが、一部の満足していない層があり、今後、こういった子どもたちへの重点的な取り組みが求められよう。塾や家庭教師は全体としては前回とあまり変わらないが、塾通いが3年生でのみ増え、若干焦点化される傾向にある。今回、新たに加えた家庭学習時間の実態は厳しいものであった。8割が1時間以下という状況であり、まったくしないものも3割であり、学力を付ける前に学習そのものに対する関心を持たせることが求められる。その一方でテレビの視聴時間は増加の一方であり、最近では、さらにゲームが加わり、主体性のないメディア漬けの子どもの生活状況が顕著な結果としてみられる。メディアと主体的につき合う能力育成の中で、学習を着実に進めていくための試みが早急に求められる。

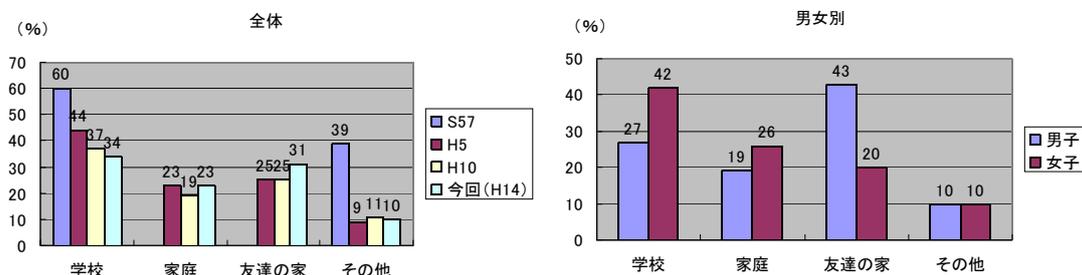
(文責 井上)

## 4 個人生活

### (2) 自由時間の過ごし方

#### Q②楽しい場所

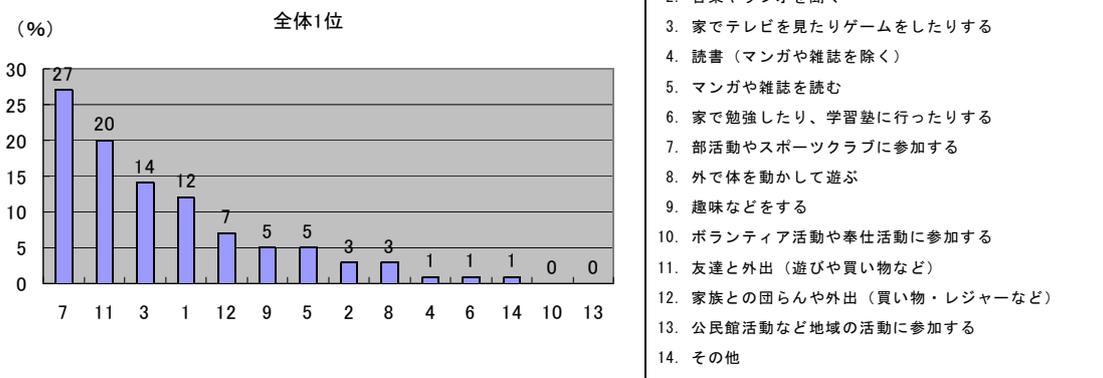
あなたは、どこにいる時に楽しいと感じることが多いですか。



楽しいと感じる場所としての設問で「学校」と答えた子どもは、これまでの調査を経年的にみても毎回減り続けている。今回も前回の 37%から 34%へとさらに減少した。それに替わって「友達の家」が前回 25%から 31%と 6 ポイント伸びている。男女別にみると、女子は前回と変化が少ないが、男子は、前回「学校」31%と答えた子どもが今回 27%と減り、「友達の家」については、前回の 32%から 43%へ 11 ポイントも増加し、大きく変化している。また、男子は「友達の家」を、女子は「学校」での交流を好む傾向にある。「家庭」については、これまでの調査と比較してもあまり変化がみられない。

#### Q③休日の過ごし方

あなたは、休日をどのように過ごしていますか。

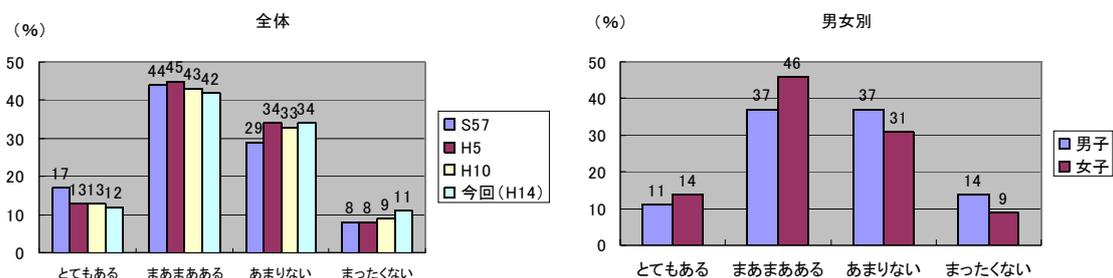


休日をどのように過ごしているか 14 の選択肢から 1 位、2 位の 2 つを挙げてもらった。この項目は、調査のたびに 1 位が変わり今回は、前回の「家でゴロゴロ」17%から「スポーツ」27%と替わっている。2 位は新しい項目として加えた「友達と外出」20%であり、3 位は「テレビ」14%、「家でゴロゴロ」は 4 位の 12%となっている。また、1 位と 2 位の合わせた割合をみてもこの順位は変わらない。

男女別に上位をみると、男子は、「スポーツ」35%や「テレビやゲーム」20%が多い。女子の場合は「スポーツ」19%は、男子ほどではないが高く、「家でゴロゴロ」16%、「家族との団らんやレジャー」11%と家族と一緒に過ごすことが男子より強い傾向にある。また、前回まで 10%前後で推移していた「趣味などをする」が 5%と低い数値を示している。「ボランティア活動や奉仕活動に参加する」については、依然低い数値となっている。

(2) 関心  
Q⑭異性

あなたは異性に関心がありますか。



これまでの調査と比較して、全体の傾向としては「あまりない」「まったくない」の数値が若干高くなっている。学年別では、学年が上がるにしたがって徐々に「とてもある」「まあまあある」の数値が上がる傾向にある。男女別では、「とてもある」「まあまあある」を合わせると全体で 12 ポイント、1 年生は 11 ポイント、2 年生は 16 ポイント、3 年生は 8 ポイントと男子より女子の方が高い数値を示している。また、男子は学年が上がるにつれて数値が高くなっていく傾向にあるが、女子は 2 年生の数値が高くなっている。異性に「まったくない」と興味を示さない子どもが 11%とこれまでの調査より、若干数値が高くなっている。

まとめ

子どもの多様な行動の変化から、「Q⑭休日の過ごし方」の選択肢を前回調査の 10 項目から 14 項目に広げて今回は調査を行った。内容については、前回で「テレビをみる」「家でファミコンなどをして遊ぶ」とした項目を、今回は「家でテレビを見たりゲームをしたりする」に合わせて、家の中で過ごす時間を知るための項目とした。その結果、家でテレビやゲームをする子どもは、前回二つの項目を合わせた 23%から 14%に減少している。また、前回「読書をしたり、マンガや雑誌などを読む」という項目を、今回は「読書(マンガや雑誌を除く)」と「マンガや雑誌を読む」区別した結果、読書よりマンガや雑誌を読む子どもの方が多く、前回「スポーツなどして外で遊ぶ」という項目を、「部活動やスポーツクラブに参加する」と「外で体を動かして遊ぶ」に区別した結果、そのほとんどが部活動やスポーツクラブに参加していることがわかった。今回新たに「友達と外出(遊びや買い物など)」の項目を設け、友人との結びつきが強くなるこの時期の傾向を調査したが、やはり高い数値で男女とも友人と過ごす時間を好んでいることがわかった。

異性への関心については、半数以上の子どもが異性に興味を示しており、男子は学年が上がる毎に興味の度合いが高まり、女子は男子より異性に興味をもつ度合いが高いなど、学年や男女の別によって興味の高さが異なっている。傾向としては男女共に異性への興味を持つ割合が減少してきている。

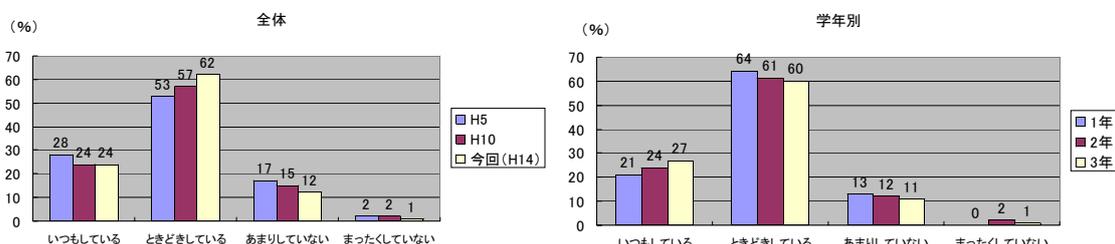
(文責 二又)

## 5 自己評価

### (1) 自己評価

#### Q⑳ 自主性

あなたは、自分で判断し行動しようとしていますか。

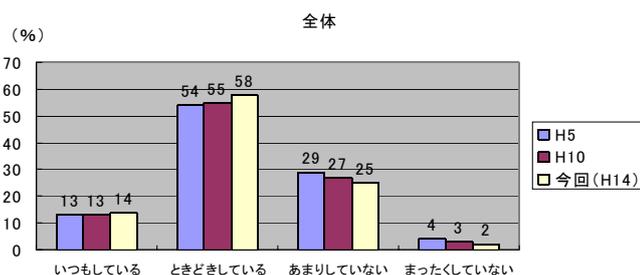


「いつもしている」「ときどきしている」を合わせると、全体では今回 86%で、前年度の 81%より、5 ポイント高くなっている。これは、創意工夫や主体性を重視する総合的な学習の時間の導入効果の現れかも知れない。男女別では共に 86%で一致している。学年別では、「いつもしている」1年生が21%、2年生24%、3年生27%で、学年が上がると共に、自分で判断し行動する割合が高くなっている。その背景としては、高学年ほど、部活動や生徒会活動でリーダー的な役割を担う機会が増えるということが考えられよう。

#### Q㉑ 積極性

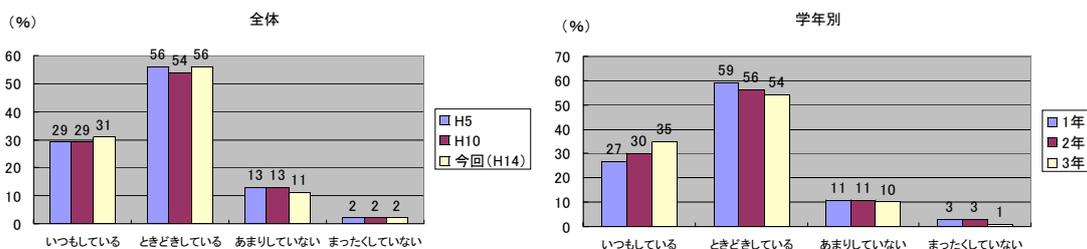
「いつも」または「ときどき」しているをあわせると 72%で、前々回の 67%、前回 68%より、若干の増加がみられる。男女別、学年別において、それ程大きな差異はみられないが、男子に比べると、女子の方がやや高い割合を示している。Q④で掃除当番やクラスの仕事を「まじめに責任をもってする」という割合が女子の方が高く、「しかたなく取り組んでいる」のは男子が多いということや、Q⑬の家の手伝いを「言われなくてもする」のも女子の方が高いことから、この年代では女子の方が、家庭と学校の両方において積極的に行動しているという自覚が高いようである。

あなたは、自分から進んで物事に取り組もうとしていますか。



#### Q㉒ 忍耐力

あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか。



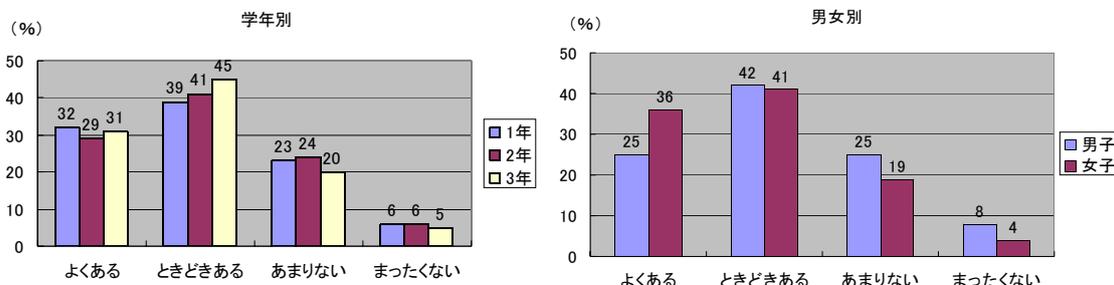
「いつもしている」「ときどきしている」を合わせると、前回 83%、今回 87%であり変化がしていない。学校別では、がまんを「いつもしている」のが、1年生27%、2年生30%、3

年生 35%で、加齢と共に自己統制力も高められていることを示しているといえるだろう。男女別では、それほど大きな差はみられなかった。

## (2) 悩み

### Q⑳イライラ

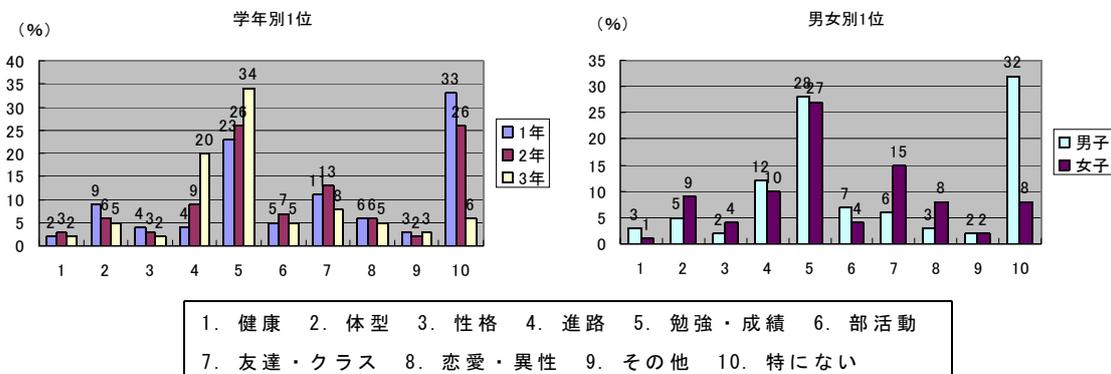
あなたは、最近、なんとなくイライラすることがありますか。



今回からの質問項目である。「よくある」「ときどきある」を合わせると、どの学年も70%以上の高い割合である。特に3年生は76%と他の学年より数ポイント高くなっており、受験勉強の負担や進路についての不安などが影響しているものと思われる。男女別に「よくある」だけを見ても、男子25%に対し、女子は36%で11ポイント高く、女子の方がストレスを感じる人が多いようである。

### Q㉑悩み・困惑

あなたが、今もっとも悩んでいること、困っていることを選んでください。



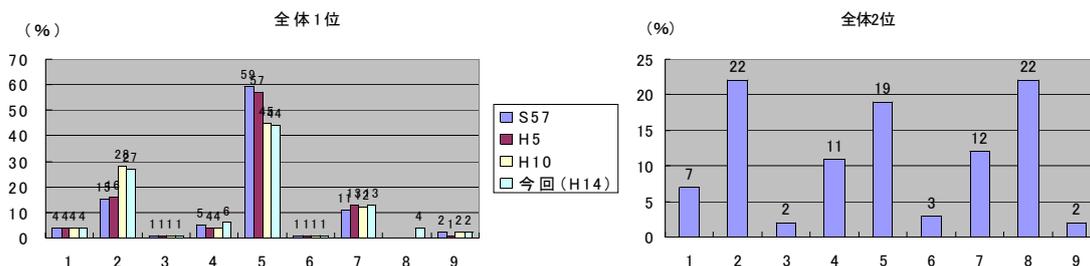
最も悩んでいることの1位は「勉強・成績」で28%である。次に多いのが「特にない」25%で、3位の「進路」11%と14ポイントもの開きがある。この2番までの順位は、初回、前々回と一致しており、前回のみの「特にない」が1位で逆転している。

学年別では、1, 2年生の1位が「特にない」であるのに対し、3年生は、「勉強・成績」34%、「進路」20%が上位を占め、「特にない」は16%で3位に落ちている。男女別では、男子の1位が「特にない」32%、2位「勉強・成績」28%になっているのに対し、女子では1位「勉強・成績」27%、2位「特にない」18%となっている。

このように最大の悩みが勉強・成績というのは、学歴社会の重圧が中学生にもものしかかっていることを示すものであろう。

## Q⑩相談相手

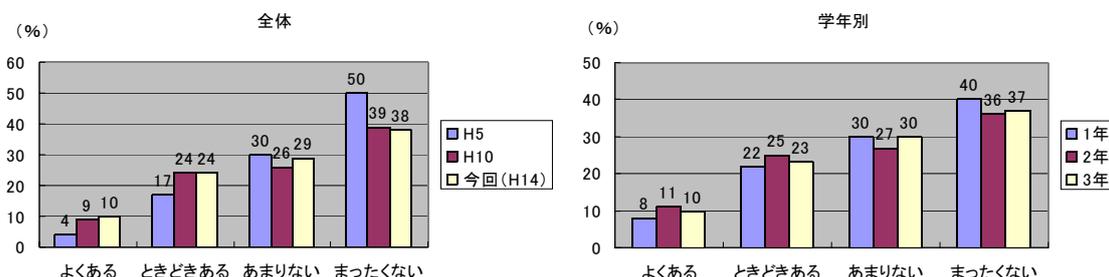
あなたは、困っていることや悩みを誰に相談しますか。



悩みを相談する相手として1位「友だち」44%、2位「母」27%という順位は、初回から変わらない。ただし、「友だち」は、初回59%、前々回57%、前回45%で、初回と15ポイントの開きがある。その分、「母」の割合が12ポイント上がっている。男女別では、「友だち」に相談する男子が35%なのに対し、女子は53%である。一方、「誰にも相談しない」が、男子18%、女子7%になっており、男子の方が悩みを一人で抱える割合が高くなっている。学年別では、1,2位の順位は変わらないものの学年が上がるにつれて、友だちに相談する割合が高くなり、その分母親への相談が低くなっている。また2番目に相談する人として、「相談する人がいない」が22%で一番高いのが気になるところである。

## Q⑪学校に行きたくない意識

あなたは、最近「明日からもう学校に行きたくない」と思うことがありますか。



「よくある」「ときどきある」を合わせて今回34%、前回33%とあまり変わっていないが、前々回21%に比べると、13ポイント高くなっている。すなわち近年では10年前よりも学校生活を肯定的にとらえにくい子どもが増えており、ときには「行きたくない」と思える程、否定的にとらえている層が3割以上みられるということである。学年間にはそれほど大きな差はみられない。男女別では、「よくある」「ときどきある」男子が30%、女子が36%と女子が6ポイント高くなっている。逆に「全くない」は男子が42%で、女子の33%より9ポイント高い。

## まとめ

(1)自己評価と(2)悩みという 2 つの側面から、中学生が自分をどうとらえているのかを検討した。自分に対する自主性、積極性、忍耐力を認めている子どもが 8 割前後を占めている。男女別には大きな違いはない。学年別では、自主性と忍耐力において学年と共に高くなっており、年齢とともに責任のある立場とリーダー的存在としての自発性、そしてそれに伴う忍耐力が養われていくという成長の姿が伺える。悩みの方では、イライラすることが「よくある」という女子が男子より多い。また「悩んでいること」も男子は「特にない」が最も多いのに対して、女子の 1 位は「勉強・成績」である。さらに「学校に行きたくない」も男子より女子が高いところから、学業のことを女子の方が深刻に受け止める傾向が強く、それだけにストレスを感じているものと思われる。学校に行きたくないという割合は年々高まっており、子どものメンタルヘルスについての配慮や対応が、今後ますます求められるところであろう。

(文責 吉川)

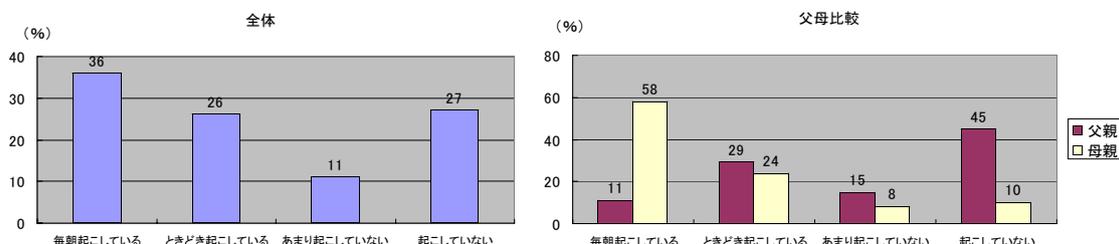
### 第3章 親の養育態度・行動の実態

#### 1 家庭生活

##### (1) 基本的生活習慣

##### Q①起床

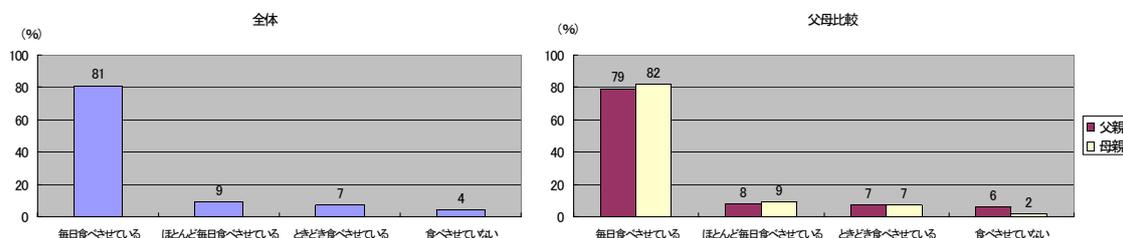
あなたは朝、お子さんを起こしていますか。



前回、前々回、初回とは質問の仕方が異なり直接比較はできない。全体としては「毎朝起こしている」36%、「ときどき起こしている」26%で合わせて62%の親が起こしているという結果である。質問の仕方がこれまでとは異なっているとはいえ、不必要に手をかけすぎているのでは、という実態は同じである。図に示されているように母親の場合約6割が「毎日起こして」おり、子どもの自立起床の支援にはほど遠い状況といえよう。

##### Q②朝食

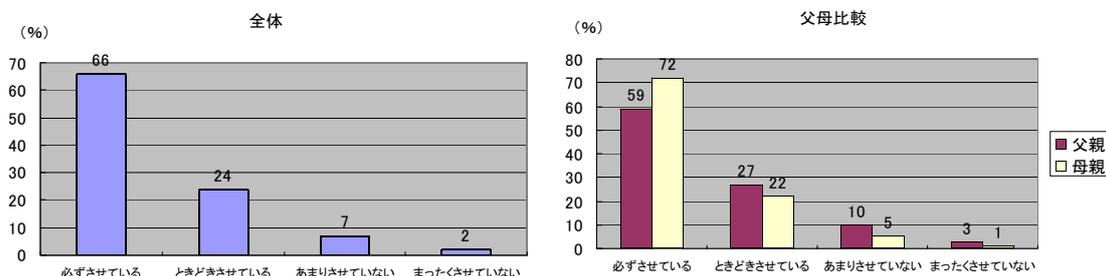
あなたの家では、お子さんに朝食を食べさせていますか。



今回からの質問事項である。全体としては「毎朝食べさせている」81%、「ほとんど毎朝食べさせている」9%で合わせて9割がほとんど食べさせているという結果であった。図に示されているように母親の場合91%が「毎朝食べさせている」と回答しているが、父親は87%であり、子どもの回答82%と考え合わせると、母親が親としてよりよい回答をしようという意識の他に、母親は「食べさせている」と思っているも子どもでは「食べている」と思っていないという意識の違いがあるのではと思われる。食べる食べないの問題だけではなく、毎日の規則的な生活習慣の一つとすることや、学校へと気持ちよく送り出すためにも重要であるということ、そして何よりも食を生活全体の中で価値あるものとして位置付け考えていくという食育の観点から、親は朝食を毎日きちんと家族で食べることの重要性を理解しておくことが必要であろう。

### Q③あいさつ

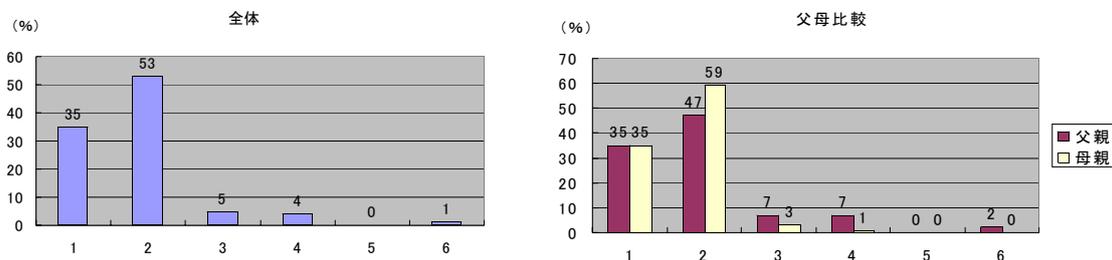
あなたはお子さんに「行って来ます」「おはよう」「おやすみ」「いただきます」  
など、家庭におけるあいさつをさせていますか。



今回からの質問事項である。全体としては「必ずさせている」66%、「ときどきさせている」24%で合わせて9割が親はあいさつをさせているという意識の結果であった。図に示されているように母親の場合94%が「させている」と回答しており、父親は86%、子どもの回答は87%で、大半の家庭はあいさつがなされているという結果である。親子のあいさつ意識の関連をみると、あいさつさせていると回答している親の子どもが、あいさつをする傾向があり、コミュニケーションの基本ともなりうるあいさつを家庭でのしつけとして親が習慣づける成果はあることがわかる。

### Q⑤校則違反

あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪型をしている場合、どのように対応していますか。

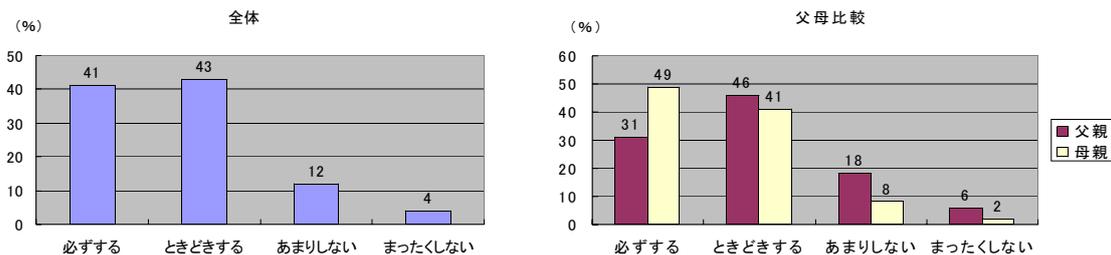


1. きびしくしかる 2. おだやかに注意する 3. 特に何も言わない  
4. 母親（妻）、父親（夫）に任せる 5. その他の家族に任せる 6. なにもしない

前回、前々回、初回と同じ質問内容である。「きびしくしかる」35%、「おだやかに注意する」53%という結果であり、大半の親がしかるという状況にある。家庭のしつけに関わる価値観の一つである服装や髪型への価値観の変化と共に校則への価値観の変化も加わり、時代的に「校則内容への肯定観」が変わってきていることが予想される。父母共に「おだやかに注意する」割合が増加している。父母別では母親が注意する割合が高く、中学生の段階で父親は「特に何も言わない」7%、「母親に任せる」7%という割合である。世代間ギャップを伴う服装等生活スタイルに対する家庭教育の難しさと共に、学校そのものに対する基本的合意の遵守意識の希薄化が、今後はこういったことに対する校則の問題として家庭教育とも関わってくるであろう。

## Q⑥宿題・手伝い

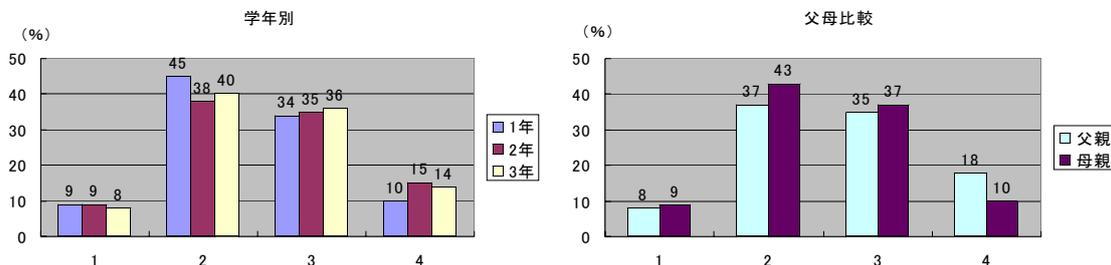
あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか。



前回、前々回と同じ質問内容である。服装や髪型への注意はしなくなる傾向にあるが、こちらは父母共に「必ず注意する」割合が41%と過去最高である。父母別では母親の方が「必ずする」割合が高いが、今回は母親だけではなく、父親も注意する割合が増えており、両親から宿題等で厳しくしかられる子どもが、学習意欲をむしろそがれる可能性があるのではと心配される。今後は、子どもが主体的に宿題等と関わっていくように仕向けていくために、子どもがどこかで息抜きを持てたり、計画的な自習体制の確立と共に父母での役割分担などが求められるのかもしれない。上の学年では親のいうことを聞かなくなるのか、学年別にみると低学年ほど「必ず注意する」割合が高いのが前回同様の特徴である。

## Q⑧テレビ・ゲームのルール

あなたは、お子さんのテレビやゲームの内容や時間について、何かルールを決めていますか。



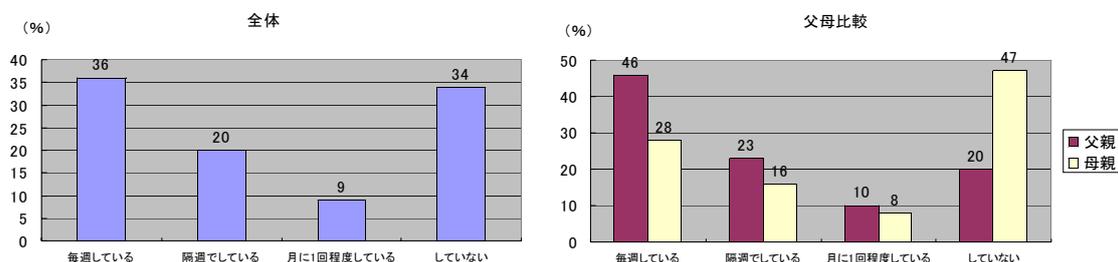
1. きちんとルールを決めている 2. だいたい決めている 3. ほとんど決めていない 4. まったく決めていない

今回加えた質問項目である。全体では「きちんとルールを決めている」8%、「だいたい決めている」40%と合わせて「決めている」48%、「ほとんど決めていない」36%、「まったく決めていない」14%と合わせて「決めていない」49%と約半々の割合である。子どもへの調査から平日のメディア漬けの状況が明らかになったが、関連を見ると決めていない親の子どもほどメディア接触時間が長期化するという傾向がみられる。今後は親子で共にテレビを見ながら、家族でメディアの内容等についても話し合いながらルールを決めていくなどして、主体的にメディアと関わっていく能力を育てていくことが必要であろう。

## (2) 土曜の仕事

### Q④土曜の仕事従事

あなたは、土曜日仕事をしていますか。(家事従事を除く)

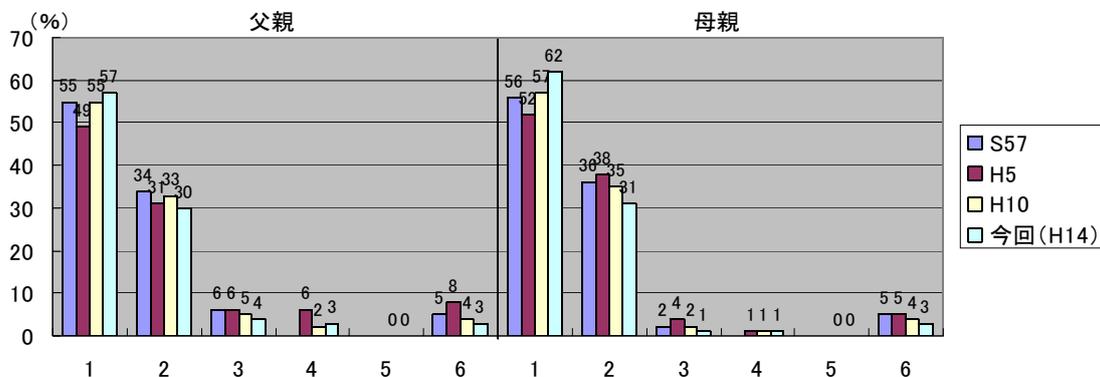


完全学校週5日制の今年度からの導入との関係などから、今回新たに加えた質問項目である。全体では「していない」34%、「毎週している」36%となっており、子どもたちと合わせて休みになっている親は約3分の1である。父母別で見ると母親は「していない」47%に対して父親は「していない」20%と差がある。今後、いろいろな機関が子どもや家族向けに土曜日の地域活動や体験活動等を実施していく場合、親の就業状況に応じた取り組みへの配慮が求められる。約3分の2の親が子どもと一緒に自由な時間を確保することが難しい現在の状況があり、中学生の子どもの居場所づくりや活動のきっかけづくりが、相談相手の存在と共に必要なのではないだろうか。

## (3) 言葉づかい

### Q⑦親への言葉

あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのような対応をしていますか。



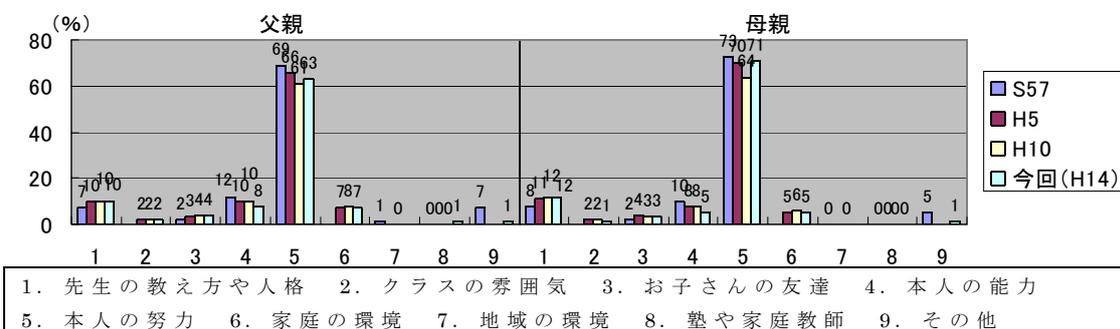
- |                    |               |                |
|--------------------|---------------|----------------|
| 1. きびしくしかる         | 2. おだやかに注意する  | 3. 特に何も言わず聞き流す |
| 4. 母親(妻)、父親(夫)に任せる | 5. その他の家族に任せる | 6. その他         |

前回、前々回、初回と同じ質問内容である。言葉をどの程度大切にするかという価値観の変化と共に親への態度のあり方への価値観の変化も加わり時代的に変わってきていることが予想される。父母共に「きびしくしかる」割合が増加している。父母別では母親が注意する割合が高いが、服装等とは異なり父親も「特に何も言わない」4%、「母親に任せる」3%という割合であり、親に直接関わってくるようなことに関しては、叱らず母親任せの家庭教育になっている割合は比較的低い。今後はコミュニケーション手段として相手の事をまず思いやり、よりよい言葉にするように気を配ったり、対話の成立するものへと言葉の使い方を工夫していくことが家庭の中で求められよう。

(4) 学習

Q⑨成績の影響要因

あなたは、お子さんの成績にもっとも影響するのものは次のどれだと思いますか。(1つ選択)

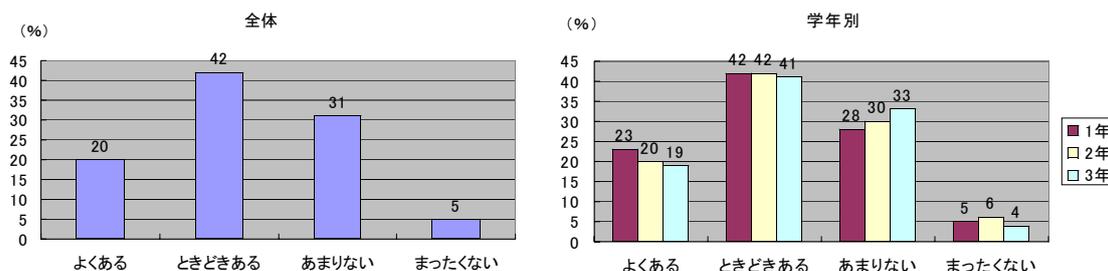


前回、前々回、初回と同じ質問項目である。前回、前々回、初回と同じく1位は父母共に「本人の努力」をあげている。全体では68%と断然高くなっている。次が「先生の教え方や人柄」11%である。本人の能力や家庭の環境と捉える割合は低く、成績の責任が本人の努力次第ということに集約されすぎる可能性を秘めているともいえ、子どもにとっては逃げ場のないものとなってしまう場合もある。中学時代の成績は高校入試をひかえ、親子共に関心事であることが多いが、子ども自身の生活の中での成績や学習の位置付けや将来の展望が重要である。今後は、親は学習環境を整えるだけでなく、学習の過程の重要性を認め、適切にほめることなどで、学習の土台としての意欲・関心を育てていくことが求められる。その際、学習の成果とつながっていくと考えられる、多様で異質な生活・文化体験等を意識的に充実させていくことによって、子どもの内側からの学習意欲を高めていくことが重要であろう。

(5) 他家族との交流

Q⑩他の家族との交流

あなたの家族は他の家族との交流がありますか。



今回新たに加えた質問項目であり、今後、家族を開きながらつなげていき、地域でのつながりをつくっていくことも考えて入れた質問項目である。完全学校週5日制の今年度からの導入との関係から、土曜日の活動の可能性の状況を尋ねたものでもある。全体では他の家族との交流が「よくある」20%、「ときどきある」42%と合わせて62%の家族が他の家族との交流がある。他方「あまりない」31%、「まったくない」5%と交流のない家族も全体の約3分の1存在しており、特に「まったくない」家族の存在には十分な配慮が必要であろう。孤立化することによって子どもと親の関係が密接になりすぎたり、子育てにおけるストレスがたまりやすいことが言われており、むしろ協働の子育てとしてこちらから出向いて行くなど、まわりから重点的に関わっていく

ことが求められよう。父母別では母親が 64%に対して父親は 59%と他の家族との交流があると回答している割合が低く、今後父親も含めた家族交流が求められよう。成長して自立した親が思うのか、子ども自身が他の家族との交流を望まなくなるのか、学年別では図に示されるように子どもの学年が上がるほど、家族の交流が減少する傾向がある。高校入試や進路の決定など家族で悩む事が多くなる高学年においてこそ、親身になって話し合える他の家族が必要とされるのではないだろうか。

## まとめ

家庭生活における親の養育態度は、全体としては子育てに大半の親は関わろうとしており、子どもの成績への考えなどは基本的には昭和 55 年からそれほど変化しておらず、しつけ方が「おだやかにしかる」など子どもに配慮したものとなってきている。しかし、自律起床の支援は進まず、メディア接触等に関するしつけは不十分であり、土曜日の子どもの活動支援と共に、新しい課題として今後は重点的に取り組んでいく必要がある。全体としては母親の方が基本的な生活習慣づけなどは関わっているが、父親も宿題・手伝い等の注意をする割合が増加してきている傾向がある。他方、服装等への注意は他人任せにしている父親のある一定層の存在もあり、今後は社会のルールを一貫して示していくことが求められよう。他家族との交流をあまりしていない家族も存在しており、今後は家庭教育の課題としてだけでなく、共に活動する喜びを子どもに知らせるという意味からも、近所の人へのあいさつを含めて、地域社会の課題として家族交流の拡充が求められよう。

(文責 井上)

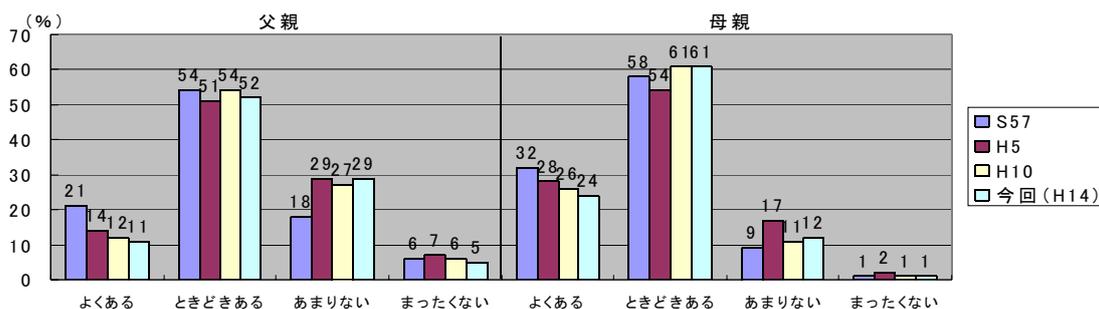
## 2 親子交流

### (1) 日常の対話

#### Q⑩将来・人生の話

あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生のことについて話す事がありますか。

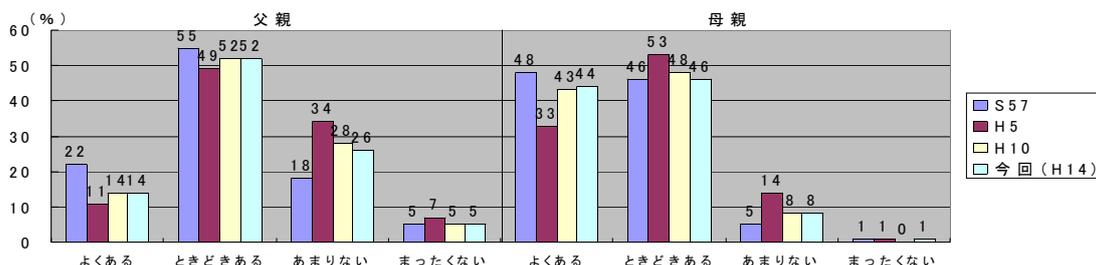
(どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外で)



子どもと将来や人生の話をしている父親は「よくある」「ときどきある」を合わせて 63%、母親は 85%でどちらも前回とあまり変わっていない。しかし「よくある」だけをみると、初回から今回まで父母共に漸減傾向にあり、対話の頻度は少なくなっていると言えるだろう。学年間で比較すると、3年生の親は1，2年生の親より数ポイント高くなっている。このことは、中学生調査で3年生と母親との対話をもっとも多いという結果と一貫するものである。これらの結果が示すように卒業年度には必然的に進路の話が多くなっているものと思われる。

## Q⑪学校生活の話

あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか。

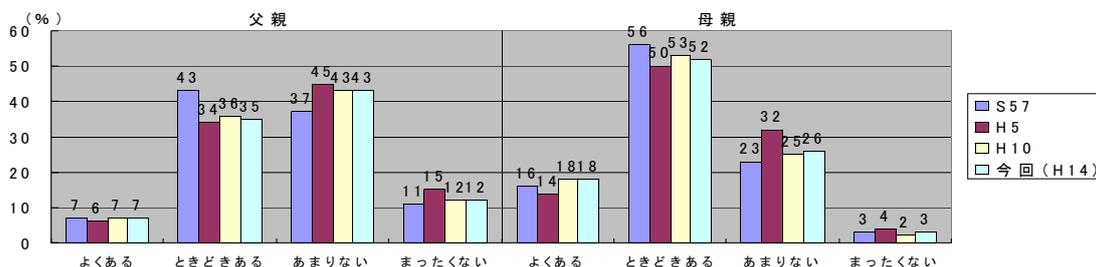


子どもと学校生活について話をしている父親は、「よくある」「ときどきある」を合わせて、前回と同じく 66%であるが、初回 77%に比べると 11 ポイント減少している。一方、母親は、初回 94%、前々回 86%、前回 91%、今回 90%と 9 割前後の高さを維持している。しかし、同じ質問内容でも中学生調査の回答では、母親 75%、父親 37%であり、特に父親と子どもとの意識のずれが大きいようである。学年別では父親には大きな差がみられないものの、母親の方は、「よくある」が 1 年生 51%、2 年生 42%、3 年生 39%で学年が上がるごとに低くなっており、学校生活を話題とする頻度は、加齢と共に少なくなっている。

## (2) 意見交換

### Q⑫家庭への意見・相談

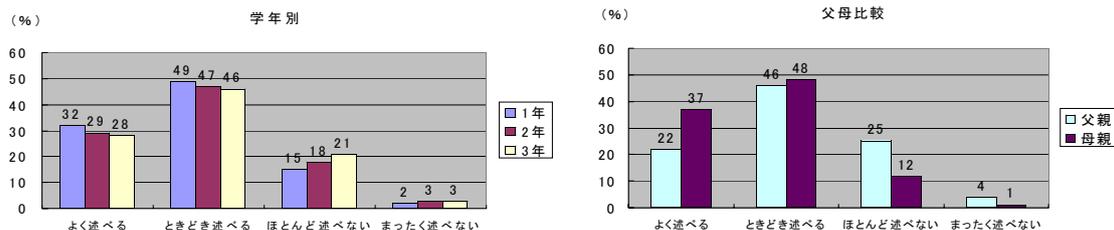
あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか。



子どもに、家庭のことで意見を聞いたり、相談をしたりすることが「よくある」「ときどきある」という父親は 42 %、母親 70%で、前年度の父親 43%、母親 71%と、ほぼ同じ割合で母親の方が高い。父親・母親を合わせた全体で学年別の比較してみると、1 年生 60%、2 年生 56%、3 年生 55%で 1 年生と話す割合が最も高い。本来なら、高学年程そうした話題に触れて、家族の一員としての自覚や責任ある行動を促してほしいところであるが、成長と共に子どもが親離れすることや、学習塾に時間をとられて (中学生調査 Q⑩)、親子交流のための時間が削られていくのかもしれない。

### Q⑬親への意見

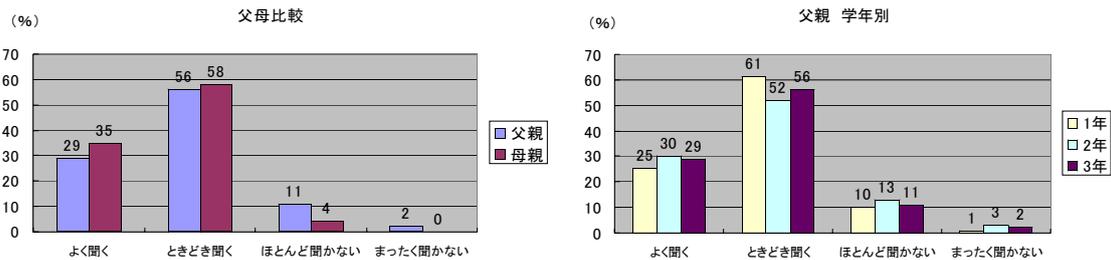
あなたのお子さんは、あなたに対して自分の考えや疑問をはっきり述べますか。



今回からの質問項目である。子どもが自分の考えや疑問を述べていると思う父親は68%、母親は85%で、やはり母親の方が話しやすいようである。学年別に父親・母親合わせた全体で比較してみると、1年生81%、2年生76%、3年生74%で、1年生との割合が最も高い。高学年で下がる理由としては、この年代では子どもの方が、親子間の相互理解よりも、自分の世界や友達との交流に重点を移していく時期にあたっているということが推測される。

#### Q⑭子どもの言い分を聞く

お子さんがあなたの価値観と異なる考えや行動を示す場合、どの程度  
お子さんの考えや言い分を聞きますか。



今回からの質問項目である。子どもの言い分を「よく聞く」「ときどき聞く」という父親が85%、母親はそれより8ポイント高い93%である。父母共に大半の親が子どもの言い分を聞いていると思っているようであるが、子どもの側からすると父親65%、母親81%（中学生調査Q⑦）で多少のずれがある。学年別で「よく聞く」を比較すると、父親の方に差があり、1年生25%、2年生30%、3年生29%で、1年生をもつ親が最も低くなっている。

#### まとめ

親子交流の中で対話を深めつつ、進路についての相談にのったり、子どもからの意見をきちんと聞くことは、疾風怒濤の中にある思春期の子ども心に、羅針盤を指し示す関わりといえよう。日常の対話で子どもと将来・人生、学校生活の話をするという父親は6割以上、母親は9割前後を占めている。また子どもの言い分を聞いているとするのは父母共に9割前後の値を示している。しかしそれに対応する子どものアンケート結果の数値は、それよりかなり押さえられており、とりわけ父親の方がそのずれが大きい。親は自己満足に終わらずに子どもにも納得できる会話を心がけたいものである。特に父親は時間がとりにくい状況にはあるが、頻度だけではなく、交流の中身を深める工夫をして、父親の持ち味を發揮してほしい。

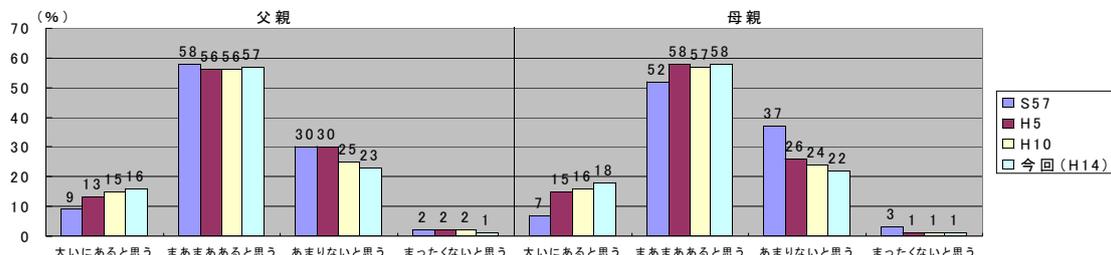
(文責 吉川)

### 3 子どもの評価

#### (1) 子どもの生活

##### Q⑩自主性

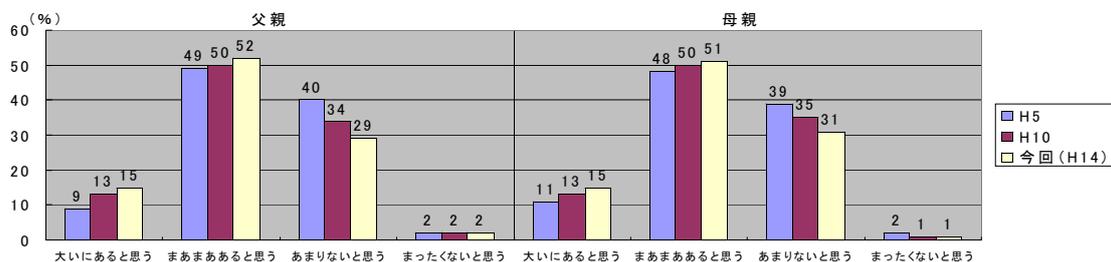
あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか。



子どもの自主性を「大いにある」「まあまあある」と認めている父親は 73%、母親は 76%で父母間に大きな違いはない。「大いにある」だけをみると初回の父親 9%、母親 7%からそれぞれ漸増傾向にあり、今回父親 16%、母親 18%になっている。学年別の差異はみられなかった。中学生調査での同じ質問内容では、男女とも 86%であったことから、親の目から見ると子どもは自分の自主性を認めている割合が高いようである。親には物足りなく見えても、子どもなりの自主性を認めることから、子どもの次の一歩を引き出せることもあるということを中心にとどめておきたい。

##### Q⑪積極性

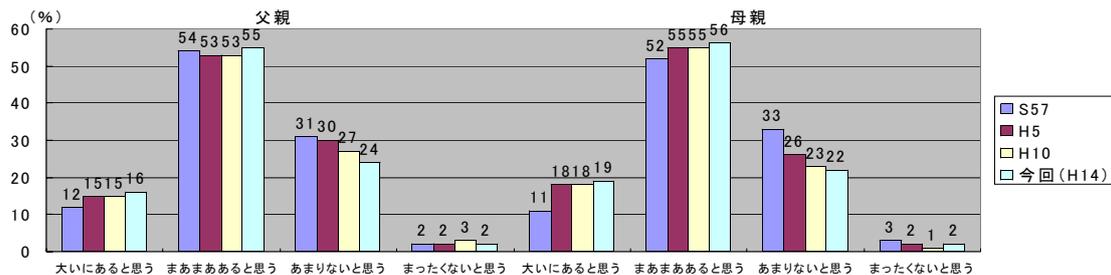
あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取り組む）があると思いますか。



子どもに積極性が「大いにある」「まあまあある」としている父親が 67%、母親が 66%である。前々回が父親 58%、母親 59%、前回は父母共に 63%で漸増傾向にあり、今回は 9 年前の前々回より父親が 9 ポイント、母親が 7 ポイント高くなっている。しかし、Q⑩の「自主性」に関する評価よりはやや低い値となっており、子どもが自分で判断しつつも、積極的に行動を起こすには至っていないとみなされる場合があるであろう。親の性別、子どもの学年間にはあまり差がみられなかった。

##### Q⑫忍耐力

あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか。

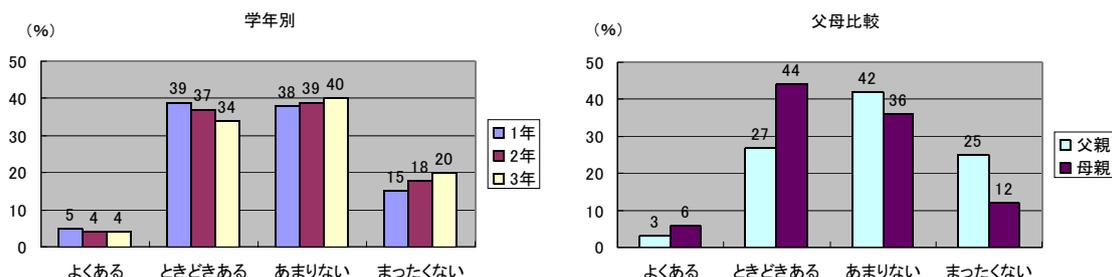


子どもに忍耐力が「大いにある」「まあまあある」と思っている父親 71%、母親 75% である。父親は初回の 66% から 5 ポイント高くなっている。母親は初回 63% から年々増えて、今回 12 ポイント高くなっている。今回の父母を合わせた全体では 73% であるのに対して、中学生調査では 86% になっており、やはり子どもの自己評価の方が高くなりやすいようである。学年別には差がみられなかった。

## (2) 接し方

### Q⑱他の子との比較

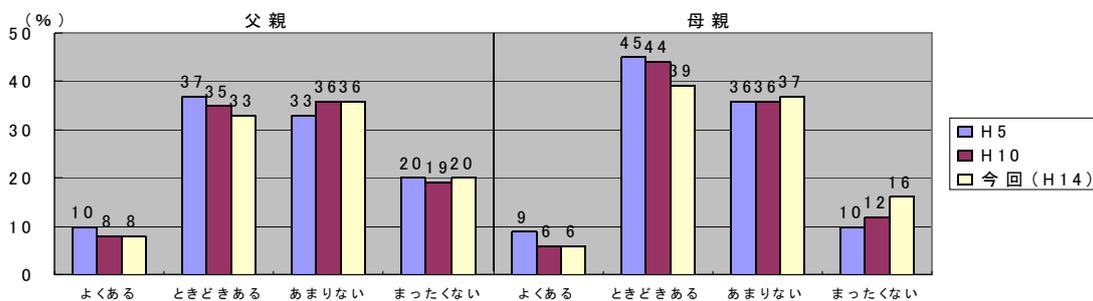
あなたは、お子さんを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、  
注意したりしかったりすることがありますか。



他の子どもと比較して、しかることが「よくある」「ときどきある」という父親は 30% で、母親はそれより 20 ポイント高い 50% である。父親・母親ともそれぞれ前々回、前回の割合とそれほど変化はみられない。すなわち過去の調査から一貫して半数近い母親が、他の子どもと比較しながら子どもを評価しているということがわかる。父親に比べて、他の子どもと接する機会も多い母親は、ついよその子やきょうだいと比べて注意してしまいがちであるが、子どもにとってはやる気を損なわれやすいということを留意すべきであろう。父母を合わせた全体で学年別にみると、1年生 44%、2年生 41%、3年生 38% で学年と共にその割合は低くなっている。子どもの外に評価の基準を設けていた母親も、子どもの成長と共に、子どもの個性に目を向けた育ちを認めたいけるように折り合いをつけていくのであろう。

### Q⑳男女別の注意

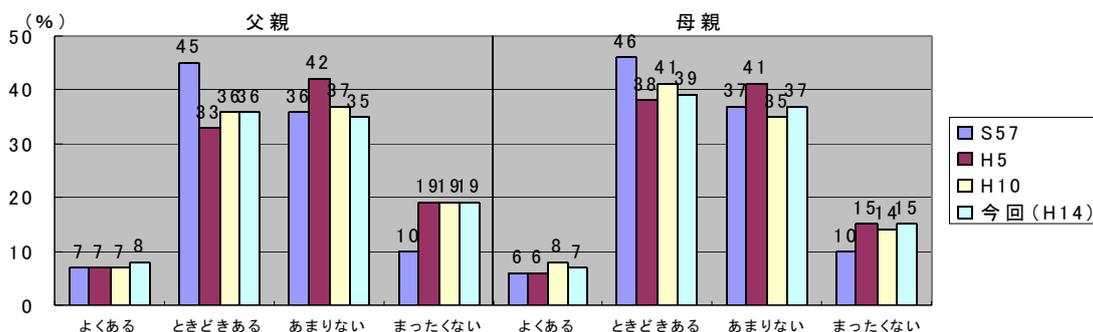
あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。



男の子と女の子を区別して注意することが「よくある」「ときどきある」のは父親 41%、母親 45% である。前々回父親 47%、母親 54%、前回父親 43%、母親 50% と常に母親の方が高い割合であるものの、それが年ごとに減少する割合も母親の方が大きく、前々回より今回は父親 6 ポイントに対して母親は 9 ポイント減っている。学年別の差はみられなかった。

## Q⑫殴りたい

あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがありますか。

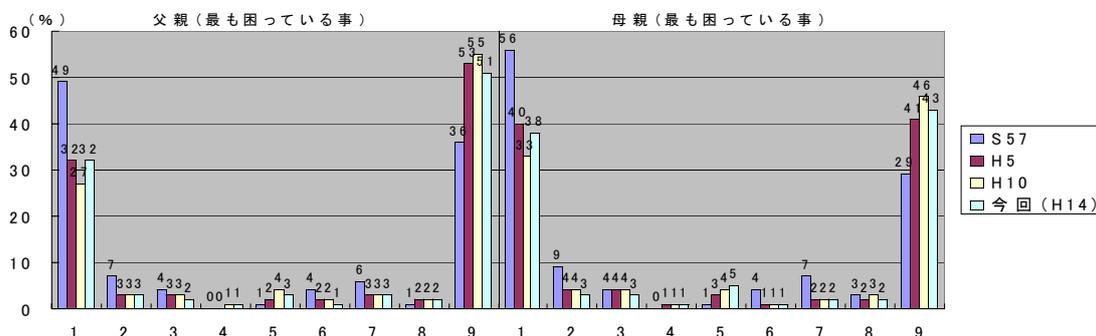


「よくある」「ときどきある」を合わせて、父親 44%、母親 46%である。初回は父親・母親共に 52%であったのが、前々回父親 40%、母親 44%、前回父親 43%、母親 49%で、年ごとに増減があるが、初回と今回では、父親 8 ポイント、母親 6 ポイントの開きがある。学年別には、1 年生 49%、2 年生 45%、3 年生 42%で学年が上がる程減少している。このように半数近い親が「殴りたい」と思う程、この時期の子どもは理解に苦しむ行動に走ることがある。その親子間の溝をそのまま怒りにまかせず、対話の中で埋めていく努力が親としての成長にもつながる道筋であろう。

## (3) 子どもに関する悩み

### Q⑬子どもの悩み

あなたは、お子さんについて困っている事、悩んでいることがありますか。



1. 成績・進路のこと
2. 体の成長のこと
3. 家族への反抗・暴言など
4. 学校に行きたがらない
5. 友達づきあい
6. 服装・髪型・言葉づかいなどがみだれている
7. 生活がだらしくやる気がない
8. その他
9. 特にない

「最も困っている・悩んでいる事」という問いに対して、父母共に1位は「成績・進路」で父親 32%、母親 38%である。2位は父親が「体の成長」3%、母親が「友達づきあい」5%でいずれも1位との開きが大きい。これは「特にない」が父親 51%、母親 43%を占めていることの影響と思われる。前年度においても「成績…」が父母共に1位であることは変わらないが、やはり「特にない」がそれを上回る割合となっている。また「次に悩んで…」では、「特にない」の父親の割合がさらに高くなり 64%で、その他の項目はすべて 7%以下である。また母親は、「特にない」が 30%と、無回答が 33%あり、1位の項目である「友達づきあい」および「成績…」でもその割合は 8%にすぎない。また学年別にみると、1位の項目は「成績…」で一貫しているが、その割合は1年生 24%、2年生 35%、3年生 43%と学年ごとに増加している。

## まとめ

子どもの評価について、(1)子どもの生活、(2)接し方、(3)悩みの3側面からみている。自主性、積極性、忍耐力についての親の評価は、初回から徐々に高くなってはいるが、子どもの自己評価に比べれば、今回でも10ポイント前後低い。家庭の外でも子どもが自分の力を発揮している姿は、直接親の目に触れられない分が差し控えられているかもしれないが、親の評価は子どもの自己評価に及ばない。男女別の注意は、調査の回を追うごとに減っており、性役割の意識がだんだん薄まっている社会の流れを示すものといえよう。しかし他の子との比較は以前として母親に多くみられる。また半数近くの父親・母親が子どもを殴りたいと思ったことがある。子どもの「自主性」や「積極性」を見守り、その子なりの育ちを認めていけることで、子育てにゆとりと楽しみを見いだしたい。殴りたいといういらだちは、学年が上がると共に減少する傾向にある。思春期の荒波に親も巻き込まれながら、しだいに折り合いをつけて、気持ちを納めていくのであろう。しかしその荒波にうまく対応できるかどうかは、親子の交流の質に関わっていると思われる。子どもに関する悩みは、これまでの調査から一貫して「成績・進路」が他の項目を大きく引き離して1位である。子ども自身が悩んでいることも「勉強・成績」で共通しており、学歴社会を反映していると思われる。しかしその一方で「なんとなくイライラする」という子どもが多いことや、「学校に行きたくない」という子どもの数が増加傾向にあることを考えると、成績を伸ばす以外にも、心のたくましさを育てることに親は留意すべきであろう。

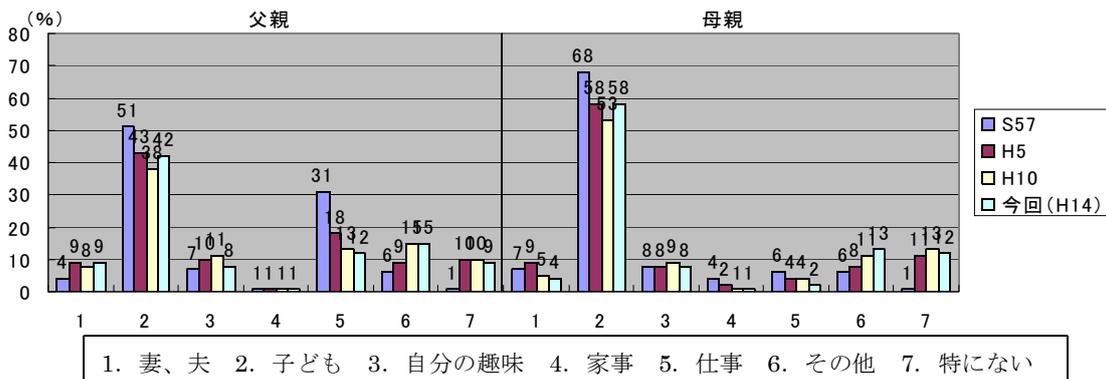
(文責 吉川)

## 4 養育態度

### (1) 親の意識

#### Q④生きがいの対象

あなたの生きがいの対象は、何ですか。



父母共に「子ども」を生きがいとしているという割合が最も高く、とりわけ母親は58%で、父親の42%を16ポイント上回っている。子どもを一番の生きがいとするのは初回から一貫しているが、初回父親51%、母親68%、前々回父親43%、母親58%、前回父親38%、母親53%となっており、前年度までの減少傾向から今回また少し盛り返したことになる。2番目に多いのは、父母共に「その他」で一致しているこの内容を自由記述でみると母親は明記されていないが、父親は「家族」全体をあげているのが目立っていた。3番目に多いのは父親が「仕事」、母親は「特にない」で共に12%になっている。

## Q⑳ しつけの自信

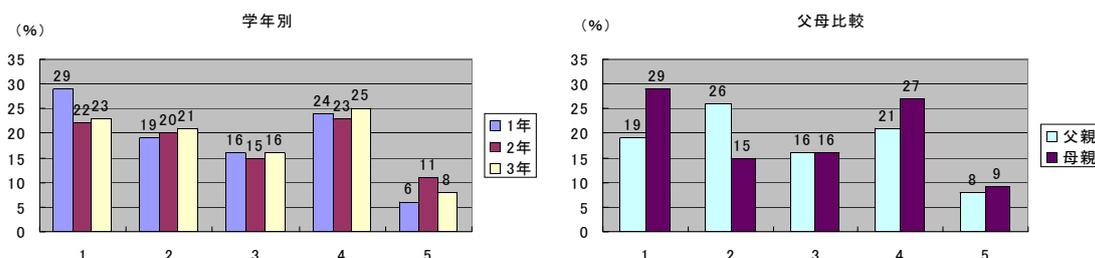
あなたはお子さんのしつけに自信がありますか。



「大いにある」「まあまあある」を合わせて、父親 61%、母親 58%である。初回父親 74%、母親 62%、前々回父母共に 61%、前回父親 58%、母親 53%と比べてみると、父親は、初回が他の年より 13 ポイント以上高いが、その後の変動は少ない。一方、母親は、前回に落ち込みがみられるものの、その他の年では、60 %前後で安定している。学年別ではそれほど大きな差異はない。

## Q㉑ しつけの自信

しつけがうまくいかないと感じるのはどのような点ですか。

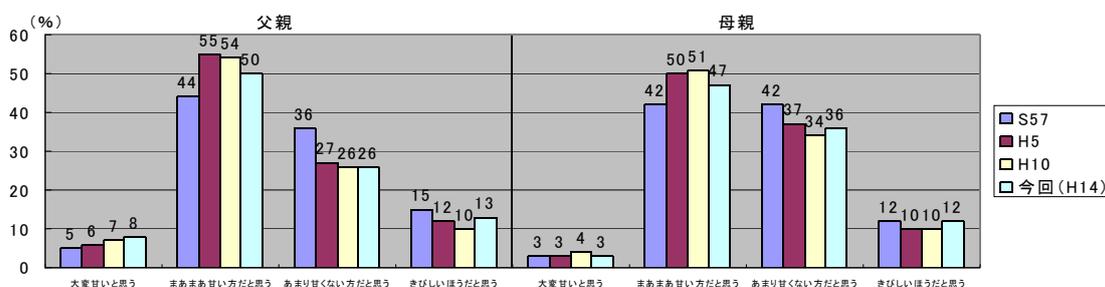


- 気分や感情に左右され、しつけの態度にムラがある
- 仕事が忙しく、しつけにじっくり関わる余裕がない
- 価値観の多様化により、しつけの基準がわかりにくい
- 成長とともに、子どもの気持ちがあつかみにくなっている
- その他

しつけがうまくいかないという理由として最も多いのは、父親が「仕事が忙しくて、しつけにじっくり関わる余裕がない」26%、2番目に「成長と共に、子どもの気持ちがあつかみにくなっている」21%である。母親は1番目が「気分や感情に左右され、しつけの態度にムラがある」29%、2番目が父親と同様に「成長…」27%である。学年別にみると、1年生では「気分…」29%が最も高いのに対して、2年生、3年生では「成長…」がそれぞれ23%、25%で最も高くなっている。

## Q㉒ しつけの甘さ

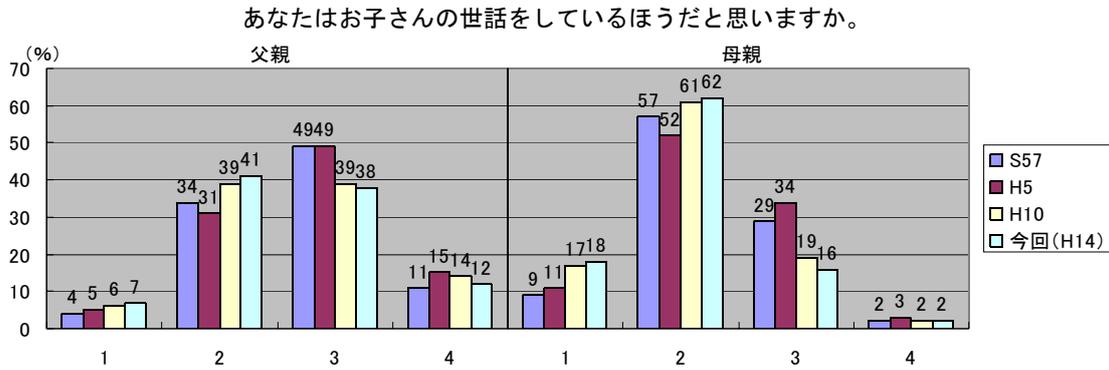
あなたはお子さんのしつけについて甘い方だと思いますか。



「大変甘い」「まあまあ甘い」という父親は 58%で、母親 50% より 8 ポイント高い。

母親は初回からあまり大きな変化はないが、父親は初回 49%から 9 ポイント高くなっている。父親の「しつけの自信」が初回から今回にかけて大きく減少しているのと対照的である。学年別では1年生 49%、2, 3年生 54%で5ポイントの差がある。中学生調査と比べると、子どもの立場からは甘くないと思っても、親の方が自分を甘い親だと評価しやすいようである。

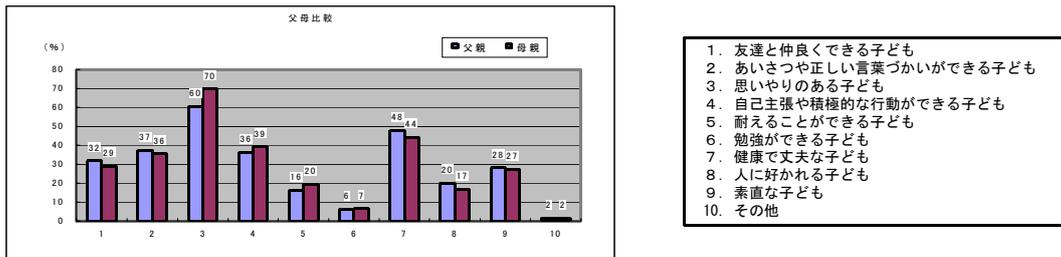
Q⑳世話



「大変よく」と「まあまあ」を合わせて、世話している父親は 48%、母親 80%である。父親の初回は 38%、前々回が 36%、前回は 45%で結果的には初回から今回は 10 ポイント高くなっている。母親は初回から順に 66%、63%、78%、80%で、前々回から前回にかけて大きく増加していることになる。学年別の差はみられなかった。世話をする内容が、子どもの自立を促す方向であればよいが、単に手をかけすぎているのであれば、できることから親の手を控えていくべきであろう。ただし、それが放任にならないよう、しっかり心配りをする必要はもちろん残されている。

Q㉑子どもの将来像

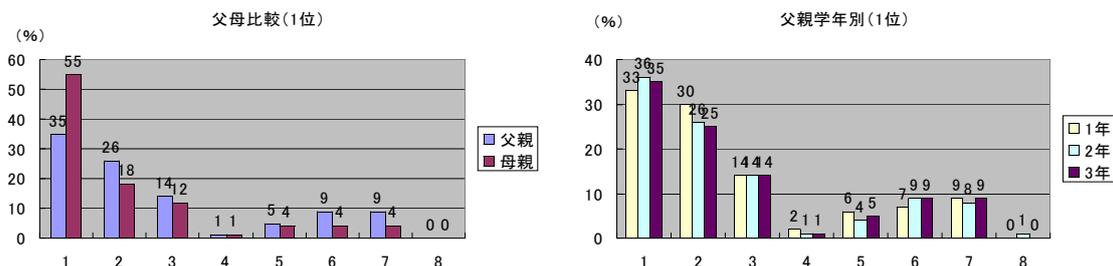
あなたは、お子さんにどんな子どもになってほしいと思っていますか。



今回からの質問項目である。父親で1番多いのは、「思いやりのある子ども」60%、2番「健康で丈夫な子ども」48%である。この順番は母親も一致しているが、それぞれの割合は 70%、44%でその開きが大きい。3番目に父親は「あいさつや正しい言葉づかいができる」37%、母親は「自己主張や積極的な行動ができる」39%になっている。学年別の差はみられなかった。

### Q③家庭の役割

あなたが、子育てをするときの家族の役割として重要と思われるものは何ですか。



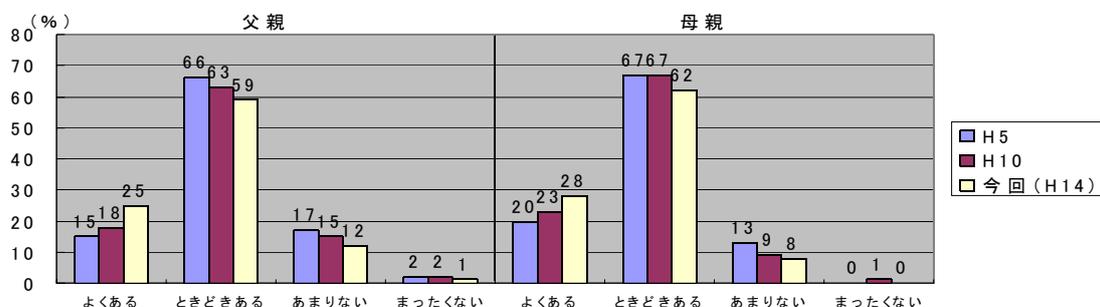
1. 休息・やすらぎの場 2. 家族の絆を強める場 3. 生活習慣を身に付けさせる場  
 4. 学習習慣を身に付けさせる場 5. 健康管理をする場 6. モラルを教える場  
 7. 将来の自立に向けた見通しを持たせる場 8. その他

今回からの質問項目である。1位で最も多く選ばれているのは、父母共に「休息・やすらぎの場」で父親35%、母親55%である。次に多いのが、「家族の絆を強める場」で父親26%、母親18%となっている。2位、3位として選ばれるのは父母共に「生活習慣を身につけさせる場」が最も多くいずれも25%前後である。このことから中学生をもつ約4分の1の家庭で、生活習慣の自立が確立しておらず、親の手がまだまだ必要と感じていることがわかる。学年別では、父親が2位に選んでいる項目の割合に差がみられた。すなわち、1年生をもつ父親は「生活習慣…」31%、2年生、3年生24%で、7ポイントの開きがある。

### (2) 養育態度

#### Q⑬ほめる

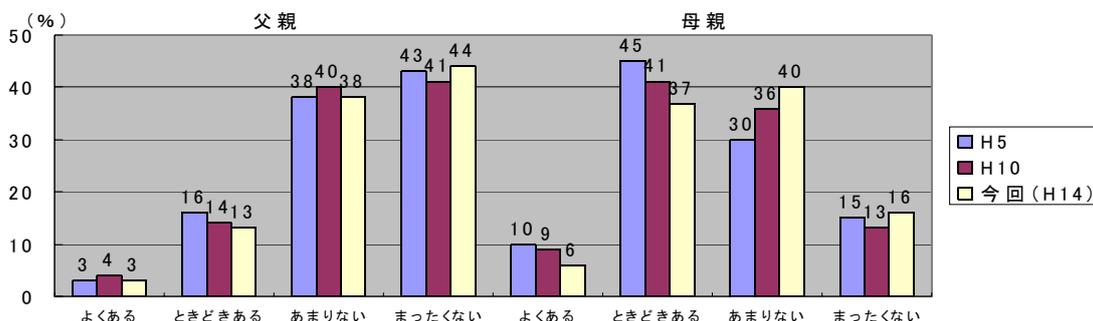
あなたは、お子さんをほめてあげることがありますか。



子どもをほめることが「よくある」「ときどきある」を合わせて父親は84%、母親は90%で母親の方が6ポイント高い。大半の親が子どもをほめて育てているが、「よくある」だけをみると前々回が父親15%、母親20%、また前回が父親18%、母親23%で、今回は前々回より父親で10ポイント、母親で8ポイント高くなっている。近年「子どもをほめて育てよう」という意識が高まっているものと思われる。学年別、親の性別による差はみられなかった。

## Q⑨ しつけの学習

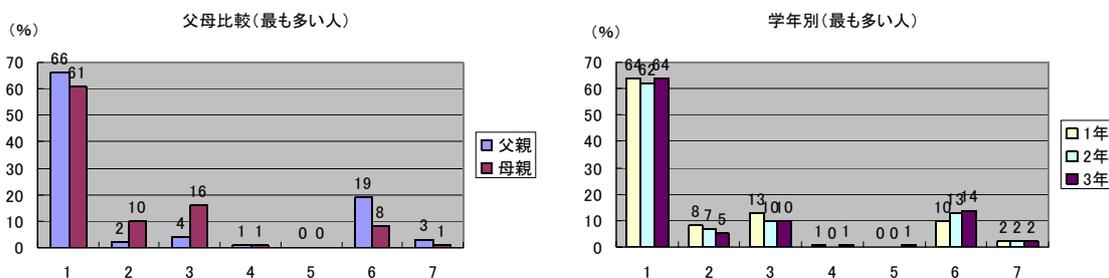
あなたはしつけについて本を読んだり、テレビ番組をみたり、講演会にいったりすることがありますか。



「よくある」「ときどきある」を合わせて父親は 16%、母親は 43%で、母親の方が高い割合であるが、前々回で父親 19%、母親 55%、前回父親 18%、母親 50%と、父親はそれほど大きな違いがないのに対して、母親の方は前々回から 12 ポイントの減少になっている。学年別では、1 年生 34%、2 年生 28%、3 年生 29%となっており、入学年度が最もしつけに関して関心の高い時期となっている。Q④で「土曜日仕事をしている」のが「毎週」あるいは「隔週」という母親は、しつけについての学習を「あまりしていない」人が最も多く、逆に「土曜日に仕事をしていない」人は、「ときどきある」という人が最も多い。不況の中で女性の労働時間が増えたことで学習の時間がとれなくなったということも考えられよう。しかし、仕事をしていない人も学習することが「よくある」という人の割合は少ないので、時間だけの問題とは言えないであろう。

## Q⑩ 悩みの相談相手

あなたは子育てについて悩みを誰に相談することが多いですか。

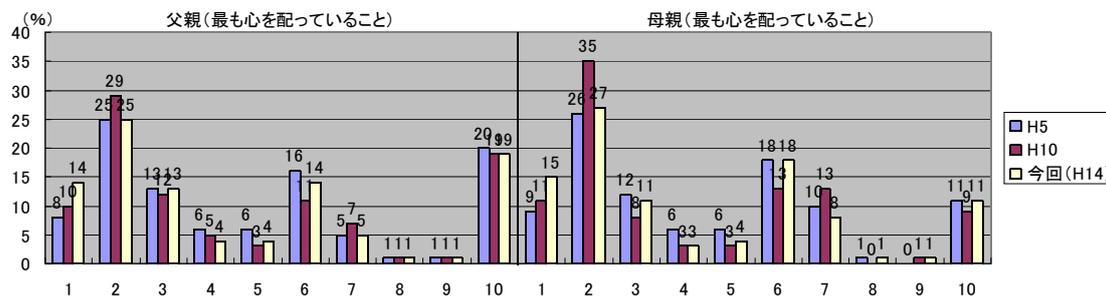


1. 配偶者 2. 配偶者以外の家族や親族 3. 友人や職場の同僚 4. 学校の教員  
5. 行政や民間の教育相談 (電話相談) を利用 6. 相談せずに自分で考える 7. 特にない

今回からの質問項目である。「最も多い人」として父母共に過半数を占めているのが配偶者である。「2 番目に多い人」としては、父親が「相談せずに自分で考える」20%なのに対して、母親は「友人や職場の同僚」16%である。学年別にみると「最も多い人」の 1 位が配偶者であるのはどの学年も同じであるが、2 位は 1 年生の親が「友人や職場の同僚」で、2, 3 年生の親になると、「相談せずに自分で」になっている。中学校に慣れない 1 年生の頃は、親も友人など、特に経験者の話が参考になると思われる。それが次第にころあいがわかってくると共に、自分なりの解決方法を身につけていくものと思われる。しかしその際でも父母間のコミュニケーションは積極的にとって二人三脚の子育てを心がけたい。

## Q⑩ しつけの心配り

あなたはお子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか。



1. 友達との関係 2. あいさつや言葉づかいなどの基本的な生活習慣 3. 自主性 4. 行動の積極性  
5. 自己抑制(忍耐力) 6. 学習意欲・習慣 7. 健康管理 8. こづかいの使い方 9. その他  
10. 特にない

父母共に「最も心を配っている事」で1番多いのは、「あいさつや言葉づかいなどの基本的な生活習慣」で、父親は25%、母親は27%である。「次に心を配っている事」では、父親が「特にない」22%、母親は「学習意欲・習慣」20%になっている。学年別では、「あいさつ…」がどの学年でも1位になっているものの、その割合は1年生の親が30%で最も多く、2、3年生の親は25%になっている。その分、「学習意欲」と「自主性」が学年が上がるほど、やや高くなる傾向にある

## まとめ

親の意識と養育態度については、前回からさらに4問追加されて11問の項目からみている。生きがいの対象として「子ども」を選ぶ親が最も多いのは、これまでの調査結果と一致しているが、その割合は年々減っており、価値観の多様化がここにも影響していると言えるだろう。「どんな子どもになってほしいか」の1位は「思いやりのある子ども」で、2位に「健康で丈夫な子ども」が挙げられている。これらの期待される姿は、子どもの社会経験や友人関係の深まり、さらに規則正しい生活スタイルや適度な運動を心がけていく延長線上にあると思われる。しかし勉学に重点を置くあまりに、知らず知らずのうちに人間関係や健康管理がおろそかにされてしまうこともある。家庭の第1の役割が「休息・やすらぎの場」であるという認識と共に、子どもの日々の生活のあり方を見直してみることもときには必要であろう。約4割の親がしつけに自信を持ってないでいる。父親は「仕事が忙しくてじっくり関わる余裕がないこと」を、また母親は「気分や感情に左右され、しつけの態度にムラがある」ということを選んでいく割合が最も高い。ついで、2番目に「成長と共に子どもの気持ちがかみにくくなっている」が多いというのは父母間で一致している。このような子育ての難しさやその対応について、父親と母親がお互いに補い合い、支え合いながら、じっくり取り組んでいくことが望まれる。

(文責 吉川)

## 第4章 まとめと今後の課題

この章では、まず約20年間の本県の中学生とその親の家庭教育に関連する状況の変化を(1)中学生と(2)親にわけて概観し、次に因子分析からの総合的分析を、最後に課題と展望を提示する。

### 1 20年間の変化

#### (1) 中学生

##### ①学校生活

勉強する理由として「よい成績をとりたから」「学校でみんなについていけないと困るから」といった、勉強する目的として直接的に勉強に関わる回答は減少してきている。その背景には勉強そのものへの無関心の割合が増加しているのではと推測される。また、「人や社会の役に立ちたいから」という回答は相変わらず3%と低い。クラスで決められた仕事に対しては「する」割合が一定増加しており、さぼる割合は減少している。指示されればする傾向は強まっているともいえる。

##### ②親子交流

「将来のことについて家族と話す」割合は減少していると同時に、父親を尊敬する存在、母親を理解ある存在として子どもが捉える割合が減少し続けている。また、平成5年から父親の「とても甘い」が減少してきている。

##### ③家庭生活

家の手伝いに関しては変化がない。学習塾や家庭教師をどちらも「利用していない」が、漸増傾向である。テレビを見ている子どもはゲームもする傾向にあったが、テレビでは「平日4時間以上視聴」が増大すると共に、さらにテレビゲームが加わってきており、メディア漬けの子どもの増加が心配される。

##### ④個人生活

楽しいと感じる場所として「学校」は68%から34%に割合が減少している。楽しいということだけが重要だとはいえないが、今回の結果を分析すると不登校傾向とも重なる部分があり、今後は充実した楽しさ、あるいは中学生本人が意識する心身の居場所としての学校の存在が求められよう。休日の過ごし方は部活動が土曜日に入ってきたためか、「スポーツ」が増加し、「家でゴロゴロ」が減っている。新しく回答項目として入れた「友達と買い物」も約2割いるが、「趣味」「ボランティア等」は相変わらず低率である。異性への関心は20年間一貫して漸減傾向である、精神的な成熟の遅れというよりも、異性への関心自体が低くなっているのではと推測される。

##### ⑤自己評価

「自分で判断し行動している」「進んで物事に取り組もうとしている」と意識している割合は漸増傾向であるが、「がまんすべき時はがまんしようとしている」割合は変化がみられない。主体性の伸長は総合的な学習の時間などの成果がみられているとも思われるが、自己統制力が育ってきているとはいえない。自己統制力の育成は家庭教育における今後の課題であろう。悩んでいることや困っていることでは相変わらず「勉強・成績」の割合が高く、勉強に対する関心が薄れてきているのではという状況の中での、こ

の悩みや困難点の指摘は、今後の進路教育や職業教育のあり方への検討が求められる。「友達・クラス」で悩んでいる割合も微増している。相談相手としては平成5年から比べると平成10年から今回にかけて「母親」が増え、「友達」が減ってきている。不登校意識も平成5年から比べると平成10年から今回にかけて増加してきているが、前回からの差はあまりなく、完全学校週5日制や総合的な学習の時間の導入等と並行して、中学生の意識としては不登校意識の低下が止まってきているとも考えられる。

## (2) 親

### ①家庭生活

中学生を朝起こしている割合は相変わらず高い。校則に違反した服装や髪型をしている場合、「きびしくしかる」から「おだやかに注意する」に推移してきている。親に対する言葉づかいが乱暴であったときは「きびしくしかる」割合が増加している。成績に影響するものが何かという質問への回答の割合では相変わらず本人の努力という回答が断然高いが、その一方で先生の教え方や人格という回答も漸増している。

### ②親子交流

子どもと将来や人生について話す父親の割合は激減してきており、母親も漸減である。学校生活について話したり、子どもに家庭の事で意見を聞く親の割合は変化がそれほどない。

### ③子どもの評価

子どもに対する親の評価では、自主性、積極性共に「ある」と答える割合が増加している。忍耐力に関しても「ある」と評価している割合が増加しているが、自主性や積極性ほどには増加していない。これは子どもと同様の傾向であり、親子の関連性もみられる。接し方で他の子どもとの比較で注意すると回答した親の割合は変わらないが、男女で区別して注意する割合は着実に減少してきている。子どもについて悩んでいる項目の1位は相変わらず「成績・進路」である。

### ④養育態度

生きがいの対象では、「子ども」と回答する割合は漸減している。父親では生きがいの対象としての「仕事」が激減しており、母親も「仕事」は微減である。しつけへの自信では昨年福岡県教委が実施した小学生の親に対する調査結果と同様に、親の自信が今回割合として少し上昇に転換してきている。しつけについての甘さでは、父親は「大変甘い」が微増であるが、「厳しい方である」も今回微増しており、二極化がより明確化してきているといえよう。子どもの世話に関しては母親だけではなく父親も世話をしていると思う割合が全体として増加してきている。その一方でしつけに対する学習経験の割合は減少傾向にある。しつけで心を配っていることで割合が増加しているのは父親・母親共に「友達との関係」である。

## 2 因子分析からの総合的分析

ここでは、質問項目間の関連の強さを図る因子分析の手法を用いて、まとめと今後の課題を探る。表は回答者の回答パターンを分析した結果、共通の因子を構成している質問の固まりを示している。因子の順番と負荷量は因子の強さの程度を示しており、質問項目の右の数字は因子に与えるそれぞれの影響の度合いを示している。子どもと親に分けてみていく。

## (1) 中学生

図1 因子分析 (子ども)

	因 子	主体性	充実性	挨拶	学校生活
問 25	自分で判断し、行動しようとしている	.790			
問 26	自分から進んで物事に取り組もうとしている	.740			
問 15	リンゴの皮をナイフで剥くことができる	.419			
問 31	最近、「明日からもう学校に行きたくない」と思うことはない		.743		
問 28	最近、なんとなくイライラすることがない		.728		
問 32	家庭生活に満足している		.544		
問 3	お互いに理解し、心を打ち明けて話せる「親友」がいる		.431		
問 21	家族の人に日常の挨拶をする			.734	
問 20	近所の人に会ったら挨拶する			.641	
問 14	いつも家で決まった仕事をしている			.466	
問 10	朝食を毎日食べている			.402	
問 24	異性に関心がない				.552
問 4	掃除当番やクラスで決められた仕事を真面目に責任を持ってする				.506
問 2	学校の勉強が理解できている				.442
問 27	我慢すべき時は我慢しようとしている				.413
	回転後の負荷量平方和	12.480	11.565	11.468	8.750

※因子抽出法：主成分分析 回転法：Kaiser の正規化を伴わないバリマックス法  
7回の反復で回転が収束

15の質問項目における因子分析結果から4つの因子が析出された。4つの因子について全体的な中学生実態の背景にある特徴として順にみていく。

## ①主体性の発揮が根本

第1の因子は、「自分で判断し、行動しようとしている」、「自分から進んで物事に取り組もうとしている」、「リンゴの皮をナイフでむくことができる」という主体性に関わる因子である。子どもの生活や意識の根底を支える最大のもは自分から積極的に関わっていきける主体性であり、それを技能が支えている。意欲と技能を合わせた形で学習していくことが重要である。

## ②安心できる家庭と親友

第2の因子は、「最近、『明日からもう学校に行きたくない』と思うことはない」、「最近、なんとなくイライラすることがない」、「家庭生活に満足している」、「お互いに理解し、心を打ち明けて話せる『親友』がいる」という生活全般の意識の充実性に関わる因子である。学校に行きたいと思ったり、イライラしないということと、家庭生活への満足と親友の存在が関連しており、遠回りのようでも、家庭や人間関係を充実させていくことが求められる。

③基本的な生活習慣づくり

第3の因子は、「家族の人に日常のあいさつをする」、「近所の人に会ったらあいさつする」、「いつも家で決まった仕事をしている」、「朝食を毎日食べている」というあいさつに関わる因子である。安定した基本的な生活習慣づくりとして、あいさつや仕事、食生活の充実が大切であるが、「あいさつ」という一見コミュニケーション手段とも言える事項に対して、家庭での役割活動や規則正しい食習慣が関連していることには留意が必要である。

④異性への無関心と学校生活

第4の因子は、「異性に関心がない」、「掃除当番やクラスで決められた仕事を真面目に責任を持ってする」、「学校の勉強が理解できている」、「我慢すべき時は我慢しようとしている」という学校生活に関わる因子である。異性への無関心や我慢と学校生活は関連しており、子どもにとって学校での仕事や勉強などには、誠実さや協調性が求められているようである。学校生活が家庭生活と異なり、子ども自身が自分に忍耐を強いるものだけであるとしたら、調査結果からも価値観の多様化してきている家庭教育と学校教育のギャップは、今後の問題を引き起こす可能性がある。家庭において、改めて集団や社会における基本ルールや責任の理解を図ったり、学校において選択的活動を取り入れ、子どもの自信を深めるような振り返りを大切にし、長所を見出しながら一人一人の子どもの可能性を引き出していくことが求められよう。

(2) 親

図2 因子分析（親）

因子	コミュニケーション	子どもへの肯定感	比較	しつけ	子どもとの関わり
問11 子どもと、子どもの学校生活についてよく話す	.729				
問10 子どもと、子どもの将来や人生のことについてよく話す	.724				
問12 子どもに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがよくある	.720				
問13 子どもはあなた（保護者）に対して自分の考えや疑問をはっきり述べる	.644				
問14 子どもがあなた（保護者）の価値観と異なる考えや行動を示す場合、子どもの考えや言い分を聞く	.630				
問15 子どもをよく褒める	.590				
問28 子どもの世話をしている方だと思う	.486				
問29 しつけについて本を読んだり、テレビ番組を見たり、講演会に行ったりすることがある	.463				
問22 他の家族との交流がある	.373				
問16 子どもに自主性があると思う		765			

問 17	子どもに積極性があると思う		761			
問 18	子どもに忍耐力があると思う		653			
問 25	子どものしつけに自信がある		.482			
問 19	子どもを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、注意したり叱ったりすることがよくある			.768		
問 20	子どもを「男の子だから」「女の子だから」と言って注意することがある			.751		
問 21	子どもに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがある			.739		
問 27	子どものしつけについて厳しい方だと思う				.648	
問 3	家庭における挨拶を必ずさせている				.624	
問 2	毎朝、朝食を食べさせている				.554	
問 6	子どもが宿題や手伝いを忘れていたら必ず注意する				.492	
問 4	土曜日、仕事をしていない					.784
問 1	朝、子どもを起こしている					.555
回転後の負荷量平方和		17.970	11.405	9.511	6.683	6.315

※因子抽出法：主成分分析 回転法：Kaiser の正規化を伴わないバリマックス法  
7回の反復で回転が収束

22の質問項目における因子分析結果から5つの因子が析出された。5つの因子について親の意識の全体像を探るものとして順にみていく。

#### ①子どもとの充実した交流

第1の因子は、「子どもと、子どもの学校生活についてよく話す」、「子どもと、子どもの将来や人生のことについてよく話す」、「子どもに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがよくある」、「子どもはあなた（保護者）に対して自分の考えや疑問をはっきり述べる」、「子どもがあなた（保護者）の価値観と異なる考えや行動を示す場合、子どもの考えや言い分を聞く」、「子どもをよくほめる」、「子どもの世話をしている方だと思う」、「しつけについて本を読んだり、テレビ番組を見たり、講演会に行ったりすることがある」、「他の家族との交流がある」という主としてコミュニケーションに関わる因子である。子どもとのコミュニケーションが最も重要であることが結果として示されているが、コミュニケーションをとることと関連があるのは、子どもの話をよく聞くこと、ほめること、親が学ぶこと、他の家族と交流することである、という具体的な事項が提示されている。

#### ②子どもの肯定

第2の因子は、「子どもに自主性があると思う」、「子どもに積極性があると思う」、「子どもに忍耐力があると思う」、「子どものしつけに自信がある」という子どもへの肯定感に関わる因子である。開き直りでもいい、子どもを肯定することによって親の自信

が生まれてくる。それぞれの親らしさを出しながら、まずは家庭においてありのままの子どもを共感的に受け入れるという視点から展開していくことが必要なようである。

#### ③他との比較をやめてストレス減少

第3の因子は、「子どもを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、注意したり叱ったりすることがよくある」、「子どもを『男の子だから』『女の子だから』と言って注意することがある」、「子どもに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがある」という比較に関わる因子である。子どもの虐待傾向と他との比較や男女の区別は関連がある。まず、一人の人間として子どもをしっかりととらえ、独自の存在として良いところを見つけていくことが大切である。そのためには親自身が固定的な役割分業意識などを捨て、子育てにおいて何が大切かを自分の問題、社会の問題、そして共生の問題として考えていく必要がある。

#### ④しつけの徹底

第4の因子は、「子どものしつけについて厳しい方だと思う」、「家庭における挨拶を必ずさせている」、「毎朝、朝食を食べさせている」、「子どもが宿題や手伝いを忘れていたら必ず注意する」というしつけに関わる因子である。親がしつけを徹底するためには、毎日朝食を食べさせるなど、家庭全体での基本的な生活習慣の安定が必要である。子どものメディア漬けの状況に対して、親自身が商業消費文化に左右されない、心身の豊かさを基本とした生活の質の向上を求めていく必要がある。

#### ⑤親のゆとりを子どもの自律へ

第5の因子は、「土曜日、仕事をしていない」、「朝、子どもを起こしている」という子どもとの関わりに関わる因子である。親が土曜日休みをとれる場合、自律起床ではなく、つつい子ども世話をやいてしまう傾向があるようである。子どもが失敗をおそれず、苦しくても自己決定しながら、何かをひとりであるいは協働で成し遂げることができる場を設定したり、親自身が子どもと共通の体験を家族を開いて行うなど、子どもの主体性を育めるような親の関わりが今後は求められよう。

### 3 課題と展望

前回(平成10年)の報告書では「指導偏重型教育」が続けられていると結論づけられた。しかし、全体としては、その当時からおそらく親の家庭教育はかなり多様になってきており、今回さらにその多様性は拡充されたとみてよいのであろう。全体を通じての課題と展望を提示する。

#### (1)緊張状態の中で適当に活動しようとしている中学生

多くの中学生は勉強に対する全体的な必要性や意欲が感じられにくい生活の中で、受験など、その場に対応する形での悩みや困難に直面している。体験活動の導入などもあり、技能を身につけたりしながら主体性を育んだり、家庭や友人に比較的恵まれて不満ない学校生活を送っている中学生がいる。また、規則正しい生活の中で、家で決まった仕事をしたり、いろいろな人とのあいさつをきちんとしたりと家庭や学校の生活に適応しているようにも見える。学校でも勉強が理解できるように努力し、クラスでの役割もそれなりにこなしながら、周囲と協調しながら生活していく中で、人間関係に悩みながらも異性への関

心を薄れさせている。中学生の生活は、一見、問題が無いように見える。しかし、勉強が理解できない厳しい子どもたちは2割近くおり、それ以外の子どもたちにも生活全般に夢や希望がどこまで取り込まれているのだろうか。対人的・社会的に良い子を演じる中で、逆に人間関係に困難を感じ、中学生たちは行き場のないストレスをためてきているというのが現状ではないだろうか。

### **(2)閉じられた家庭の中で子どもとの交流を求める大半の親**

全体的には昨年度調査結果の小学生の親と同様に、大半の親が子どもと関わろうとしており、親は子どもをほめたり、世話をするようになってきている。しかし、人生や将来については語らない。しつかに自信がある親は子どもの自主性、積極性、忍耐力を評価する。子どもと共に主体性を伸ばしているように見える。しかし、本当の自主性や積極性や忍耐力なのか。子どもは本当に厳しい生活に耐えられるのか。自主性は与えられた自主性ではないのか。地域や社会に開かれた家族協働の多様な体験学習が求められよう。

### **(3)家庭教育のあり方の転換の方向は自己決定力の育成**

中学生は家庭の中で本当に自己決定力を育成されているのだろうか。自己決定には当然のように責任や義務が伴うが、はたして家庭で責任をとらされているのか。そして、家庭における義務ははたされているのだろうか。家庭の中に本当の自由はあるのだろうか。親自身は家庭の中で自由なのだろうか。例えば、親は自主性があるというが、実際にはテレビは見っぱなしの子どもが多いという実状は、中学生段階における心身のよりよい発達を考えた場合、家庭における主体的な仕事や学習、趣味・文化活動などが無意識的な教育作用をもつものとして存在しているのだろうか。社会や将来について語り合い、そして体験しあい、気づき、自己発見し、共感・共有することによって親子の関係は深まっていくのではないだろうか。理屈よりも実際に深く関わりあう場を増やしたり、労力をかけることでもって自己決定力を育成するという基本的な方向性のもとで家庭教育が行われることが不可欠であろう。

(文責 井上)

## II 参 考 资 料

## 1 平成14年度 中学生の意識・行動と親の養育態度・意識の実態に関する調査【実施要項】

### (1) 調査の趣旨

近年の家庭教育のあり方をみると、親子の会話の減少や過保護・過干渉の親の増加、また、子どもの規範意識の低下などが指摘されている。

このような中、福岡県では昭和55年度から、小学生・中学生・乳幼児をもつ保護者を対象に「父親・母親の養育態度・意識の実態調査」を実施してきた。

本年度は、「中学生の生活及び親の養育態度に関する調査研究委員会」を設置し、中学生の生活意識・行動と親の養育態度・意識の実態についての調査を実施することで、以下の点を明らかにする。

第一には、中学生は自らの生活をどのように行い、また、どのように意識しているか実態を明らかにする。

第二には、中学生をもつ保護者の養育態度・意識の実態を明らかにする。

第三には、子どもの生活の実態と保護者によるしつけとの関連性を探り、望ましい家庭教育のあり方を具体的に解明していく。

さらには、昭和57年度、平成5年度、平成10年度に同趣旨で実施した中学生及びその保護者の調査と比較し、その経年変化をたどることにより、時代と共に変化する保護者の養育態度・意識を明らかにし、今後の乳幼児・小中学生期の一貫した家庭教育の支援のあり方を探るための基礎資料とする。

### (2) 調査の実施者

福岡県立社会教育総合センター(平成14年度「中学生の生活及び親の養育態度に関する調査研究委員会」)

### (3) 調査の対象及び人数

県内の中学生約2,000名とその父親・母親約4,000名

### (4) 調査の実施期間

平成14年6月～7月

### (5) 調査の方法

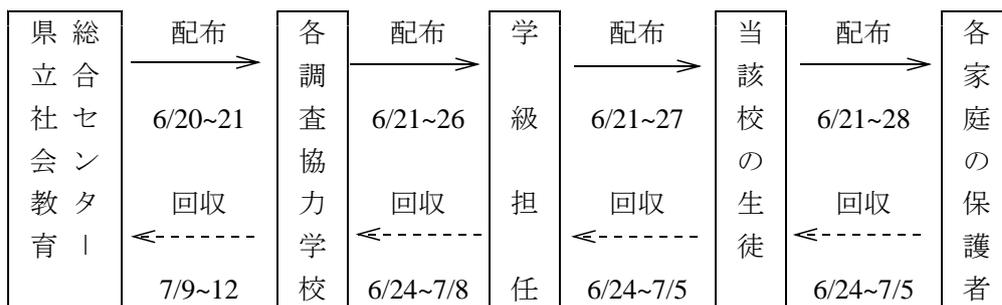
中学生用、男性の保護者用、女性の保護者用の質問形式の調査票により行う。ただし、男性と女性の保護者の質問の構成と内容は同一のものとする。

#### ① 調査票の配付

調査票は、県立社会教育総合センターが直接各調査協力中学校を訪問し、学級担任をとおして生徒及び保護者に配付する。

#### ② 調査票の回収

調査票は、各家庭の保護者から学級担任をとおして集約し、各中学校ごとに県立社会教育総合センターが回収する。



**(6) 調査票**

調査票は、生徒用をクリーム色、男性の保護者用を緑色、女性の保護者用を桃色とする。

**(7) 調査結果の処理**

調査結果を家庭教育指導資料としてまとめ、関係機関・団体等に配付する。

**(8) 調査協力校**

教育事務所 (政令市)	調査協力校	生徒数 (学級数)
福岡市	福岡市立那珂中学校	657名 (19学級)
北九州教育事務所	直方市立直方第三中学校	407名 (11学級)
福岡教育事務所	宗像市立日の里中学校	430名 (12学級)
南筑後教育事務所	八女郡星野村立星野中学校	156名 (6学級)
	三潞郡三潞町立三潞中学校	553名 (16学級)
筑豊教育事務所	嘉穂郡穂波町立穂波東中学校	319名 (10学級)
計 生徒数		2,522名 (74学級)
(保護者数		5,044名)

## 2 「中学生の生活及び親の養育態度に関する調査研究委員会」の設置について

### (1) 設置目的

今後の乳幼児・小中学生期の一貫した家庭教育の在り方を探るために、「中学生の生活及び親の養育態度に関する調査研究委員会」（以下「調査研究委員会」という）を設置する。

### (2) 調査研究委員会の構成

学識経験者2名、本庁生涯学習課1名、本庁義務教育課1名の4名で構成する。名簿は以下に示す。

氏名	所属・職名	備考
井上 豊久	福岡教育大学 教授	学識経験者
吉川 昌子	中村学園大学短期大学部 講師	学識経験者
二又 稔和	県教育庁教育振興部義務教育課 指導主事	学校教育
樋田 京子	県教育庁教育企画部生涯学習課 主幹社会教育主事	社会教育

### (3) 調査研究委員会の取り組み

- ①調査票の作成。
- ②調査票の分析。
- ③調査結果報告書の作成。

### (4) 調査研究委員会の任期

平成14年5月から平成15年3月までとする。

### (5) 調査研究委員会の活動予定

時期	活動内容
5月	アンケート内容検討
6月上旬	アンケート印刷
6月下旬	アンケート配布及び各学校にてアンケート調査の実施
7月上旬	アンケート回収
7月下旬～	アンケート処理
11月～	データ分析及び原稿執筆
3月	報告書完成

### (6) その他

この調査研究に関する庶務は、県立社会教育総合センターにおいて処理する。

生徒用

アンケートは、返信用封筒に入れて提出してください。

## 生活に関するアンケート

### ◎記入の仕方についてのお願い

- 各質問に対する答えは、回答項目のうちもっともあてはまるものの番号（1 2 3・・・）を○でかこんでください。また、（ ）の中には番号や必要事項を記入してください。
- 次の欄に答えてください。

あなたの学年	あなたの性別
1. 1年	1. 男
2. 2年	2. 女
3. 3年	

名前を記入する必要はありません

問 1. あなたが、ふだん勉強するのはどうしてですか。もっともあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- よい成績をとりたいから
- 希望する学校や会社に入りたいから
- 人や社会の役に立ちたいから
- いろいろなことを知りたいから
- 学校でみんなについて行けないと困るから
- 学校に行っているから
- 親や周りの人が勉強しろというから
- なんとなく
- その他（ ）

問 2. あなたは学校の勉強がどの程度理解できていますか。

- だいたい理解できている
- まあまあ理解できている
- あまり理解できていない
- 理解できていない

問 3. あなたは、おたがいに理解し、心をうちあけて話せる「親友」がいますか。

- いつもいる
- 前はいなかったが今はいる
- 前はいたが今はいない
- ずっといない

問 4. あなたは、掃除当番やクラスで決められた仕事をどのようにしていますか。

- まじめに責任をもってする
- しかたないからする
- ときどき人にまかせてさぼる
- まったくしない

問 5. あなたは、家族の人と将来や人生のことについて話すことがありますか（どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで）。

お父さんと（ ） お母さんと（ ） その他の家族の誰かと（ ）

- よくある
- ときどきある
- あまりない
- まったくない

問 6. あなたは、次の家族の人と学校生活について話すことがありますか。

お父さんと ( ) お母さんと ( ) その他の家族の誰かと ( )

1. よくある            2. ときどきある            3. あまりない            4. まったくない

問 7. あなたが家族の人と違う意見や考えを持っているときに、次の人はあなたの言い分をきちんと聞いてくれますか。

お父さんは ( ) お母さんは ( ) その他の家族は ( )

1. よく聞いてくれる            2. ときどき聞いてくれる  
3. ほとんど聞いてもらえない            4. まったく聞いてもらえない

問 8. あなたにとって、家族の人はどのような存在ですか。それぞれ1つずつえらんでください。

お父さんは ( ) お母さんは ( ) その他の家族の誰かは ( )

1. 尊敬ができたり、たよりになったりする人            2. 理解のある人  
3. 友達のような親しみのもてる人            4. いろいろ教え指導してくれる人  
5. 自分勝手に無責任な人            6. 口うるさい人  
7. 生活費をかせいでくれる人            8. 放任で甘い人  
9. その他 ( )

問 9. あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか。

お父さんは ( ) お母さんは ( ) その他の家族の誰かは ( )

1. たいへん甘い            2. まあまあ甘い            3. あまり甘くない            4. きびしい

問 10. あなたは、朝食を食べていますか。

1. 毎日食べている            2. ほとんど毎日食べている  
3. ときどき食べている            4. 食べていない

問 11. あなたは、ふだん夕食は誰と食べますか。

1. 家族全員と            2. 家族の誰かと            3. 家族以外の誰かと  
4. 一人で            5. 夕食を食べていない            6. その他 ( )

問 12. あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか。

1. 一か月まとめて            2. 毎日定額            3. 必要時に            4. もらっていない  
5. その他 ( )

問 13. あなたは、家の手伝いをしていますか。

1. 言われなくてもする            2. 言われたらする            3. 言われてもしないことがある  
4. 言われてもしない            5. 言われないのでしない

問 14. あなたは家で決まった手伝いをしていますか。

1. いつもしている            2. ときどきしている  
3. あまりしていない            4. まったくしていない

問 15. あなたは、リンゴの皮をナイフ(包丁)でむくことができますか。

1. できる            2. まあまあできる            3. あまりできない            4. まったくできない

問 16. あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師についたりしていますか(おけいごとはのぞく)。

1. 学習塾に通っている            2. 家庭教師についている            3. 両方ともしている  
4. どちらともしていない

問 17. あなたは塾や家庭教師以外で平日どれくらい家庭で勉強していますか。

1. 30 分程度
2. 1 時間程度
3. 1 時間 30 分程度
4. 2 時間程度
5. 2 時間 30 分程度
6. 3 時間程度
7. 3 時間 30 分程度
8. 4 時間以上
9. まったくしていない

問 18. あなたは、平均してテレビを 1 日どのくらいみていますか（日曜日や休日はのぞく）。

1. 30 分程度
2. 1 時間程度
3. 1 時間 30 分程度
4. 2 時間程度
5. 2 時間 30 分程度
6. 3 時間程度
7. 3 時間 30 分程度
8. 4 時間以上
9. まったくみていない

問 19. あなたは、平日にテレビゲームを 1 日平均どのくらいしていますか。

1. 30 分程度
2. 1 時間程度
3. 1 時間 30 分程度
4. 2 時間程度
5. 2 時間 30 分程度
6. 3 時間程度
7. 3 時間 30 分程度
8. 4 時間以上
9. まったくしていない

問 20. あなたは、近所の人に会ったらあいさつしていますか。

1. いつもする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. まったくしない

問 21. あなたは、家族の人に「おはよう」「おやすみ」「行って来ます」「ただいま」などの日常のあいさつをしていますか。

1. いつもする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. まったくしない

問 22. あなたは、どこにいる時に楽しいと感じることが多いですか。

1. 学校
2. 家庭
3. 友達の家
4. その他（ ）

問 23. あなたは、休日をどのように過ごしていますか。多いものから3つえらんでください。

1 位（ ）      2 位（ ）      3 位（ ）

1. 家でなんとなくゴロゴロしている
2. 音楽やラジオを聞く
3. 家でテレビ見たりゲームをしたりする
4. 読書（マンガや雑誌を除く）
5. マンガや雑誌を読む
6. 家で勉強をしたり、学習塾に行ったりする
7. 部活動やスポーツクラブに参加する
8. 外で体を動かして遊ぶ
9. 趣味などをする
10. ボランティア活動や奉仕活動に参加する
11. 友達と外出（遊びや買い物など）
12. 家族との団らんや外出（買い物・レジャーなど）
13. 公民館活動など地域の活動に参加する
14. その他（ ）

問 24. あなたは異性に関心がありますか

1. とてもある
2. まあまあある
3. あまりない
4. まったくない

問 25. あなたは、自分で判断し行動しようとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問 26. あなたは自分から進んで物事に取組もうとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問 27. あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

(裏面もあります)

問 28. あなたは、最近、何となくイライラすることがありますか。

1. よくある      2. ときどきある      3. あまりない      4. まったくない

問 29. あなたが、今もっとも悩んでいること、困っていることを次の順で選んでください。なお、悩んだり、困ったりしていることがない場合は、「特にない」に○をつけてください。

もっとも悩んだり困ったりしていること ( )

次に悩んだり困ったりしていること ( )

1. 健康      2. 体型      3. 性格      4. 進路      5. 勉強・成績      6. 部活動  
7. 友達・クラス      8. 恋愛・異性      9. その他 ( )      10. 特にない

問 30. あなたは、困っていることや悩みを誰に相談しますか。次の順で選んでください。なお、相談する人がいない場合は、「相談する人がいない」に○をつけてください。

もっとも相談する人は ( )      次に相談する人は ( )

1. 父      2. 母      3. 祖父・祖母      4. 兄弟姉妹      5. 友だち      6. 先生  
7. 誰にも相談しない      8. 相談する人がいない      9. その他 ( )

問 31. あなたは、最近「明日からもう学校に行きたくない」と思うことがありますか。

1. よくある      2. ときどきある      3. あまりない      4. まったくない

問 32. あなたは、家庭生活に満足していますか。

1. とても満足している      2. まあまあ満足している  
3. あまり満足していない      4. まったく満足していない

問 33. 上の問 32 で○をつけた項目について、どうしてそう思うのか具体的な理由を自由に書いてください。

◇ご協力ありがとうございました。

男性の保護者用

お子さんが持ち帰られたアンケートすべて（女性用含む）返信用角封筒に入れて提出してください。

## 中学生の家庭教育に関するアンケート

名前を記入する必要はありません

### ◎記入の仕方についてのお願い

1. この調査用紙を持って帰られたお子さんについてお答えください。
2. このアンケートには、男性の保護者がお答えください。
3. 各質問に対する答えは、回答項目のうちもっともあてはまるものの番号（123・・・）を○でかこんでください。また、（ ）の中には番号や必要事項を記入してください。
4. 次の欄にお答えください

お子さんの学年	お子さんの性別	アンケートを記入されるのは	
1. 1年	1. 男	1. 父親	4. 兄弟
2. 2年	2. 女	2. 祖父	5. その他
3. 3年		3. 叔父	( )

問 1. あなたは朝、お子さんを起こしていますか。

1. 毎朝起こしている
2. ときどき起こしている
3. あまり起こしていない
4. 起こしていない

問 2. あなたの家では、お子さんに朝食を食べさせていますか。

1. 毎日食べさせている
2. ほとんど毎日食べさせている
3. ときどき食べさせている
4. 食べさせていない

問 3. あなたは、お子さんに「行って来ます」「おはよう」「おやすみ」「いただきます」など、家庭におけるあいさつをさせていますか。

1. 必ずさせている
2. ときどきさせている
3. あまりさせていない
4. まったくさせていない

問 4. あなたは、土曜日仕事をしていますか。（家事従事を除く）

1. 毎週している
2. 隔週でしている
3. 月に1回程度している
4. していない

問 5. あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪型をしている場合、どのように対応していますか。

1. きびしくしかる
2. おだやかに注意する
3. 特に何も言わない
4. 母親（妻）に任せる
5. その他の家族に任せる
6. なにもしない

問 6. あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか。

1. 必ずする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. まったくしない

問 7. あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのような対応をしていますか。

1. きびしくしかる
2. おだやかに注意する
3. 特に何も言わず聞き流す
4. 母親（妻）に任せる
5. その他の家族に任せる
6. その他（ ）

問 8. あなたは、お子さんのテレビやゲームの内容や時間について、何かルールを決めていますか。

1. きちんとルールを決めている
2. だいたい決めている
3. ほとんど決めていない
4. まったく決めてない

問 9. あなたは、お子さんの成績にもっとも影響するものは次のどれだと思いますか。 1つ選んでください。

1. 先生の教え方や人柄
2. クラスの雰囲気
3. お子さんの友達
4. 本人の能力
5. 本人の努力
6. 家庭の環境
7. 地域の環境
8. 塾や家庭教師
9. その他（ ）

問 10. あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生の事について話すことがありますか（どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで）

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 11. あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 12. あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 13. あなたのお子さん（アンケートを持ち帰った子）は、あなたに対して自分の考えや疑問をはっきり述べますか。

1. よく述べる
2. ときどき述べる
3. ほとんど述べない
4. まったく述べない

問 14. お子さんがあなたの価値観と異なる考えや行動を示す場合、どの程度お子さんの考えや言い分を聞きますか。

1. よく聞く
2. ときどき聞く
3. ほとんど聞かない
4. まったく聞かない

問 15. あなたは、お子さんをほめてあげる事がありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 16. あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか。

1. 大いにあると思う
2. まあまああると思う
3. あまりないと思う
4. まったくないと思う

問 17. あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取組む）があると思いますか。

1. 大いにあると思う
2. まあまああると思う
3. あまりないと思う
4. まったくないと思う

問 18. あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか。

1. 大いにあると思う
2. まあまああると思う
3. あまりないと思う
4. まったくないと思う

問 19. あなたは、お子さんを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 20. あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 21. あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 22. あなたの家族は、他の家族との交流がありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 23. あなたは、現在お子さんについて困っている事、悩んでいることがありますか。次の順で2つ記入してください。なお、困っている事や悩みのない人は、最後の「特にない」に○をつけてください。

最も困っている事や悩んでいる事 ( ) 次に悩んでいる事や困っている事 ( )

1. 成績・進学のこと 2. 体の成長のこと 3. 家族への反抗・暴言など  
4. 学校に行きたがらない 5. 友達づきあい  
6. 服装・髪型・言葉づかいなどがみだれている  
7. 生活がだらしなくやる気がない  
8. その他 ( ) 9. 特にない

問 24. あなたの生きがいの対象は何ですか。1つ選んでください。

1. 妻 2. 子ども 3. 自分の趣味 4. 家事 5. 仕事  
6. その他 ( ) 7. 特にない

問 25. あなたは、お子さんのしつけに自信がありますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う  
4. まったくないと思う

問 26. 上記 25 で「3. あまりない 4. まったくない」と答えた方のみご回答ください。しつけがうまくいかないと感じるのはどのような点ですか。次のうち最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 気分や感情に左右され、しつけの態度にムラがある。  
2. 仕事が忙しく、しつけにじっくり関わる余裕がない。  
3. 価値観の多様化により、しつけの基準がわかりにくい。  
4. 成長とともに、子どもの気持ちがつかみにくくなっている。  
5. その他 ( )

問 27. あなたは、お子さんのしつけについて甘い方だと思いますか。

1. 大変甘いと思う 2. まあまあ甘い方だと思う  
3. あまり甘くない方だと思う 4. きびしいほうだと思う

問 28. あなたは、お子さんの世話をしているほうだと思いますか。

1. 大変よくしているほうだと思う 2. まあまあしているほうだと思う  
3. あまりしていないほうだと思う 4. ほとんどしていない

問 29. あなたは、しつけについて本を読んだり、テレビ番組をみたり講演会にいたりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 30. あなたは子育てについての悩みを誰に相談することが多いですか。順に2つ選んでください。

最も多い人 ( ) 2番目に多い人 ( )

1. 配偶者(妻) 2. 配偶者以外の家族や親族 3. 友人や職場の同僚  
4. 学校の教員 5. 行政や民間の教育相談(電話相談)を利用  
6. 相談せずに自分で考える 7. その他 ( )

(裏面もあります)

問 31. あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことについて心を配っていますか。次の順で 2つ選んでください。

なお、しつけについて取り立てて心を配っていない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も心を配っている事 ( ) 次に心を配っている事 ( )

1. 友達との関係
2. あいさつや言葉づかいなどの基本的生活習慣
3. 自主性
4. 行動の積極性
5. 自己抑制 (忍耐力)
6. 学習意欲・習慣
7. 健康管理
8. こづかいの使い方
9. その他 ( )
10. 特にない

問 32. あなたは、お子さんにどんな子どもになってほしいと思っていますか。あてはまるものの番号に 3つ以内で○をつけてください。

1. 友達と仲良くできる子ども
2. あいさつや正しい言葉づかいができる子ども
3. 思いやりのある子ども
4. 自己主張や積極的な行動ができる子ども
5. 耐えることができる子ども
6. 勉強ができる子ども
7. 健康で丈夫な子ども
8. 人に好かれる子ども
9. 素直な子ども
10. その他 ( )

問 33. あなたが、子育てをするときの家庭の役割として重要と思われるものを、順に 3つ選んでください。

1位 ( ) 2位 ( ) 3位 ( )

1. 休息・やすらぎの場
2. 家族の絆を強める場
3. 生活習慣を身に付けさせる場
4. 学習習慣を身に付けさせる場
5. 健康管理をする場
6. モラルを教える場
7. 将来の自立に向けた見通しを持たせる場
8. その他 ( )

問 34. しつけや子育て及び家庭教育について、悩みやご意見等ありましたら自由にお書きください。

◇ご協力ありがとうございました。

## 4 データ集

<表の見方>

- 各表は中学生の男女や父親・母親それぞれが、どの選択肢をどれくらいの割合で選んだかを%で示している。「NA」は無回答を表す。
- 有意差の中に記されている「\*」（アスタリスク）は有意水準を表し、「\*」の数が多いほど、それぞれ有意であることの間違いである確率が低いことを示す。（「\*\*\*」＝0.1%未満、「\*\*」＝1%未満、「\*」＝5%未満、「+」＝10%未満）
- 集計結果の数値については、統計の性質上、設問毎に合計しても100%ちょうどにはならない。

生徒の男女別・学年別の集計表

質問項目	選択肢	男女の有意差	男子				学年の有意差	女子				学年の有意差	全体				
			学年の有意差	1年	2年	3年		全体	学年の有意差	1年	2年		3年	全体	学年の有意差	1年	2年
1	1	***	***	21.9	21.4	17.6	20.8	***	25.3	21.2	25.1	23.9	***	23.6	21.3	21.5	22.1
	2			31.1	36.2	50.3	39.5		27.4	36.2	43.1	35.9		29.2	36.2	46.5	37.6
	3			4.0	1.6	2.9	2.8		5.1	2.1	2.4	3.2		4.6	1.8	2.6	3.0
	4			11.0	5.6	3.9	6.7		7.8	4.1	3.1	4.9		9.3	4.8	3.5	5.8
	5			9.2	6.9	2.9	6.2		14.8	8.3	5.5	9.4		12.1	7.6	4.3	7.9
	6			5.5	6.9	3.2	5.2		5.1	10.1	6.5	7.2		5.3	8.5	4.9	6.2
	7			5.5	5.8	4.7	5.3		3.2	6.7	5.8	5.3		4.3	6.3	5.3	5.3
	8			9.5	11.1	10.0	10.2		6.7	7.8	5.3	6.6		8.1	9.4	7.5	8.3
	9			2.0	4.2	4.2	3.5		3.8	3.4	2.9	3.3		2.9	3.8	3.5	3.4
	NA			0.3	0.3	0.3	0.3		0.8	0.3	0.2	0.4		0.6	0.3	0.3	0.4
2	1	**	***	38.9	28.0	27.9	31.4	***	33.6	22.2	18.1	24.4	***	36.2	25.1	22.8	27.8
	2			51.6	48.7	50.0	50.0		54.8	56.1	56.6	55.9		53.3	52.4	53.5	53.0
	3			8.1	19.8	19.5	16.0		8.6	18.6	21.9	16.6		8.3	19.2	20.8	16.3
	4			1.4	3.2	2.6	2.4		2.2	2.8	3.1	2.7		1.8	3.0	2.9	2.6
	NA			0.0	0.3	0.0	0.1		0.8	0.3	0.2	0.4		0.4	0.3	0.1	0.3
3	1	***	**	74.1	61.9	67.4	67.6	***	67.5	66.1	65.3	66.3	**	70.7	64.1	66.3	66.9
	2			12.7	15.9	12.1	13.6		14.0	17.8	18.1	16.7		13.4	16.9	15.2	15.2
	3			7.2	9.5	7.1	8.0		12.1	9.0	9.4	10.1		9.7	9.3	8.3	9.1
	4			4.0	11.6	12.1	9.4		4.0	4.7	5.8	4.9		4.0	8.1	8.8	7.1
	NA			2.0	1.1	1.3	1.4		2.4	2.3	1.4	2.0		2.2	1.7	1.4	1.8
4	1	***	*	34.3	33.9	44.2	37.6	***	48.9	35.4	52.0	45.6	***	41.9	34.6	48.3	41.7
	2			41.8	45.8	35.0	40.8		27.2	42.9	28.0	32.6		34.2	44.3	31.3	36.6
	3			21.6	17.2	18.2	18.9		22.0	18.1	17.8	19.3		21.8	17.6	18.0	19.1
	4			2.0	2.9	2.1	2.4		0.8	2.3	1.0	1.4		1.4	2.6	1.5	1.8
	NA			0.3	0.3	0.5	0.4		1.1	1.3	1.2	1.2		0.7	0.8	0.9	0.8
5	お父さんと	***	***	10.4	9.0	10.8	10.0	***	4.3	7.8	8.7	7.0	***	7.2	8.4	9.7	8.5
				30.0	26.2	23.7	26.5		22.6	20.2	23.4	22.1		26.1	23.1	23.5	24.2
				25.6	27.2	28.9	27.3		34.7	30.5	34.7	33.3		30.3	28.9	31.9	30.4
				19.0	25.1	23.7	22.7		20.2	24.3	18.8	21.0		19.6	24.7	21.1	21.9
				15.0	12.4	12.9	13.4		18.3	17.3	14.5	16.6		16.7	14.9	13.7	15.1
	お母さんと	***	*	18.2	11.9	16.8	15.6	**	18.8	23.5	32.0	25.0	**	18.5	17.8	24.8	20.4
				36.0	42.9	44.5	41.3		48.7	44.7	44.8	46.0		42.6	43.8	44.7	43.7
				21.0	21.4	22.4	21.6		22.0	22.0	14.5	19.3		21.6	21.7	18.2	20.4
				16.7	18.0	11.8	15.5		6.5	6.5	5.3	6.0		11.4	12.2	8.4	10.6
				8.1	5.8	4.5	6.1		4.0	3.4	3.4	3.6		6.0	4.6	3.9	4.8
その他	***	+	2.6	2.9	3.9	3.2	*	5.6	7.8	8.4	7.3	***	4.2	5.4	6.3	5.3	
			14.4	14.3	16.6	15.1		16.4	18.1	24.6	19.8		15.4	16.2	20.8	17.6	
			25.6	22.5	23.4	23.8		28.5	25.6	23.4	25.7		27.1	24.1	23.4	24.8	
			34.0	44.2	40.5	39.7		28.8	33.1	28.9	30.2		31.3	38.6	34.5	34.8	
			23.3	16.1	15.5	18.2		20.7	15.5	14.7	16.9		22.0	15.8	15.1	17.5	
6	お父さんと	***	***	13.0	7.1	9.7	9.9	**	12.4	11.9	9.4	11.2	***	12.7	9.5	9.6	10.5
				32.0	27.2	18.2	25.5		31.3	24.8	25.5	27.1		31.6	26.0	22.0	26.4
				25.1	31.5	33.7	30.2		27.5	26.1	35.9	30.0		26.3	28.8	34.8	30.1
				13.3	22.5	23.9	20.1		12.7	20.9	16.1	16.6		13.0	21.7	19.7	18.3
				16.7	11.6	14.5	14.2		16.2	16.3	13.0	15.1		16.4	14.0	13.7	14.7
	お母さんと	***	***	30.8	16.9	21.1	22.7	*	54.6	42.6	47.5	48.1	***	43.1	29.9	34.8	35.8
				41.5	45.0	39.7	42.1		33.1	37.7	35.7	35.5		37.1	41.3	37.6	38.7
				14.4	21.4	24.2	20.2		8.3	12.4	10.6	10.5		11.3	16.9	17.1	15.2
				7.2	11.9	10.8	10.0		1.1	4.7	3.4	3.1		4.0	8.2	6.9	6.5
				6.1	4.8	4.2	5.0		3.0	2.6	2.9	2.8		4.5	3.7	3.5	3.9
その他	***	***	10.1	4.5	4.5	6.2	**	18.3	17.6	17.1	17.6	***	14.3	11.1	11.1	12.1	
			19.9	21.2	17.1	19.4		28.2	28.9	29.2	28.8		24.2	25.1	23.4	24.2	
			22.8	25.1	27.4	25.2		21.0	17.1	22.9	20.4		21.8	21.0	25.0	22.7	
			25.1	34.4	35.8	31.9		14.8	24.5	19.5	19.7		19.7	29.4	27.3	25.6	
			22.2	14.8	15.3	17.3		17.7	11.9	11.3	13.5		19.9	13.3	13.2	15.4	
お父さんは			29.7	31.5	22.9	28.0		25.3	27.6	25.1	26.0	+	27.4	29.5	24.0	26.9	
			36.3	33.1	38.4	35.9		41.1	35.4	40.7	39.1		38.8	34.2	39.6	37.6	
			12.1	15.3	14.7	14.1		11.8	13.7	14.5	13.4		12.0	14.5	14.6	13.7	
			6.6	8.2	9.7	8.2		6.5	9.3	7.0	7.6		6.5	8.9	8.3	7.9	
			15.3	11.9	14.2	13.8		15.3	14.0	12.8	14.0		15.3	12.9	13.5	13.9	

7	お母さんは	**	+	37.2	34.1	28.5	33.2		40.3	39.5	40.0	39.9		38.8	36.9	34.5	36.7
				41.5	45.8	48.3	45.3		45.2	41.1	44.1	43.4		43.4	43.4	46.1	44.3
8.6				10.8	14.2	11.3		7.8	9.6	9.6	9.0		8.2	10.2	11.8	10.1	
6.3				4.5	5.0	5.3		4.0	5.4	3.4	4.3		5.1	5.0	4.2	4.7	
6.3				4.8	4.0	5.0		2.7	4.4	2.9	3.3		4.5	4.6	3.4	4.1	
その他は	***	*	17.0	18.0	15.3	16.8		17.2	20.2	22.4	20.0		17.1	19.1	19.0	18.4	
			32.3	37.0	37.5	35.7		38.7	42.6	41.2	40.9		35.6	39.9	39.4	38.4	
			12.7	14.8	12.4	13.3		13.7	12.4	12.8	12.9	*	13.2	13.6	12.6	13.1	
			14.1	15.1	19.5	16.3		12.6	11.9	11.3	11.9		13.4	13.5	15.2	14.0	
			23.9	15.1	15.3	17.9		17.7	12.9	12.3	14.2		20.7	14.0	13.7	16.0	
8	お父さんは	***	34.0	30.4	29.2	31.1		24.7	29.2	25.3	26.4		29.2	29.8	27.2	28.7	
			10.1	9.8	10.5	10.1		6.5	8.0	10.1	8.3		8.2	8.9	10.3	9.2	
			4.9	4.8	5.3	5.0		4.8	6.2	8.7	6.6		4.9	5.5	7.0	5.8	
			17.0	17.2	17.6	17.3		21.2	15.5	15.2	17.2		19.2	16.3	16.4	17.2	
			3.2	5.6	4.7	4.5		3.2	3.9	5.3	4.2		3.2	4.7	5.0	4.3	
			6.1	6.9	8.2	7.1		5.6	5.2	5.1	5.3		5.8	6.0	6.5	6.1	
			8.6	11.9	7.9	9.5		16.1	14.7	13.5	14.7		12.5	13.3	10.8	12.2	
	0.9	0.8	1.1	0.9		1.1	1.3	1.9	1.4		1.0	1.0	1.5	1.2			
	2.0	2.6	2.6	2.4		4.0	2.3	3.1	3.2		3.1	2.5	2.9	2.8			
	13.3	10.1	12.9	12.0		12.6	13.7	11.8	12.7		12.9	11.9	12.3	12.4			
	お母さんは	***	***	29.7	23.8	15.8	22.9		34.1	30.2	27.0	30.3		32.0	27.1	21.6	26.7
				20.2	21.4	25.3	22.4		14.2	12.1	14.2	13.5		17.1	16.7	19.5	17.8
				3.5	5.0	8.7	5.8		16.9	19.6	25.8	21.0		10.4	12.4	17.6	13.6
				23.6	22.0	16.1	20.5		18.0	17.1	13.3	16.0		20.7	19.5	14.6	18.2
				0.6	1.1	1.1	0.9	+	1.9	1.0	1.4	1.4	***	1.3	1.0	1.3	1.2
8.4				14.8	20.8	14.8		7.0	9.3	11.3	9.3		7.6	12.0	15.8	12.0	
3.2				3.2	2.1	2.8		1.6	3.4	1.9	2.3		2.4	3.3	2.0	2.5	
0.3	0.3	1.1	0.5		0.5	1.0	0.2	0.6		0.4	0.7	0.6	0.6				
0.9	2.1	2.4	1.8		2.7	2.6	2.7	2.6		1.8	2.4	2.5	2.2				
9.8	6.3	6.8	7.6		3.0	3.6	2.2	2.9		6.3	5.0	4.4	5.2				
その他は	***	*	11.5	9.8	9.2	10.1		9.7	8.5	6.7	8.3		10.6	9.2	7.9	9.2	
			13.3	13.8	13.7	13.6		11.3	11.6	12.3	11.8		12.2	12.7	13.0	12.6	
			18.7	18.8	18.9	18.8		28.0	27.6	36.6	30.9		23.5	23.3	28.2	25.1	
			10.7	13.8	12.4	12.3		13.2	15.8	10.8	13.2		12.0	14.8	11.6	12.8	
			5.2	9.8	7.1	7.4	+	7.8	7.5	7.2	7.5	**	6.5	8.6	7.2	7.5	
			11.2	15.1	12.1	12.9		7.3	11.1	10.1	9.5		9.2	13.1	11.1	11.1	
			0.6	0.0	1.6	0.7		0.8	0.3	0.7	0.6		0.7	0.1	1.1	0.7	
1.4	1.3	2.9	1.9		0.5	1.8	0.7	1.0		1.0	1.6	1.8	1.4				
2.3	2.9	4.7	3.3		4.8	3.4	2.7	3.6		3.6	3.1	3.6	3.5				
25.1	14.8	17.4	18.9		16.7	12.4	12.0	13.6		20.7	13.6	14.6	16.2				
9	お父さんは	***	3.7	7.1	5.0	5.3		9.9	7.8	13.0	10.3		7.0	7.5	9.2	7.9	
			26.2	29.6	29.2	28.4	+	33.3	35.9	39.8	36.5		29.9	32.8	34.7	32.6	
			38.6	36.2	36.3	37.0		31.7	30.2	24.1	28.5		35.0	33.2	29.9	32.6	
			19.3	15.6	16.1	16.9		14.0	12.9	13.5	13.5		16.6	14.2	14.7	15.1	
	12.1	11.4	13.4	12.3		11.0	13.2	9.6	11.2		11.5	12.3	11.4	11.8			
	お母さんは			3.5	3.4	4.7	3.9		3.8	3.1	4.1	3.7		3.6	3.3	4.4	3.8
				32.9	33.1	36.8	34.3	*	33.3	28.2	40.5	34.2	+	33.1	30.6	38.7	34.2
39.8				40.7	41.1	40.5		45.2	47.0	36.6	42.8		42.6	43.9	38.7	41.7	
17.6	16.4	12.1	15.3		14.2	17.3	15.7	15.8		15.9	16.9	14.0	15.5				
6.3	6.3	5.3	6.0		3.5	4.4	3.1	3.7		4.9	5.4	4.2	4.8				
その他は	*	**	7.5	9.0	9.7	8.8		7.8	6.2	8.4	7.5		7.6	7.6	9.1	8.1	
			28.0	30.2	30.3	29.5		30.9	34.6	35.9	33.9		29.5	32.4	33.2	31.8	
			27.4	29.1	34.7	30.5		33.6	29.7	30.8	31.3	**	30.6	29.4	32.7	30.9	
			11.0	14.6	8.4	11.3		9.1	13.4	12.5	11.8		10.0	14.0	10.6	11.5	
26.2	17.2	16.8	19.9		18.5	16.0	12.3	15.5		22.3	16.6	14.5	17.6				
10	1			71.8	73.5	64.2	69.8		73.1	70.3	69.4	70.9		72.5	71.9	66.9	70.3
	2			9.2	9.8	13.9	11.0		10.8	12.1	12.5	11.8		10.0	11.0	13.2	11.5
	3		+	13.5	9.5	13.2	12.0		10.2	12.7	12.3	11.8		11.8	11.1	12.7	11.9
	4			4.3	4.5	6.3	5.1		4.8	3.6	4.8	4.4		4.6	4.1	5.5	4.7
	NA			1.2	2.6	2.4	2.1		1.1	1.3	1.0	1.1		1.1	2.0	1.6	1.6
11	1			39.8	42.1	37.9	39.9		41.9	44.4	35.7	40.6		40.9	43.3	36.8	40.3
	2			53.0	48.7	47.9	49.8		49.7	48.1	53.6	50.6		51.3	48.4	50.9	50.2
	3			1.2	0.0	0.8	0.6		0.0	0.3	0.5	0.3		0.6	0.1	0.6	0.4
	4		*	3.5	6.6	9.2	6.5		4.6	4.7	5.8	5.0	*	4.0	5.6	7.4	5.8
	5			0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
	6			1.4	2.1	3.4	2.4		3.8	1.8	3.9	3.2		2.6	2.0	3.7	2.8
NA			1.2	0.5	0.8	0.8		0.0	0.8	0.5	0.4		0.6	0.7	0.6	0.6	

12	1			61.4	64.8	61.3	62.5		55.4	59.9	59.3	58.3		58.3	62.4	60.3	60.3
	2			1.4	2.6	2.1	2.1		1.6	1.6	2.2	1.8		1.5	2.1	2.1	1.9
	3			22.2	19.3	23.4	21.6		25.0	24.8	24.1	24.6		23.6	22.1	23.8	23.2
	4			8.4	8.2	7.9	8.1		10.2	8.8	10.6	9.9		9.3	8.5	9.3	9.0
	5			6.1	4.8	5.0	5.2		7.3	4.4	3.4	4.9		6.7	4.6	4.2	5.1
	NA			0.6	0.3	0.3	0.4		0.5	0.5	0.5	0.5		0.6	0.4	0.4	0.4
13	1			11.8	14.8	14.7	13.8		20.4	19.4	22.5	20.8		16.3	17.1	18.8	17.4
	2			62.8	57.7	59.5	59.9		54.6	57.6	58.0	56.9		58.6	57.8	58.7	58.3
	3	***		17.6	16.7	14.5	16.2	+	21.8	17.8	14.5	17.9	**	19.7	17.3	14.5	17.1
	4			4.9	3.7	5.0	4.5		3.0	2.8	2.9	2.9		3.9	3.3	3.9	3.7
	5			2.0	6.9	6.1	5.1		0.3	1.6	2.2	1.4		1.1	4.2	4.0	3.2
	NA			0.9	0.3	0.3	0.5		0.0	0.5	0.0	0.2		0.4	0.4	0.1	0.3
14	1			17.3	20.9	19.7	19.4		24.7	23.8	25.1	24.5		21.1	22.4	22.5	22.0
	2			42.7	37.0	30.5	36.6		39.2	37.0	35.4	37.1		40.9	37.0	33.1	36.9
	3	***	**	19.9	14.0	23.4	19.1		19.6	18.6	20.7	19.7	***	19.7	16.3	22.0	19.4
	4			19.3	27.0	25.8	24.2		14.8	19.9	18.8	17.9		17.0	23.4	22.1	20.9
	NA			0.9	1.1	0.5	0.8		1.6	0.8	0.0	0.8		1.3	0.9	0.3	0.8
15	1			23.3	22.0	37.1	27.6		45.4	41.9	51.1	46.3		34.8	32.0	44.4	37.2
	2			24.5	26.7	25.3	25.5		28.8	30.7	24.8	28.0		26.7	28.8	25.0	26.8
	3	***	***	24.8	24.9	21.1	23.5		15.6	18.6	15.2	16.4	***	20.0	21.7	18.0	19.9
	4			26.8	25.7	15.5	22.5		10.2	8.3	8.9	9.1		18.2	16.9	12.1	15.6
	NA			0.6	0.8	1.1	0.8		0.0	0.5	0.0	0.2		0.3	0.7	0.5	0.5
16	1			24.5	36.5	55.5	39.3		20.7	35.7	52.3	36.8		22.5	36.1	53.8	38.0
	2			3.7	5.8	3.7	4.4		1.9	6.5	7.5	5.4		2.8	6.1	5.7	4.9
	3	***		0.0	0.8	1.1	0.6	***	0.5	0.8	1.0	0.8	***	0.3	0.8	1.0	0.7
	4			71.5	56.6	39.5	55.4		76.3	56.8	39.3	56.8		74.0	56.7	39.4	56.1
	NA			0.3	0.3	0.3	0.5		0.5	0.3	0.0	0.3		0.4	0.3	0.1	0.3
17	1			30.5	26.5	27.4	28.1		31.2	32.8	31.3	31.8		30.9	29.7	29.4	30.0
	2			24.5	23.0	21.8	23.1		26.1	19.1	21.2	22.1		25.3	21.0	21.5	22.6
	3			9.8	4.0	7.1	6.9		9.1	5.9	6.3	7.1		9.5	5.0	6.7	7.0
	4			10.4	4.0	3.9	6.0		9.7	4.9	7.7	7.4		10.0	4.4	5.9	6.7
	5	*	***	1.7	1.6	1.8	1.7	**	2.7	1.6	1.9	2.0	***	2.2	1.6	1.9	1.9
	6			0.9	1.6	4.2	2.3		2.2	1.0	1.0	1.4		1.5	1.3	2.5	1.8
	7			0.3	0.0	0.3	0.2		1.1	0.8	1.0	0.9		0.7	0.4	0.6	0.6
	8			0.9	1.1	0.5	0.8		0.5	0.5	1.2	0.8		0.7	0.8	0.9	0.8
	9			20.5	37.8	32.4	30.5		16.7	32.6	27.7	25.8		18.5	35.2	29.9	28.1
NA			0.6	0.5	0.5	0.5		0.8	0.8	0.7	0.8		0.7	0.7	0.6	0.7	
18	1			3.5	2.4	5.3	3.7		2.4	1.0	2.4	2.0		2.9	1.7	3.8	2.8
	2			7.2	5.0	10.3	7.5		11.0	5.7	8.2	8.3		9.2	5.4	9.2	7.9
	3			6.9	10.8	6.3	8.1		7.3	4.9	6.3	6.1		7.1	7.8	6.3	7.1
	4			17.6	18.0	17.4	17.7		15.6	15.0	14.9	15.2		16.6	16.5	16.1	16.4
	5	*	*	8.7	6.6	10.0	8.4	*	7.0	5.7	7.7	6.8	***	7.8	6.1	8.8	7.6
	6			17.1	18.8	20.3	18.8		15.3	19.6	21.9	19.1		16.2	19.2	21.1	18.9
	7			10.7	8.2	7.4	8.7		10.8	9.0	11.6	10.5		10.7	8.6	9.6	9.6
	8			23.7	26.5	20.0	23.4		26.1	34.4	24.3	28.2		24.9	30.5	22.3	25.9
	9			0.6	1.6	0.8	1.0		1.3	1.0	1.0	1.1		1.0	1.3	0.9	1.1
NA			4.0	2.1	2.4	2.8		3.2	3.6	1.7	2.8		3.6	2.9	2.0	2.8	
19	1			22.5	17.5	17.1	18.9		13.7	9.0	7.0	9.8		17.9	13.2	11.8	14.2
	2			17.0	20.6	21.3	19.7		8.9	7.5	6.3	7.5		12.8	14.0	13.5	13.4
	3			11.2	10.1	8.7	10.0		3.5	2.3	2.2	2.6		7.2	6.1	5.3	6.2
	4			10.7	11.1	11.8	11.2		3.2	2.3	3.1	2.9		6.8	6.7	7.3	6.9
	5	***		4.0	3.2	1.8	3.0	*	0.5	1.3	0.7	0.9	**	2.2	2.2	1.3	1.9
	6			4.3	4.5	5.0	4.6		1.3	1.0	0.7	1.0		2.8	2.7	2.8	2.8
	7			1.7	1.9	1.1	1.5		0.8	1.8	0.0	0.9		1.3	1.8	0.5	1.2
	8			5.2	5.8	3.2	4.7		2.2	1.8	1.0	1.6		3.6	3.8	2.0	3.1
	9			21.9	25.1	29.2	25.5		65.3	71.6	78.8	72.1		44.4	48.6	55.1	49.5
NA			1.4	0.3	0.8	0.8		0.5	1.3	0.2	0.7		1.0	0.8	0.5	0.7	
20	1			43.2	33.6	43.4	40.0		45.2	42.9	44.6	44.2		44.2	38.3	44.0	42.2
	2			44.7	50.5	42.9	46.1		45.2	44.2	43.9	44.4		44.9	47.3	43.4	45.2
	3	+	+	7.8	10.8	11.1	10.0		5.9	9.8	8.9	8.3	*	6.8	10.3	9.9	9.1
	4			4.0	4.5	2.1	3.5		2.2	2.6	2.4	2.4		3.1	3.5	2.3	2.9
	NA			0.3	0.5	0.5	0.5		1.6	0.5	0.2	0.8		1.0	0.5	0.4	0.6
21	1			59.4	52.1	50.3	53.8		65.6	66.4	65.5	65.8		62.6	59.3	58.2	60.0
	2			26.5	31.2	31.6	29.9		25.0	24.5	22.4	23.9		25.7	27.8	26.8	26.8
	3	***		9.2	10.6	11.6	10.5		6.5	5.7	9.2	7.2		7.8	8.1	10.3	8.8
	4			4.6	5.8	6.3	5.6		2.2	3.1	2.7	2.6		3.3	4.4	4.4	4.1
	NA			0.3	0.3	0.3	0.3		0.8	0.3	0.2	0.4		0.6	0.3	0.3	0.4

22	1			24.8	27.2	28.2	26.8		45.2	40.3	39.3	41.5		35.3	33.9	34.0	34.4
	2			23.1	18.3	15.6	18.8		25.5	26.6	26.5	26.2		24.3	22.5	21.3	22.7
	3	***		43.2	42.1	44.1	43.1		19.9	22.0	19.5	20.4		31.2	31.9	31.2	31.4
	4			8.1	11.1	11.1	10.1		6.5	9.0	12.8	9.5		7.2	10.1	12.0	9.8
	NA			0.9	1.3	1.1	1.1		3.0	2.1	1.9	2.3		1.9	1.7	1.5	1.7
23	一位	***		7.5	9.3	8.2	8.3		14.5	15.2	17.3	15.8		11.1	12.3	13.0	12.2
				1.4	1.6	2.4	1.8		3.8	4.1	6.0	4.7		2.6	2.9	4.3	3.3
				23.1	18.8	17.9	19.8		7.8	10.9	8.0	8.9		15.2	14.8	12.7	14.2
				1.2	2.4	0.5	1.4		2.4	1.6	0.5	1.4		1.8	2.0	0.5	1.4
				2.3	1.9	1.3	1.8		9.7	5.4	7.2	7.4		6.1	3.7	4.4	4.7
				0.6	0.5	1.1	0.7		3.2	1.0	1.9	2.0		1.9	0.8	1.5	1.4
				29.7	35.2	38.9	34.8		13.2	20.4	22.2	18.7		21.1	27.7	30.2	26.5
				6.9	4.2	2.9	4.6	***	2.4	0.8	0.5	1.2	***	4.6	2.5	1.6	2.9
				2.9	3.4	5.5	4.0		6.5	4.9	6.5	6.0		4.7	4.2	6.0	5.0
				0.0	0.3	0.3	0.2		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.1	0.1	0.1
				19.3	17.5	17.6	18.1		19.4	24.5	20.5	21.5		19.3	21.0	19.1	19.8
				2.6	3.2	1.1	2.3		14.5	9.6	8.4	10.7		8.8	6.4	4.9	6.6
				0.3	0.0	0.0	0.1		0.0	0.0	0.0	0.0		0.1	0.0	0.0	0.0
				1.7	1.3	2.1	1.7		1.9	1.3	0.5	1.2		1.8	1.3	1.3	1.4
				0.6	0.5	0.3	0.5		0.8	0.3	0.5	0.5		0.7	0.4	0.4	0.5
	二位	***	**	7.2	10.8	10.8	9.7		13.4	10.3	15.4	13.1		10.4	10.6	13.2	11.5
				4.6	4.5	8.7	6.0		9.1	11.4	13.0	11.2		7.0	8.0	10.9	8.7
				21.0	19.6	17.9	19.5		11.0	8.0	9.2	9.4		15.9	13.7	13.3	14.3
				0.6	3.4	1.3	1.8		1.3	3.9	3.1	2.8		1.0	3.7	2.3	2.3
				10.1	6.6	7.1	7.9		12.1	13.4	12.8	12.8		11.1	10.1	10.1	10.4
				2.0	1.6	3.2	2.3		3.0	2.6	2.4	2.6		2.5	2.1	2.8	2.5
				11.0	10.6	6.1	9.1		7.5	6.5	7.0	7.0		9.2	8.5	6.5	8.0
				12.4	7.7	8.9	9.6		4.3	2.3	1.2	2.6	*	8.2	5.0	4.9	6.0
				4.9	5.6	8.7	6.4		6.2	4.9	3.1	4.7		5.6	5.2	5.8	5.5
				0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.2	0.1		0.0	0.0	0.1	0.0
				17.6	23.0	20.3	20.4		18.0	21.7	18.1	19.3		17.8	22.4	19.1	19.8
				5.5	3.7	4.2	4.4		12.1	13.4	13.0	12.9		8.9	8.6	8.8	8.8
				0.6	0.0	0.3	0.3		0.0	0.0	0.0	0.0		0.3	0.0	0.1	0.1
				1.4	1.1	1.1	1.2		1.1	1.3	0.7	1.0		1.3	1.2	0.9	1.1
				1.2	1.9	1.6	1.5		0.8	0.3	0.7	0.6		1.0	1.0	1.1	1.1
三位	***	***	15.6	15.1	13.4	14.7		9.7	16.3	15.4	13.9		12.5	15.7	14.5	14.3	
			9.8	10.3	8.4	9.5		8.1	10.6	13.3	10.7		8.9	10.5	10.9	10.1	
			12.7	14.8	16.1	14.6		11.3	9.0	9.4	9.9		12.0	11.9	12.6	12.2	
			2.3	2.1	4.2	2.9		4.3	3.9	1.9	3.3		3.3	3.0	3.0	3.1	
			4.3	11.9	11.3	9.3		14.2	15.2	11.6	13.6		9.5	13.6	11.4	11.5	
			6.9	2.6	7.4	5.6		5.6	3.6	4.8	4.7		6.3	3.1	6.0	5.1	
			6.6	5.6	2.4	4.8		4.8	3.4	5.1	4.4		5.7	4.4	3.8	4.6	
			11.2	7.1	6.1	8.1		2.7	0.8	1.2	1.5	*	6.8	3.9	3.5	4.7	
			6.9	6.1	6.3	6.4		7.3	6.7	4.6	6.1		7.1	6.4	5.4	6.3	
			0.0	0.5	0.3	0.3		0.3	0.0	0.2	0.2		0.1	0.3	0.3	0.2	
			10.4	14.3	13.7	12.9		15.3	14.0	16.6	15.3		12.9	14.1	15.2	14.1	
			8.9	6.3	7.6	7.6		13.4	15.0	13.0	13.8		11.3	10.7	10.4	10.8	
			1.2	0.3	0.0	0.5		0.0	0.0	0.2	0.1		0.6	0.1	0.1	0.3	
			1.7	0.8	1.3	1.3		1.3	0.5	1.2	1.0		1.5	0.7	1.3	1.1	
			1.4	2.1	1.6	1.7		1.6	1.0	1.4	1.4		1.5	1.6	1.5	1.5	
24	1			5.2	10.1	16.1	10.6		11.3	16.5	13.0	13.6		8.3	13.3	14.5	12.2
	2			37.2	37.6	37.1	37.3		42.5	46.8	48.0	45.8		39.9	42.2	42.8	41.7
	3	***	***	35.4	35.4	39.5	36.8	*	32.0	28.7	31.6	30.7	***	33.7	32.0	35.3	33.7
	4			20.7	16.1	6.6	14.3		12.1	7.5	6.7	8.7		16.3	11.8	6.7	11.4
	NA			1.4	0.8	0.8	1.0		2.2	0.5	0.7	1.1		1.8	0.7	0.8	1.1
25	1			22.8	25.9	28.7	25.9		19.6	21.7	25.8	22.5		21.1	23.8	27.2	24.1
	2			63.7	59.0	57.6	60.0		65.1	63.6	61.4	63.3		64.4	61.3	59.6	61.7
	3			11.5	12.7	11.8	12.0		13.4	12.1	11.1	12.2	*	12.5	12.4	11.4	12.1
	4			0.6	1.9	0.8	1.1		0.3	1.6	1.2	1.0		0.4	1.7	1.0	1.1
	NA			1.4	0.5	1.1	1.0		1.6	1.0	0.5	1.0		1.5	0.8	0.8	1.0
26	1			11.5	15.1	15.5	14.1		13.2	14.0	15.4	14.2		12.4	14.5	15.5	14.2
	2			58.2	55.0	55.8	56.3		63.7	61.2	56.6	60.4		61.1	58.2	56.2	58.4
	3	+		26.2	26.2	25.8	26.1		20.7	22.5	26.3	23.3		23.4	24.3	26.0	24.6
	4			2.6	3.4	2.1	2.7		1.9	2.1	1.7	1.9		2.2	2.7	1.9	2.3
	NA			1.4	0.3	0.8	0.8		0.5	0.3	0.0	0.3		1.0	0.3	0.4	0.5
27	1			24.8	29.1	34.7	29.7		28.2	30.7	35.7	31.7		26.6	29.9	35.2	30.7
	2			61.7	55.3	53.9	56.8		56.7	56.3	53.3	55.4	***	59.1	55.8	53.6	56.1
	3			11.0	11.9	9.5	10.8	+	11.0	10.1	10.4	10.5	**	11.0	11.0	9.9	10.6
	4			2.3	3.4	1.6	2.4		3.5	2.6	0.7	2.2		2.9	3.0	1.1	2.3
	NA			0.3	0.3	0.3	0.3		0.5	0.3	0.0	0.3		0.4	0.3	0.1	0.3

28	1			23.6	24.3	25.8	24.6		39.0	32.8	34.9	35.5		31.6	28.6	30.6	30.2
	2			40.3	39.7	45.3	41.8		36.8	42.6	43.9	41.2		38.5	41.2	44.5	41.5
	3	***		28.0	27.5	20.3	25.2		18.8	19.6	18.8	19.1		23.2	23.5	19.5	22.0
	4			7.8	7.9	8.2	8.0		5.1	4.7	2.4	4.0		6.4	6.3	5.2	5.9
	NA			0.3	0.5	0.5	0.5		0.3	0.3	0.0	0.2		0.3	0.4	0.3	0.3
29	最も	***	***	2.3	4.2	1.6	2.7		1.6	1.0	1.7	1.4		1.9	2.6	1.6	2.1
				6.1	5.0	2.9	4.6		11.6	7.8	7.5	8.9		8.9	6.4	5.3	6.8
				3.2	0.8	1.6	1.8		4.3	4.7	3.1	4.0		3.8	2.7	2.4	2.9
				4.9	9.8	21.8	12.4		3.8	7.8	17.8	10.1		4.3	8.8	19.7	11.2
				21.6	27.0	34.7	28.0		24.2	24.3	32.8	27.3		22.9	25.6	33.7	27.6
				5.5	9.3	6.6	7.1	***	3.8	5.4	4.1	4.4	***	4.6	7.3	5.3	5.7
				6.9	6.3	3.7	5.6		15.6	19.6	11.3	15.4		11.4	13.1	7.7	10.7
				2.3	3.4	3.9	3.3		9.1	8.0	6.5	7.8		5.8	5.8	5.3	5.6
	次に	***	***	2.6	1.9	2.6	2.4		2.7	1.8	2.4	2.3		2.6	1.8	2.5	2.3
				43.5	32.3	20.0	31.6		23.4	19.4	12.3	18.1		33.1	25.8	16.0	24.7
				1.2	0.0	0.5	0.5		0.0	0.3	0.5	0.3		0.6	0.1	0.5	0.4
				2.6	2.9	2.1	2.5		2.7	1.8	1.4	2.0		2.6	2.4	1.8	2.2
				3.5	6.3	5.5	5.2		9.4	10.3	14.7	11.6		6.5	8.4	10.3	8.5
				2.9	2.6	3.7	3.1		9.1	6.7	4.6	6.7		6.1	4.7	4.2	5.0
				5.8	10.3	15.8	10.8		4.3	9.8	19.8	11.6		5.0	10.1	17.9	11.2
				11.8	14.3	20.8	15.7		11.8	15.5	21.2	16.4		11.8	14.9	21.0	16.1
				3.7	6.9	6.3	5.7	***	7.8	5.7	3.6	5.6	***	5.8	6.3	4.9	5.7
5.5	4.5	3.7	4.5		10.5	7.8	7.5	8.5		8.1	6.1	5.7	6.6				
5.2	3.4	4.7	4.4		9.7	13.7	5.1	9.4		7.5	8.6	4.9	7.0				
0.9	0.8	0.5	0.7		0.8	1.0	1.7	1.2		0.8	0.9	1.1	1.0				
56.8	47.9	36.6	46.8		33.6	27.4	20.0	26.7		44.8	37.5	27.9	36.5				
1.4	0.0	0.3	0.5		0.3	0.3	0.5	0.3		0.8	0.1	0.4	0.4				
30	最も	***	***	9.2	4.8	4.5	6.1		1.3	1.3	1.0	1.2		5.1	3.0	2.6	3.6
				32.0	26.2	24.7	27.5		31.2	24.3	26.3	27.2		31.6	25.2	25.5	27.3
				1.4	1.1	0.5	1.0		1.1	1.0	0.7	0.9		1.3	1.0	0.6	1.0
				4.6	2.9	4.2	3.9		6.2	8.5	6.5	7.1		5.4	5.8	5.4	5.5
				31.7	31.5	40.0	34.5		50.3	55.3	53.0	52.9	**	41.3	43.5	46.8	44.0
				0.6	0.3	0.8	0.5		0.5	0.3	1.0	0.6		0.6	0.3	0.9	0.6
				11.8	25.1	16.6	18.0		7.0	6.7	8.2	7.3		9.3	15.8	12.2	12.5
				4.9	7.1	6.1	6.1		1.6	1.3	1.4	1.4		3.2	4.2	3.6	3.7
	次に	***	***	2.9	1.1	2.1	2.0		0.8	1.0	1.9	1.3		1.8	1.0	2.0	1.6
				0.9	0.0	0.5	0.5		0.0	0.3	0.0	0.1		0.4	0.1	0.3	0.3
				12.4	10.1	8.4	10.2		5.1	3.1	2.7	3.6		8.6	6.5	5.4	6.8
				15.6	14.6	18.2	16.1		27.4	25.6	26.7	26.6		21.7	20.1	22.6	21.5
				2.3	1.1	2.9	2.1		3.0	1.6	1.4	2.0		2.6	1.3	2.1	2.0
				11.5	7.7	6.3	8.4		12.4	12.9	14.2	13.2		12.0	10.3	10.4	10.9
				19.0	12.7	15.0	15.5		21.8	22.2	23.9	22.7	*	20.4	17.5	19.6	19.2
				1.7	2.9	3.2	2.6		2.4	3.4	3.4	3.1		2.1	3.1	3.3	2.9
				8.6	16.4	16.8	14.1		7.5	11.9	10.1	9.9		8.1	14.1	13.3	11.9
26.2	33.6	24.7	28.2		17.2	16.0	16.4	16.5		21.6	24.7	20.4	22.2				
0.9	0.5	3.2	1.5		2.4	2.1	0.7	1.7		1.7	1.3	1.9	1.6				
1.7	0.5	1.3	1.2		0.8	1.3	0.5	0.9		1.3	0.9	0.9	1.0				
31	1			7.2	9.8	8.4	8.5		8.9	11.9	10.8	10.6		8.1	10.8	9.7	9.6
	2			21.0	23.0	20.8	21.6		23.4	27.6	25.1	25.4		22.3	25.4	23.0	23.6
	3	***		28.5	24.3	28.4	27.1		30.6	30.0	30.8	30.5		29.6	27.2	29.7	28.8
	4			42.4	42.1	42.1	42.2		37.1	30.2	33.0	33.4		39.6	36.1	37.4	37.6
	NA			0.9	0.8	0.3	0.6		0.0	0.3	0.2	0.2		0.4	0.5	0.3	0.4
32	1			42.7	36.0	29.7	35.9		40.1	37.5	32.5	36.5		41.3	36.7	31.2	36.2
	2			43.2	48.9	47.9	46.8		46.8	47.8	48.7	47.8		45.1	48.4	48.3	47.3
	3	**		8.9	10.1	13.9	11.0		8.1	10.1	12.8	10.4	***	8.5	10.1	13.3	10.7
	4			4.6	4.0	7.9	5.5		4.8	4.1	5.8	4.9		4.7	4.1	6.8	5.2
	NA			0.6	1.1	0.5	0.7		0.3	0.5	0.2	0.3		0.4	0.8	0.4	0.5

父親・母親の学年別の集計表

設問番号	選択肢	父母別の有意差	父親				母親				全体						
			学年の有意差	1年	2年	3年	全体	学年の有意差	1年	2年	3年	全体	学年の有意差	1年	2年	3年	全体
1	1	***		9.8	11.0	11.3	10.9		55.9	57.0	61.2	58.1		38.8	35.2	34.8	36.0
	2		31.8	25.6	29.9	28.8	26.5	23.3	21.2	23.6	28.5	24.4	25.8	26.1			
	3		16.6	13.7	15.0	14.9	8.0	8.8	7.1	8.0	**	11.2	11.2	11.3	11.2		
	4		41.8	49.2	43.7	45.2	9.2	10.8	10.4	10.1	21.2	29.0	28.0	26.5			
	NA		0.0	0.5	0.1	0.2	0.4	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2			
2	1	***		79.0	78.2	78.9	78.7		84.2	83.4	79.7	82.4		82.3	80.9	79.3	80.6
	2		7.6	7.8	8.8	8.2	7.3	8.1	10.7	8.8	7.4	8.0	9.7	8.5			
	3		6.8	7.2	6.0	6.6	6.7	6.8	6.9	6.8	6.8	7.0	6.4	6.7			
	4		5.9	6.0	5.9	5.9	1.3	1.5	2.0	1.6	3.0	3.6	4.0	3.6			
	NA		0.7	0.9	0.5	0.7	0.4	0.1	0.7	0.4	0.5	0.5	0.6	0.5			
3	1	***		58.9	59.7	57.4	58.5		74.8	72.5	68.2	71.7		68.9	66.4	62.5	65.6
	2		28.9	26.4	27.0	27.2	20.1	21.4	22.8	21.5	23.3	23.8	25.0	24.1			
	3		7.6	10.2	11.1	10.1	3.9	4.6	6.8	5.1	**	5.2	7.3	9.1	7.4		
	4		3.7	2.9	3.3	3.2	0.7	1.1	1.4	1.1	1.8	2.0	2.4	2.1			
	NA		1.0	0.8	1.2	1.0	0.6	0.4	0.8	0.6	0.7	0.6	1.0	0.8			
4	1	***		46.7	46.0	45.1	45.7		25.5	28.5	29.5	27.9		33.3	36.8	37.7	36.2
	2		25.2	21.7	23.0	23.0	15.5	17.4	16.3	16.4	19.1	19.4	19.8	19.5			
	3		12.0	9.8	9.8	10.3	10.0	6.9	7.7	8.2	10.7	8.3	8.8	9.2			
	4		15.4	22.1	21.5	20.4	47.9	46.5	45.9	46.7	35.9	35.0	33.0	34.4			
	NA		0.7	0.5	0.6	0.6	1.1	0.7	0.7	0.8	1.0	0.6	0.6	0.7			
5	1	***	+	37.2	36.3	33.2	35.1		39.1	36.0	30.8	35.2		38.4	36.2	32.1	35.2
	2			44.0	44.3	49.8	46.7	55.2	56.9	63.2	58.5	51.0	50.9	56.1	53.0		
	3			8.6	8.7	5.8	7.4	2.4	2.9	2.4	2.6	4.7	5.7	4.1	4.8		
	4			5.9	6.9	7.4	6.9	1.4	1.5	1.2	1.4	**	3.1	4.1	4.5	4.0	
	5			0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0		
	6			1.2	2.4	1.8	1.9	0.1	0.7	0.4	0.4	0.5	1.5	1.1	1.1		
NA	3.2	1.2	2.1	2.0	1.7	1.9	2.1	1.9	2.3	1.6	2.1	2.0					
6	1	***		33.3	29.3	30.1	30.5		55.7	50.0	43.1	49.4		47.4	40.2	36.3	40.6
	2		45.7	46.0	45.1	45.5	38.0	40.7	44.2	41.1	40.8	43.2	44.7	43.1			
	3		17.1	17.6	18.2	17.7	***	5.0	6.9	10.5	7.6	***	9.5	12.0	14.5	12.3	
	4		3.9	6.9	5.7	5.7	0.7	2.1	1.6	1.5	1.9	4.4	3.8	3.5			
	NA		0.0	0.3	0.8	0.5	0.6	0.3	0.7	0.5	0.4	0.3	0.7	0.5			
7	1	***		58.7	56.0	57.8	57.4		65.4	62.7	59.2	62.3		62.9	59.5	58.4	60.0
	2		28.6	30.2	31.3	30.4	29.8	30.1	33.3	31.1	29.4	30.2	32.3	30.8			
	3		3.2	4.0	3.4	3.6	0.9	1.5	1.2	1.2	1.7	2.7	2.4	2.3			
	4		2.2	3.2	2.6	2.7	0.1	1.0	0.5	0.5	0.9	2.0	1.6	1.6			
	5		0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2			
	6		3.7	3.5	2.4	3.0	1.4	2.6	3.3	2.5	2.3	3.0	2.8	2.7			
	NA		3.4	2.9	2.5	2.8	2.3	1.8	2.1	2.1	2.7	2.3	2.3	2.4			
8	1	***		7.3	8.9	7.4	7.8		10.5	9.4	5.8	8.5		9.3	9.1	6.5	8.2
	2		41.3	36.3	34.8	36.7	46.7	40.1	41.9	42.8	44.7	38.2	38.2	39.9			
	3		33.7	33.6	37.2	35.2	**	33.4	37.0	38.8	36.5	***	33.5	35.4	38.0	35.9	
	4		14.4	18.3	18.6	17.6	7.4	11.3	11.3	10.1	10.0	14.6	15.1	13.6			
	NA		3.2	3.1	2.2	2.7	2.0	2.2	2.2	2.2	2.4	2.6	2.2	2.4			
9	1	***		13.0	9.5	9.5	10.2		10.9	13.7	11.2	11.9		11.7	11.7	10.3	11.1
	2		0.7	3.2	2.4	2.3	1.6	1.7	0.8	1.3	1.3	2.4	1.6	1.8			
	3		4.6	4.1	4.0	4.2	2.6	2.2	2.8	2.5	3.3	3.1	3.4	3.3			
	4		7.8	9.5	7.9	8.4	4.9	6.1	5.2	5.4	6.0	7.7	6.6	6.8			
	5		62.1	62.5	64.5	63.3	73.5	69.8	71.1	71.4	+	69.3	66.3	67.6	67.6		
	6		8.1	6.4	7.5	7.3	4.2	3.7	5.5	4.5	5.6	5.0	6.6	5.8			
	7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0			
	8		0.2	0.3	0.7	0.5	0.1	0.0	0.7	0.3	0.2	0.1	0.7	0.4			
	9		0.5	1.5	1.1	1.1	0.3	0.7	0.5	0.5	0.4	1.1	0.8	0.8			
	NA		2.9	2.9	2.5	2.7	2.0	2.2	2.0	2.1	2.3	2.5	2.2	2.4			

10	1			10.8	12.1	11.2	11.4		21.3	23.6	27.3	24.2		17.4	18.1	18.8	18.2
	2			52.1	48.2	55.6	52.3		60.9	62.6	59.2	60.9		57.6	55.8	57.3	56.9
	3	***	+	31.5	31.3	26.3	29.1	+	14.2	11.3	10.0	11.8		20.6	20.8	18.6	19.9
	4			2.7	5.8	4.6	4.6		1.4	0.7	1.7	1.3		1.9	3.1	3.2	2.8
	NA			2.9	2.6	2.4	2.6		2.1	1.8	1.8	1.9		2.4	2.2	2.1	2.2
11	1			14.4	13.4	14.5	14.1		51.3	42.4	38.5	43.9		37.7	28.6	25.8	30.0
	2			55.5	46.9	53.0	52.4		42.0	46.3	49.9	46.2		47.0	47.9	51.5	49.1
	3	***		24.9	27.3	25.7	26.1	***	4.6	9.0	8.7	7.5	***	12.1	17.7	17.7	16.2
	4			2.4	6.6	4.5	4.8		0.4	0.4	0.8	0.5		1.2	3.3	2.7	2.5
	NA			2.7	3.1	2.4	2.7		1.7	1.9	2.2	2.0		2.1	2.5	2.3	2.3
12	1			7.1	7.6	6.2	6.9		19.3	17.3	16.3	17.6		14.8	12.7	11.0	12.6
	2			36.4	33.8	35.9	35.3		50.4	50.8	53.0	51.5		45.3	42.7	44.0	43.9
	3	***		43.0	43.3	43.5	43.3		25.6	26.0	25.2	25.6	*	32.1	34.2	34.9	33.9
	4			10.5	12.2	11.9	11.7		2.6	3.9	3.3	3.3		5.5	7.8	7.8	7.2
	NA			2.9	3.1	2.5	2.8		2.0	2.1	2.2	2.1		2.3	2.5	2.4	2.4
13	1			18.6	22.6	22.4	21.6		39.8	34.7	35.1	36.5		32.0	28.9	28.4	29.5
	2			51.8	44.0	45.2	46.2		47.1	50.4	47.2	48.2		48.9	47.4	46.1	47.3
	3	***		22.2	25.5	26.4	25.2		10.3	11.9	14.2	12.2	**	14.7	18.3	20.6	18.3
	4			3.7	4.7	3.8	4.1		0.6	1.0	1.4	1.0		1.7	2.8	2.7	2.4
	NA			3.7	3.2	2.4	2.9		2.1	2.1	2.1	2.1		2.7	2.6	2.2	2.5
14	1			24.7	30.0	29.4	28.6		34.0	34.4	36.4	34.9		30.5	32.3	32.7	32.0
	2			61.4	51.5	55.6	55.5		58.3	59.5	57.1	58.3		59.4	55.7	56.3	57.0
	3	***	*	10.3	13.0	10.5	11.3		5.3	3.6	3.5	4.1		7.1	8.1	7.2	7.5
	4			0.5	2.6	1.8	1.8		0.3	0.1	0.4	0.3		0.4	1.3	1.1	1.0
	NA			3.2	2.9	2.7	2.9		2.1	2.3	2.6	2.4		2.5	2.6	2.7	2.6
15	1			24.7	24.4	25.3	24.9		31.7	26.4	25.6	27.8		29.1	25.5	25.4	26.4
	2			60.9	58.9	58.3	59.1		58.5	63.0	63.2	61.6		59.3	61.1	60.6	60.4
	3	***		11.0	12.2	12.6	12.1		7.3	8.0	8.4	7.9	+	8.7	10.0	10.6	9.9
	4			0.5	1.2	1.6	1.3		0.1	0.6	0.5	0.4		0.3	0.9	1.1	0.8
	NA			2.9	3.2	2.2	2.7		2.4	2.1	2.2	2.2		2.6	2.6	2.2	2.5
16	1			13.4	17.9	15.9	16.0		18.5	18.5	17.3	18.1		16.6	18.2	16.6	17.1
	2			59.4	57.2	56.6	57.4		58.6	57.3	57.5	57.8		58.9	57.3	57.0	57.6
	3	*		23.2	20.6	24.0	22.7		20.9	21.3	22.2	21.5		21.8	21.0	23.1	22.0
	4			0.5	1.2	1.3	1.1		0.1	0.7	0.5	0.5		0.3	0.9	0.9	0.8
	NA			3.4	3.1	2.2	2.8		1.9	2.2	2.5	2.2		2.4	2.6	2.4	2.5
17	1			13.2	15.9	14.2	14.6		16.9	14.9	14.0	15.3		15.5	15.4	14.1	14.9
	2			53.5	52.4	51.2	52.1		54.3	47.4	50.3	50.6		54.0	49.8	50.7	51.3
	3		+	29.1	27.5	30.5	29.2	+	26.1	34.6	32.8	31.2		27.2	31.2	31.6	30.3
	4			1.0	1.4	1.8	1.5		0.7	1.0	0.9	0.9		0.8	1.2	1.4	1.1
	NA			3.2	2.9	2.4	2.7		2.0	2.1	2.0	2.0		2.4	2.5	2.2	2.3
18	1			17.1	15.0	16.5	16.1		19.1	18.6	20.3	19.4		18.3	16.9	18.3	17.8
	2			53.1	54.8	55.8	54.9		57.2	57.2	52.8	55.6		55.6	56.1	54.4	55.3
	3	**		25.7	24.1	23.9	24.3		20.5	21.4	23.2	21.7		22.4	22.7	23.6	23.0
	4			0.7	3.1	1.6	1.9		1.4	1.0	2.0	1.5		1.2	2.0	1.8	1.7
	NA			3.4	3.1	2.2	2.8		1.9	1.8	1.7	1.8		2.4	2.4	2.0	2.2
19	1			2.7	2.7	3.2	2.9		6.6	5.1	4.9	5.5		5.1	4.0	4.0	4.3
	2			27.6	28.2	26.6	27.4		46.0	45.4	42.0	44.4		39.2	37.3	33.8	36.4
	3	***		44.3	40.9	41.8	42.0		34.7	36.5	37.7	36.3	*	38.2	38.6	39.9	39.0
	4			22.0	24.9	26.0	24.8		10.7	11.0	13.6	11.9		14.9	17.6	20.1	17.9
	NA			3.4	3.2	2.5	2.9		2.0	1.9	1.8	1.9		2.5	2.5	2.2	2.4
20	1			8.6	7.5	7.8	7.8		6.3	5.4	5.0	5.5		7.1	6.4	6.4	6.6
	2			32.5	33.3	33.5	33.2		39.8	40.2	37.1	39.0		37.1	36.9	35.2	36.3
	3	***		37.2	36.5	36.1	36.4		35.4	36.5	39.9	37.3		36.0	36.5	37.9	36.9
	4			18.8	19.8	20.6	19.9		16.6	16.3	16.3	16.4		17.4	18.0	18.5	18.1
	NA			2.9	2.9	2.1	2.6		1.9	1.7	1.7	1.7		2.3	2.2	1.9	2.1
21	1			6.6	8.1	7.5	7.5		8.2	6.5	7.2	7.3		7.6	7.3	7.4	7.4
	2			38.9	35.3	34.9	35.9		42.1	39.9	35.4	39.1		40.9	37.7	35.2	37.6
	3	***		36.2	33.4	34.7	34.6		35.7	36.3	39.1	37.1	*	35.9	35.0	36.8	35.9
	4			15.4	20.5	20.0	19.2		12.2	15.6	16.5	14.8		13.4	17.9	18.4	16.9
	NA			2.9	2.7	2.8	2.8		1.9	1.7	1.7	1.7		2.3	2.2	2.3	2.2
22	1			21.8	19.5	18.1	19.4		23.8	20.2	19.9	21.2		23.0	19.9	19.0	20.4
	2			40.1	38.3	41.1	39.9		43.3	45.0	40.9	43.0		42.1	41.8	41.0	41.6
	3	*		29.8	32.5	34.1	32.6		26.4	28.3	32.7	29.2	*	27.6	30.3	33.4	30.8
	4			5.4	6.6	3.9	5.1		4.3	4.7	4.3	4.4		4.7	5.6	4.1	4.8
	NA			2.9	3.1	2.8	2.9		2.3	1.8	2.1	2.1		2.5	2.4	2.5	2.5

23	最も悩み困っていること	***	***	23.0	27.3	39.5	31.8	***	23.8	41.4	47.4	37.9	***	23.5	34.7	43.2	35.0
				3.9	3.7	2.7	3.3		4.4	3.0	1.7	3.0		4.2	3.3	2.2	3.1
				3.4	1.7	2.5	2.4		3.9	2.2	2.8	2.9		3.7	2.0	2.6	2.7
				1.0	0.6	0.2	0.5		0.7	0.6	0.5	0.6		0.8	0.6	0.4	0.6
				3.9	4.0	2.4	3.2		6.6	5.1	3.7	5.1		5.6	4.6	3.0	4.2
				1.0	1.2	1.2	1.1		1.6	1.1	1.3	1.3		1.4	1.2	1.2	1.2
				2.7	2.9	2.7	2.8		2.4	2.5	2.2	2.4		2.5	2.7	2.5	2.6
				2.9	1.7	1.5	1.9		3.0	1.8	1.3	2.0		3.0	1.7	1.4	2.0
				56.7	54.2	44.7	50.5		51.7	40.9	37.5	43.2		53.6	47.2	41.3	46.6
				1.5	2.7	2.6	2.4		1.9	1.4	1.6	1.6		1.7	2.0	2.1	2.0
				5.4	6.7	5.8	6.0		7.2	8.4	7.9	7.8		6.5	7.6	6.8	7.0
				2.7	4.3	5.1	4.3		4.4	6.2	4.3	5.0		3.8	5.3	4.7	4.7
				3.2	2.3	2.7	2.7		4.6	4.1	5.0	4.6		4.1	3.3	3.8	3.7
				0.5	0.3	0.7	0.5		0.1	0.3	0.7	0.4		0.3	0.3	0.7	0.4
5.9	6.3	7.6	6.8	7.3	9.4	6.8	7.8	6.8	7.9	7.3	7.3						
1.7	2.4	3.6	2.8	2.6	4.0	3.9	3.5	2.3	3.3	3.8	3.2						
4.4	5.4	5.1	5.0	4.2	7.6	6.0	6.0	4.2	6.5	5.5	5.5						
1.0	0.5	1.5	1.0	1.6	3.2	1.8	2.2	1.4	1.9	1.7	1.7						
68.7	65.4	60.2	63.8	28.4	34.5	27.4	30.1	43.3	49.2	44.7	45.8						
6.6	6.4	7.8	7.1	39.7	22.2	36.1	32.6	27.5	14.7	21.1	20.7						
24	1	***		8.3	8.1	8.8	8.5		4.7	3.3	5.1	4.4		6.1	5.6	7.1	6.3
				42.3	42.9	40.4	41.7		60.0	56.6	56.0	57.5		53.4	50.1	47.8	50.1
				8.1	9.2	7.8	8.3		7.0	8.8	7.1	7.7		7.4	9.0	7.5	8.0
				1.2	0.6	0.6	0.7		0.4	1.1	0.9	0.8		0.7	0.9	0.7	0.8
				10.8	10.2	13.0	11.6		2.0	2.8	2.0	2.2		5.2	6.3	7.8	6.6
				16.4	14.2	14.3	14.7		11.6	12.6	13.5	12.6		13.4	13.3	13.9	13.6
				7.8	9.6	8.8	8.9		11.3	10.6	12.5	11.5		10.0	10.2	10.6	10.3
				5.1	5.2	6.3	5.6		2.9	4.1	2.9	3.3		3.7	4.6	4.7	4.4
25	1	***		8.6	6.4	9.2	8.1		4.3	3.2	4.7	4.1		5.9	4.7	7.1	6.0
				51.3	55.0	52.3	53.0		51.1	55.5	54.3	53.7		51.2	55.3	53.3	53.4
				35.0	30.3	32.5	32.3		40.2	36.8	35.6	37.5		38.3	33.7	34.0	35.0
				2.2	4.7	3.1	3.4		1.7	2.9	3.0	2.6		1.9	3.8	3.0	3.0
				2.9	3.5	2.9	3.1		2.6	1.7	2.4	2.2		2.7	2.5	2.7	2.6
26	1	***	+	24.4	14.3	19.9	19.0		31.5	27.8	26.7	28.7	*	29.0	21.6	23.2	24.3
				24.4	25.9	27.0	26.0		15.6	15.3	14.9	15.2		18.7	20.1	21.1	20.1
				16.5	17.1	15.0	16.1		16.2	13.9	16.5	15.6		16.3	15.4	15.7	15.8
				20.1	18.3	22.4	20.5		26.2	27.5	28.7	27.4		24.0	23.3	25.4	24.3
				4.3	12.4	7.1	8.2		6.3	11.2	8.3	8.6		5.6	11.7	7.6	8.4
				10.4	12.0	8.6	10.1		4.3	4.4	5.0	4.6		6.4	7.9	6.8	7.1
27	1	***		6.6	7.5	8.6	7.8	+	2.2	2.2	3.4	2.6	*	3.8	4.7	6.1	5.0
				49.6	50.5	48.8	49.6		43.5	47.1	50.1	47.0		45.8	48.7	49.4	48.2
				27.1	23.5	28.2	26.3		38.5	36.3	32.9	35.8		34.3	30.2	30.4	31.4
				12.5	14.4	11.3	12.6		13.5	12.0	10.4	11.9		13.1	13.1	10.9	12.2
				4.2	4.1	3.2	3.7		2.4	2.3	3.1	2.7		3.1	3.2	3.2	3.1
28	1	***		5.6	7.5	6.8	6.8		18.7	16.4	18.0	17.7		13.8	12.2	12.1	12.6
				41.6	38.2	42.2	40.7		61.7	62.6	62.1	62.1		54.2	51.0	51.6	52.1
				39.1	37.7	36.5	37.5		15.6	16.2	15.6	15.8		24.3	26.4	26.7	25.9
				10.5	13.0	11.4	11.7		1.4	2.5	1.7	1.9		4.8	7.5	6.8	6.5
				3.2	3.7	3.1	3.3		2.6	2.3	2.6	2.5		2.8	3.0	2.9	2.9
29	1	***		1.7	2.9	2.5	2.5		6.7	5.1	5.8	5.9	***	4.9	4.1	4.0	4.3
				13.9	12.4	12.8	12.9		38.0	33.4	37.9	36.5		29.1	23.4	24.7	25.5
				42.5	34.0	37.6	37.5		38.0	43.4	37.8	39.7		39.7	38.9	37.7	38.7
				39.1	47.8	44.0	44.3		14.9	16.6	16.5	16.0		23.9	31.4	31.0	29.2
				2.7	2.9	3.1	2.9		2.3	1.5	2.0	1.9		2.4	2.2	2.5	2.4
30	最も多い人	***		68.2	64.6	65.2	65.6		61.1	59.1	62.1	60.8	**	63.7	61.7	63.7	63.1
				1.7	3.2	1.9	2.3		11.3	11.0	8.8	10.4		7.8	7.3	5.1	6.6
				5.9	3.8	4.1	4.4		16.6	15.9	16.5	16.4		12.7	10.2	10.0	10.8
				0.2	0.5	0.6	0.5		0.7	0.3	0.4	0.5		0.5	0.4	0.5	0.5
				0.2	0.2	0.0	0.1		0.1	0.3	0.1	0.2		0.2	0.2	0.1	0.1
				16.9	18.8	19.9	18.9		6.3	8.3	8.3	7.7		10.2	13.3	14.4	12.9
				2.4	2.4	3.1	2.7		1.0	1.5	1.3	1.3		1.5	2.0	2.2	2.0
				4.4	6.6	5.3	5.5		2.7	3.6	2.5	2.9		3.3	5.0	4.0	4.1

30	2番目に多い人	***	**	5.4	6.7	7.8	6.9		11.9	10.4	9.6	10.6		9.5	8.6	8.6	8.9				
				17.8	18.5	17.0	17.7		29.3	26.4	27.6	27.7		25.0	22.6	22.0	23.0				
				21.8	19.8	22.9	21.6		36.4	37.4	35.0	36.3		31.0	29.1	28.6	29.4				
				2.0	1.1	1.8	1.6		1.6	2.3	3.4	2.5	**	1.7	1.7	2.5	2.0				
				1.0	0.0	0.0	0.2		0.9	0.6	0.5	0.6		0.9	0.3	0.2	0.4				
				28.6	34.2	33.3	32.6		9.9	9.1	12.5	10.5		16.8	21.0	23.4	20.8				
				2.4	1.8	1.5	1.8		1.4	1.8	1.2	1.5		1.8	1.8	1.4	1.6				
				21.0	17.9	15.7	17.6		8.6	12.0	10.2	10.3		13.2	14.8	13.1	13.7				
				17.1	15.3	12.1	14.2		17.8	16.0	12.1	15.2		17.5	15.7	12.1	14.8				
				28.4	24.1	24.1	25.0		30.6	25.7	25.4	27.2		29.7	24.9	24.7	26.1				
				10.5	13.1	14.1	13.0		9.8	10.8	11.3	10.6		10.0	11.9	12.8	11.7				
				5.9	4.0	3.8	4.3		3.3	3.3	3.5	3.4		4.2	3.6	3.7	3.8				
				4.2	3.2	4.2	3.9		4.0	4.1	3.8	4.0		4.1	3.7	4.0	3.9				
				11.5	13.1	15.8	14.0		15.6	18.9	19.7	18.1	***	14.1	16.2	17.6	16.2				
				3.7	4.9	4.6	4.5		6.9	8.6	8.4	8.0		5.7	6.8	6.4	6.3				
1.0	1.1	0.2	0.7		0.9	0.6	0.8	0.7		0.9	0.8	0.5	0.7								
0.5	0.6	0.8	0.7		1.1	0.6	1.3	1.0		0.9	0.6	1.1	0.9								
17.1	18.9	18.9	18.5		9.2	10.4	13.0	10.9		12.1	14.4	16.1	14.5								
0.2	1.7	1.4	1.3		0.9	1.1	0.8	0.9		0.6	1.4	1.1	1.1								
31	最も心を配っている事	***	+	10.5	11.5	8.8	10.1		16.2	14.2	11.3	13.8		14.1	12.9	10.0	12.1				
				9.8	11.6	10.3	10.7		13.2	9.8	12.5	11.8		11.9	10.7	11.3	11.3				
				12.7	9.6	11.5	11.1		9.2	9.9	10.0	9.7		10.5	9.8	10.8	10.4				
				7.1	9.3	7.5	8.0		6.5	6.5	7.7	6.9		6.7	7.8	7.6	7.4				
				8.8	8.6	9.6	9.1		8.8	9.3	7.3	8.4		8.8	8.9	8.6	8.7				
				16.1	16.1	14.9	15.6	+	18.9	21.3	18.9	19.7	*	17.9	18.8	16.8	17.8				
				7.6	6.1	8.6	7.5		7.7	9.3	10.2	9.1		7.7	7.8	9.4	8.4				
				4.4	1.2	2.8	2.6		4.2	4.1	3.4	3.9		4.2	2.8	3.1	3.3				
				0.2	0.6	0.5	0.5		0.4	0.6	0.0	0.3		0.4	0.6	0.2	0.4				
				21.0	22.2	22.3	22.0		11.6	13.0	15.7	13.5		15.1	17.3	19.2	17.5				
				1.7	3.2	3.2	2.9		3.3	2.1	2.9	2.7		2.7	2.6	3.0	2.8				
				1	*			+	30.8	30.5	25.8	29.0		31.1	31.5	28.7	30.3				
				2					36.6	33.4	36.4	35.5		37.0	34.4	37.5	36.3				
				3	***				70.9	68.9	69.6	69.8		66.9	64.5	65.0	65.3				
				4	+				39.0	40.7	37.7	39.1		37.9	39.2	36.4	37.7				
5	**				17.9	20.6	20.0	19.5		16.7	18.1	18.7	18.0								
6					6.9	6.7	5.9	6.4		7.1	6.8	5.7	6.5								
7	*				50.0	49.0	46.0	47.9		46.4	47.0	44.8	46.0								
8	**				20.3	20.8	19.6	20.2		17.5	18.7	18.4	18.3								
9					26.7	27.6	29.1	28.1		27.0	26.9	28.6	27.6								
10					1.2	1.7	1.4	1.5		1.3	1.4	1.7	1.5								
NA					0.2	1.1	0.9	0.8		1.3	0.8	0.9	1.0								
32	1位	***		32.5	35.7	35.4	34.9		56.8	52.7	55.8	55.1		47.8	44.6	45.1	45.7				
				29.6	26.1	24.9	26.3		18.5	20.5	16.4	18.4		22.6	23.1	20.9	22.1				
				13.7	13.9	14.0	13.9		11.0	13.6	12.1	12.2		12.0	13.7	13.1	13.0				
				1.5	1.1	0.9	1.1		1.1	1.4	1.2	1.2		1.3	1.2	1.1	1.2				
				5.6	3.5	4.8	4.5		4.0	3.5	5.2	4.3		4.6	3.5	5.0	4.4				
				7.3	9.0	8.9	8.6		3.7	3.9	2.9	3.5		5.1	6.3	6.1	5.9				
				9.0	8.1	8.8	8.6		3.2	3.2	5.0	3.8		5.3	5.5	7.0	6.1				
				0.0	0.5	0.4	0.3		0.3	0.0	0.1	0.1		0.2	0.2	0.2	0.2				
				0.7	2.1	1.9	1.7		1.3	1.4	1.3	1.3		1.1	1.7	1.6	1.5				
				14.9	13.9	14.6	14.4		16.2	15.1	14.5	15.3		15.7	14.5	14.6	14.9				
				16.9	20.0	22.4	20.4		22.4	24.3	21.8	22.8		20.3	22.3	22.1	21.7				
				30.8	23.7	23.5	25.1		28.1	27.0	26.7	27.3		29.1	25.4	25.0	26.3				
				4.4	6.0	4.0	4.7		2.3	2.8	2.1	2.4		3.1	4.3	3.1	3.5				
				10.3	10.4	9.4	9.9		14.8	14.1	15.7	14.9		13.1	12.3	12.4	12.6				
				15.6	15.3	13.4	14.5		8.5	8.4	10.6	9.2		11.1	11.7	12.1	11.7				
5.6	7.9	9.6	8.2		5.9	6.5	6.3	6.2		5.8	7.2	8.0	7.1								
0.0	0.0	0.4	0.2		0.1	0.0	0.1	0.1		0.1	0.0	0.2	0.1								
1.5	2.9	2.8	2.6		1.7	1.8	2.1	1.9		1.6	2.3	2.5	2.2								
33	2位	***	*	14.0	14.8	13.7	14.2		9.3	10.5	10.4	10.1		11.0	12.6	12.1	12.0				
				9.6	9.6	9.6	9.6		11.6	10.0	11.3	10.9		10.9	9.8	10.4	10.3				
				21.3	23.2	24.2	23.2		23.5	26.0	24.6	24.7		22.7	24.7	24.4	24.0				
				4.7	5.8	3.5	4.5		5.3	3.0	3.1	3.8		5.1	4.4	3.3	4.1				
				14.7	9.6	9.7	10.8		15.1	15.6	15.1	15.3		14.9	12.8	12.3	13.2				
				12.7	13.9	14.8	14.0		14.2	13.1	13.5	13.6		13.7	13.5	14.2	13.8				
				20.6	18.0	20.0	19.4		18.4	18.5	19.0	18.6		19.2	18.3	19.5	19.0				
				0.0	0.5	0.4	0.3		0.1	0.0	0.4	0.2		0.1	0.2	0.4	0.2				
				2.5	4.6	4.1	3.9		2.4	3.2	2.6	2.7		2.4	3.8	3.4	3.3				
				33	3位	***		14.0	14.8	13.7	14.2		9.3	10.5	10.4	10.1		11.0	12.6	12.1	12.0
								9.6	9.6	9.6	9.6		11.6	10.0	11.3	10.9		10.9	9.8	10.4	10.3
								21.3	23.2	24.2	23.2		23.5	26.0	24.6	24.7		22.7	24.7	24.4	24.0
								4.7	5.8	3.5	4.5		5.3	3.0	3.1	3.8		5.1	4.4	3.3	4.1
								14.7	9.6	9.7	10.8		15.1	15.6	15.1	15.3		14.9	12.8	12.3	13.2
								12.7	13.9	14.8	14.0		14.2	13.1	13.5	13.6		13.7	13.5	14.2	13.8
20.6	18.0	20.0	19.4						18.4	18.5	19.0	18.6		19.2	18.3	19.5	19.0				
0.0	0.5	0.4	0.3						0.1	0.0	0.4	0.2		0.1	0.2	0.4	0.2				
2.5	4.6	4.1	3.9						2.4	3.2	2.6	2.7		2.4	3.8	3.4	3.3				

平成14年度  
「福岡県における中学生の意識・行動と  
親の養育態度・意識の実態調査のまとめ」

(冊子版) 平成15年3月発行

(電子版) 平成19年6月発行

福岡県立社会教育総合センター

福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

TEL (092)947-3511 FAX (092)947-8029

※本報告書(電子版)は、平成14年度に作成した冊子版報告書を、平成19年度、ホームページでの公開を目的として、OCRによる読み取りその他の方法(文字の訂正・グラフの再作成含む)で電子化したものです。

そのため、グラフ等において冊子版とは若干の差異があります。